パソコン点訳手引き書。　第１部。点訳規則　編。

著作者。 相川哲弥　(C) Aikawa Tetsuya 2003-2006

画面読みできます。
書名。　パソコン点訳手引き書。
発行者。　相川哲弥。（電話。０８６－２５１－７７８７．郵便。７００ー００８９岡山市津島本町１４－１３）
発行年月。　２００３年5月（第1版）。２００３年7月（第2版）。
ホームページ。ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｏｋａｙａｍａ－ｕ．ａｃ．ｊｐ／ｕｓｅｒ／ｔｅｎｄｏｗｎ　からダウンロードできる。

用語の説明。

「墨字」（すみじ）。　点字と区別するために、目の見える人が読み書きする文字を、「墨字」と呼ぶ。
「マスあけ」。　点訳用の分かち書き。(点字は漢字無しのカナ文章だから、分かち書きしないと、ことばの境目がわからない)
「弱視者」（じゃくししゃ）。　視力が０．０５以下で、大きな文字（拡大文字）を読める人。
「盲人」（もうじん）。　全盲の人を、主に言う。弱視者を含めることもある。
「全盲」（ぜんもう）。　大きな大きさの文字でも全然読めない人。目の前に人や建物が有るのを、かすかにわかる人も含む。
「視覚障害者」。　弱視者と全盲者の両方を表わす。
「晴眼者」（せいがんしゃ）。　普通の大きさの文字が読める人。「視覚障害者」以外の人。
「点訳」（てんやく）。墨字の文章を点字に変換すること。
「墨訳」（すみやく）。点字の文章を墨字に変換すること。点訳の逆の変換。
「墨点字」（すみてんじ）。点字の凸点を紙に打つ代わりに、鉛筆や印刷インクによって黒丸を紙に書いた点字の形。
「盲聾者」（もうろうしゃ）。　目が見えなくて、しかも、耳が聞こえない人。口から言葉を話せる人が多い。
「拡大文字」。　弱視者が読める大きさの文字。1個の拡大文字の大きさの標準は、縦１２ミリ、横１２ミリです。
「手引き」(てびき)。視覚障害者が外出する時に、健常者が自分の肘や肩に、視覚障害者の手をつかまらせて、道案内すること。
「手書き」(てがき)。盲聾者の手のひらに、健常者が文字（墨字かな）を指で書いて、口からことばを話す代わりをすること。

差別用語。　結論。　「盲」には訓読みと音読み「もう」が有る。その訓読みは、差別用語です。しかし、「盲」を「もう」と振り仮名して使うことや、「盲人」（もうじん）や「全盲」(ぜんもう)や「盲聾者」は差別用語では、無い。

説明。　常用漢字の前身の当用漢字の時代に、漢字「盲」には音読みと訓読みが定めて有ったが、筑波大学付属盲学校の長谷川貞夫先生が文部省の国語審議会に『漢字「盲」の訓読みは差別用語だから、その訓読みを当用漢字表の音訓表から削ってくれ』と要望書を出して、審議会が削った。マスコミ記者が使う差別用語判定早わかり辞典（？）にも「盲人」は差別用語となっていない。

この本の特徴。　点訳講習会は全国の点字図書館などが開いていて、その講習会のテキストも市販されているが、私がわざわざこの本を書いた理由は次のとおりです（この部分は、点訳が初めての人は、読み飛ばしても良い）。

１。日本語の文法。　点訳用の分かち書き規則は日本語の文法の「文節」の境目で分かち書きをすることを原則としているのに、日本語の文法を使わないようにして書いてある。たびたび現れる隣り合う単語の組み合わせだけについて規則を書いてある。他の組み合わせについてどうすればよいかがわからない。いつまでも点訳先輩に聞かないと点訳できない。文法は、あらゆる文章について単語に区切る規則を書いてあるから、点訳のために最小限度必要な文法規則を教える必要がある。この本は、日本語の文法を最小限度、教えて、他の人に頼らないで点訳できるようにしている点が大きく違う。

２。活用語尾表。　活用する単語（動詞、形容詞、形容動詞、助動詞）の活用語尾表が市販テキストに載っていないので、中学や高校向けの日本語文法参考書を買って読んで自分で勉強する必要がある。その時に、点訳が初めての人には、どの文法規則が点訳に必要かの判断ができないから、全部の文法規則を勉強する破目に成り易い。点訳の勉強を落ちこぼれる原因になる。この本は、活用語尾表全部と、点訳に必要な文法規則だけを書いてある。

３。付けたり語リスト。　付けたり語（連体詞、接続詞、感動詞、形式名詞、助詞、助動詞、接尾語、接頭語）などのリストは、市販の点訳講習会テキストには、単語の種類ごとに別々のページに固めて書いてあるために、「けれども」ということばの単語種類を判定するために、それら全部のページを見る必要がある。能率が悪い。この本では、表４ー９の左端の欄が「か」の右に、カ行（か、き、く、け、こ）で始まる付けたり語すべてが書いてあるので、短時間に判定できる。

４。扉。　扉（本の最初の、書名や著者名や出版社名だけを書いてあるページ）の点訳のレイアウト（配置）は墨字原本と同じにして、しかも、余白を模様点字で埋めるものも多い。点字を触読するのが弱い中途失明者には有害であるので、本文と同じ配置にした。紙の最上行に、書名を、紙の行の左端から２マスあけて書いていき、行変えして著者名や出版社名などを同じやり方で書いていくやり方です。

５。パソコン点訳。　墨字の範囲でできること（分かち書き規則と漢字振り仮名の規則）と墨字を点字に変換する規則を混ぜて書いてあるので、パソコン点訳のための点訳規則がわかりにくい。この本は、分かち書き規則と漢字振り仮名の規則を教える。墨字入力のパソコン点訳は、規則はこれだけで良い。点字器や点字タイプや点字入力式パソコン点訳は、私のテキストの勉強に、墨字カナを点字カナに変換する規則の理解と、点字を書く訓練を、追加すれば良い。

６。このテキストで、私が実際に点訳講習会を教えた結果の報告。受講生のほとんどが、３０歳以上？の主婦で、６０歳以上？の人も居た。中学校や高校の国語の授業で日本語の文法の勉強を教わるのが終わって７年以上過ぎているので日本語の文法を忘れている。だから、このテキストのように、日本語の文法を前面に出して点訳規則を教えると、２回目からは半数か全員が来なくなるかもしれないことも予想した。ところが、受講生の誰かがわかりにくい文法規則は繰り返し何べんも教えたせいも有ってか、そのことが原因の落ちこぼれは出なかった。

目次

１章。 著作権。.... 4
１節。「著作物」。.... 4
２節。「著作権」。.... 4
３節。複製権。.... 4
４節。頒布権。譲渡権。貸与権。.... 5
５節。点訳の時の注意点。.... 5
６節。 著作権法（抜粋）.... 7
第２章。 点訳の方法の種類。.... 7
１節。点訳の必要な本の種類。.... 7
２節。点字表記法の種類。.... 7
３節。点訳作業の分解。.... 7
４節。点訳方法の種類。.... 8
５節。点訳費用。.... 9
６節。点訳書を配る方法。.... 9
７節。郵便料金。.... １０
１節の追加。.... １０
６の２節。 点字プリンター（追加）。.... １０
６の３節。 パソコン点訳を墨字入力でする時の注意。（ＷｉｎＢＥＳの場合）.... １０
６－４節。 全国の図書館の点字図書目録の検索。.... １１
第３章。 点訳規則。 １個の単語の中。.... １２
１節。 カナ。漢字の振り仮名。.... １２
１の１節。点訳用の墨字入力文の読み方規則の例。.... １３
１の２節。 点訳規則（マスあけ規則）の勉強のやり方。.... １３
２節。 数字を含むことば。.... １４
４章。 点訳規則２。２個のことばの間の、マスあけ。.... １６
１節。 単語の種類。.... １６
２節。 マスあけ規則。.... １６
３節。 マスあけの、やりかた。.... １６
３の１節。 例文１のマスあけ。(名詞、連体詞、助詞、動詞).... １７
３の３節。 例文２のマスあけ。（形容詞）.... １８
３の５節。 例文３のマスあけ。（形容動詞）.... １８
３の７節。 例文４～６のマスあけ。（副詞）.... １９
３の９節。 例文７のマスあけ。（接続詞）.... ２０
３の１０節。 例文１０のマスあけ。（感動詞）.... ２１
３の１１節。 例文１３のマスあけ。（助動詞）.... ２２
３の１２節。 例文１０のマスあけ。（助詞や助動詞が２個以上続く）.... ２２
表４－１。 単語の種類（品詞）。.... ２３
表４－３。 動詞（５段活用だけ）、形容詞、形容動詞、助動詞。の活用形。.... ２４
表４－５。 「動詞の活用」。口語（こうご）。.... ２６
表４－６。 動詞の活用。 文語（ぶんご）.... ２６
表４－７。助詞一覧表。.... ２７
表４－９。早見表。 連体詞、副詞、感嘆詞、形式名詞、接続詞、助詞、助動詞、接頭語、接尾語 （２００４年２月).２９
４節。 例外規則。（日本語文法と違うマスあけ規則） 問題４－４.... ３１
５節。「ない」のマスあけ判定。 問題４－５.... ３２
６節。 「～する」「～させる」「～される」「～なくなる」「～なる」「～できる」.... ３３
７節。他のマスあけ規則。 ■ □.... ３４
８節。 接頭語と接尾語。。.... ３６
５章。 文と文の間のマスあけ。カナ記号の点訳。.... ３７
０節。 文章記号。.... ３７
１節。 句点「。」疑問符「?」感嘆符「!」読点「、」中点「・」、棒線「――」、点線「．．．」。.... ３８
１－１節 。句点、「。」。.... ３８
１－２節。 疑問符。「?」。.... ３８
１－３節。感嘆符「!」.... ３８
１－４節。 読点、「、」。.... ３９
１－５節。中点「・」.... ３９
１－６節。 棒線。点線。波線.... ４０
２節。 カギ類。.... ４１
２－１節。 カギ。.... ４１
２－２節。 ２重カギ、第２カギ。.... ４２

３節。カッコ類。.....４４
３－２節。　２重カッコと第２カッコ。.....４６
４節。　点訳者注記符。.....４９
４ー１節。指示符類。.....４９
４ー３節。　矢印類（左矢。右矢。両矢印）。.....５０
５節。　アルファーベット。.....５１
６節。ピリオド「．」。コンマ「，」。そのほかの記号文字の点訳と、ＷｉｎＢＥＳ用の墨字入力。.....５２
７節。　数学記号。　×　／　＋　－　＾　＝　＞　＜　．’　，.....５３
８節。　英数記号。　＃＄％＆＠￥｜＿　～　’；：　”” ＜　＞　〈　〉.....５５
９節。行頭禁止と行末禁止。.....５６
７節。　英語文章の点訳。.....５７
６章。　行下げ。行移し。目次。扉（標題紙）。奥付け。.....５９
１節。本文の行下げ。.....５９
２節。行移し（ぎょううつし）。.....５９
３節。目次。.....６０
３ー１節。　本文ページのページ番号表示。.....６１
３－２節。　目次を書くページの、ページ番号の付け方。.....６１
３ー３節。　ＷｉｎＢＥＳによる、目次の作り方。.....６１
４節。扉（とびら。別名「標題紙」）。.....６３
８章。練習問題。.....６５
１節。　３章の問題。.....６５
２節。　４章の問題。.....６５
３節。　５章の問題。.....６７
１節。　英語文章の点訳。.....６９
２節。英語点訳方法の種類。.....６９
３節。英語の点訳規則。.....６９
６章。　パソコンの扱い方。.....７１
１節。パソコンと手。.....７１
２節。フロッピー・ディスケットの入れ物。.....７１
１０節。表の書き方。.....７５

１章。 著作権。

１節。「著作物」。

法律「著作権法」によって「著作権」と言う権利を定めた目的。

他人の書いた本などを勝手に複製するようになると、本を書いた人が複製を恐れて他人に見せないで隠して保管しておくように成って、文化の発展を妨げることになるので、著者や出版社などに一定の権利を保障することによって誰でも本を見たり読んだり出来るようにして、文化を発展させることを目的としている。

「著作権法」が保護するものを「著作物」と呼ぶ。

「著作物」には、本や絵や彫刻や楽譜や音楽演奏を録音したレコードやテープなど、色々有る。

２節。「著作権」。

１。著作権の中には、「複製権」や「頒布権」など、色々な種類の権利が有る。「著作権」を英語では、ｃｏｐｙｒｉｇｈｔ（複製する権利）と言う。このことでもわかるとおり、「著作権」の中で最も重要な権利は「複製権」です。視覚障害者に関する著作権の主なものは、複製権と頒布権です。

２。「著作者の権利」は、大きく分けて「著作者人格権」と「著作権」に分かれる（第１７条）。

３。「著作者人格権」には、主に、次の種類がある。

「同一性保持権」。「著作物と、その題号の同一性を保持する権利」です。著作者の許可を得ないで「著作物」(図書の場合は、本の内容本文)や「題号」(図書の場合は、「書名」)を変更や切除などの改変をすることは禁止されている（第２０条１項）。

４。「著作権」には、主に、次の種類がある。著作者だけが持っている権利です。例外規定が少しある。

「複製権」。著作物を複製する権利です（第２１条）。（３節で詳述）。

「譲渡権」。著作物を他人に渡して、その他人の所有物とする権利です（第２６の２条）。（４節で詳述）。

「貸与権」。著作物を他人に貸す権利です（第２６条の３条）。（４節で詳述）。

「頒布権」（はんぷけん）。著作物を譲渡または貸与する権利です（第２６条）。（４節で詳述）。

５。罰則。 「著作者人格権」（項目３）または「著作権」（項目４）を侵害した者は、３年以下の懲役または３００万円以下の罰金に処する。（第１１９条第１号）

６。民事責任。 「著作者人格権」（項目３）または「著作権」（項目４）などを侵害した者は、被害者から損害賠償や慰謝料を請求されることが有る。

３節。複製権。

０。著作物を複製する権利を「複製権」という。「複製」の例は、「本や文書をコピー機を使って（または鉛筆やボールペンなどで）コピーする」、「本を印刷する」、「レコードの音楽演奏をテープにダビングする」、「本をテープに朗読録音する」、「本を点訳して点字の文章を紙に書く」など､色々有る。原則として｛著作権者｝（著作権を持つ人や会社など）の許可を得ないと複製出来ない定めになっている。

１。点訳複製。（墨字本と点字本の所有者が同じ場合）。

例。複製権の例外。墨字の本を点字に変換して複製することは、著作者の許可を得ないで、しても良い。著作権法第　条の規定による。

例えば佐藤春夫さんが所有する墨字（活字）の本「山崎豊子著。沈まぬ太陽」を点訳して作った点字本を佐藤春夫さんの所有する本にする場合は著作者の許可を得ないで出来る。

２。点訳複製と頒布。（墨字本と点字本の所有者が違う場合）。

例１。ただし、点訳した点字本を別の人の所有にする場合は、「著作物の頒布」（次の項目４）になるので、許可が必要です。

例えば佐藤春夫さんが所有する墨字の本を点訳して作った点字本を、山本太郎さんの所有する本にする場合は、著作者の許可が必要です。

有料で売る本の場合は、本の代金によって著者や出版社従業員は生活する。本の代金は、本の文章を読むサービスに対する謝礼です。「１。点訳複製」は、墨字本の代金を払って点字本を読むから良いが、「２。点訳複製と頒布」は、別の人（山本太郎さん）は払わないで読むから、困る（著者や出版社従業員が生活権を侵害される。頒布権を侵害される）．．．ということが、考え方の例です。

例２。墨字本と、その点訳した点字本を佐藤春夫さんが所有している時に、墨字本を山本太郎さんにくれる(または、売る)場合は、同時に点字本も山本太郎さんにくれる(または、売る)か、点字本を捨てることが必要です。理由。墨字本だけをたらいまわし所有して、点字本を何冊も作ると、墨字本１冊分の代金しか墨字本の著者や出版社に入らなくて、著者や出版社の生活（財産権。頒布権）が侵害されるから。

項目１の「所有者が同じ」点訳をする場合は、墨字本と点字本の表紙に所有者の名前(例。「佐藤春夫」)を書くのが良い。

３。点字複製。点字の本を点字の本に複製することも、点字の本を墨字に変換して複製することも、項目１(点訳複製)とは違う。

４。朗読録音複製。例。岡山市立図書館が所有する活字本「山崎豊子著。沈まぬ太陽」をテープに朗読録音して、テープをその図書館の所有にするには、著者から複製の許可を得る必要が有る。活字本が図書館の所有でない時は複製と頒布の許可を得る必要が有る。許可は、普通は電話で問い合わせて承諾してくれるなら、改めて文書で許可書を書いてもらうやり方が普通です。

例２。著者が許可しなかった例。有名な作家（川端康成？）は、紙に書いた小説を読むと文字の文章から読者が色々なイメージを描いて読むことが出来るが、特定の人の声で朗読するとイメージが固定してしまうと言う理由で朗読録音複製を許可しなかった。項目４の小説は、電話で頼んだら許可してくれなかったが足を運んで面談して必要な理由を説明したら許可した。

例３。私が点訳出版のために書き下ろした点字本「相川哲弥著。パソコンＭＳ－ＤＯＳ手引書」を実費配布した。愛知県春日井市立図書館から、「盲人が、その本を読みたいが中途失明のために点字を指で触って読むのが遅いので、録音テープで聞いて読みたいと言っているので、朗読録音複製を許可してくれませんか」と、問い合わせてきたので即座に承諾した。後日に許可書用紙が

送られてきたので記入して返送した。その図書館では、録音が出来上がったら、録音複製したテープ１組（その本の場合は、９０分テープ９巻）を著者に進呈することになっていた。許可してくれたお礼と、どんな風に録音したかを知ってもらうために？

５。複製許可書。　口頭で許可をもらったら、次のような形の文書を著者に送ってで許可書を書いて送ってもらう。その書式の例。下線部分は、実際の固有名詞などを書く。

「　点訳複製と頒布の許可書。

住所。　大阪市北区梅田３丁目４の５

氏名。　佐藤春夫様。

あなたが所有する下記の本を点訳複製して、その点字本を次の人に頒布することを許可します。

住所。　岡山市津島本町１４－１３

氏名。　相川哲弥　(印)

２００３年5月１４日。

記。

著者。　相川哲弥

書名。　Ｗｉｎｄｏｗｓ入門（全盲と弱視と老眼用）。

出版社名。　青空出版株式会社

頒布する相手。　大阪市梅田１丁目４の８。山本太郎様

許可条件。　（条件がある場合だけ）　」

ヒント。　著者の住所が不明の時は、「住所を知りたい理由」（例。「視覚障害者用に点訳複製と頒布の許可をお願いする」）を明示して出版社に問い合わせる。

４節。頒布権。譲渡権。貸与権。

次の「頒布権」は旧「著作権法」のものです。「譲渡権」と「貸与権」は現在（２００３年）のものです。

「著作者」（著作権を持つ著者や会社など）の許可を得ないと「頒布」や「譲渡」や「貸与」を出来ない定めになっている。

１。頒布権。　著作物を他人に渡して、その人（他人）の所有にすることを「頒布」（はんぷ）と呼ぶ。渡す時に金銭を受け取る場合も無料の場合もひっくるめて「頒布」と呼ぶ。著作物を他人に貸すことも頒布と呼ぶ。

２。譲渡権。著作物の、原作品または複製物を譲渡によって公衆に提供する権利。

３。貸与権。著作物を、その複製物の貸与によって公衆に提供する権利。

４。限定許可の例。　数年前に日本ＩＢＭ社が、英和辞典を１００人の人に頼んで点訳してパソコンのディスク・ファイルにしてパソコンに固定した形で全国の盲学校に寄付した。そのディスク・ファイルを一般の盲人にも販売すれば、利用価値が高いが、そうしなかったのは、その英和辞典の出版社がそんな形で制限して複製と頒布を許可したためです。

５節。点訳の時の注意点。

１。点訳する時は、次の２点を守ることが大切です。

１の１。「許可を得ないと、しては、いけないことは、許可を得た上で、する」。

１の２。「たとえ、法律で禁止されていないように見えても、著者や出版社や点訳者や朗読者の努力を、何かの意味で、土足で踏みつけるようなことは、しない」。

紙に点訳する時や、フロッピーなどのディスク・ファイルをコピーする時や、朗読録音テープを録音複製する時は、著者や出版社や朗読者の名前を削ったり、別の名前に変えたり、本の内容本文を改変して複製するすることを、著作者の許可を得ないですることは、禁止されている。違反すれば罰則や民事責任が有る(２節項目２～６)。これらの許可は、文書で得るのが普通です。口約束だと、後で、許可したかどうか、わからなくなる恐れが有るため。

「ディスク・ファイルの点字文章ファイルを、点字プリンターを使って、紙に点字プリントすること」も、「点字文章を書き込んだ（打ち込んだ）亜鉛版や塩化ビニール板の点字印刷原版を、点字印刷機を使って、紙に点字文章をプリント（印刷）すること」も「複製」の１種です。点字印刷原版の１枚１枚に赤色フェルト・ペン（マジック・インキ）で著書名を書いてある場合もある。

２。視覚障害者用に次のようなプログラムが販売されている。自分がプログラムの不正コピーに関与しないよう注意することが必要です。（市販のプログラムの大部分は、１個のプログラム（商品）を１個のパソコンだけに使えることを表示して有る。）

点訳プログラム。

パソコンのＷｉｎｄｏｗｓやＭＳ－ＤＯＳやＢＡＳＩＣの音声化プログラム(テレビ画面に書いた文字を合成音声で読み上げる働きを付け足すプログラム)。

例えば、アクセス・テクノロジー社が製作販売する、ＭＳ－ＤＯＳ音声化プログラム「ＶＤＭ１００」は、使っている時は、いつでも、［ＧＲＡＰＨ］キーとテンキー「9」を同時に押すと、プログラムを買った人の名前を合成音声で読み上げる。私が買ったプログラムは「オカヤマダイ」（岡山大）と読み上げる。プログラムを記録したフロッピーにも「オカヤマダイ」と点字で書いたプラスティック板を張ってある。不正コピーが横行しているので、簡単に見分けることが出来るようにするため。

６節。　著作権法（抜粋）

～は、省略部分。～を飛ばして読んでも法律に定めたとおりの文章に成る。

第１条（目的）。この法律は、著作物～に関し著作者の　権利及び　これに隣接する権利を定め、
これらの文化的所産の公正な利用に留意しつつ　著作者等の権利の保護を図り
もって文化の発展に寄与することを目的とする。

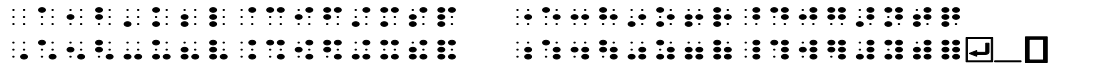
第２条（定義）。第１号。

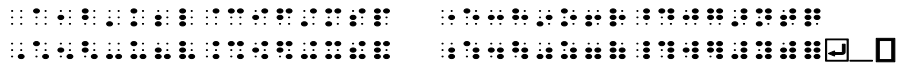
第１５号。　複製。　印刷、写真、複写、録音、録画、その他の方法により有形的に再製することを言い、～。

第１９号。　頒布。　有償であるかまたは無償であるかを問わず、複製物を公衆に譲渡しまたは貸与することを言い〜。

旧法。
第２１条（複製権）。著作者は、その著作物を複製する権利を専有する。
第２６条（頒布権）。著作者は、〜その複製物により頒布する権利を専有する。
第３７条。第１号。公表された著作物は、盲人用の点字により複製することが出来る。

新法。
　第２条。第１項。第７の２項。公衆送信。公衆によって直接受信されることを目的として無線通信または有線電気通信の送信（〜）を行うことを言う。
　第２３条（公衆送信権等）。第１項。著作者は、その著作物について、公衆送信（自動公衆送信の場合にあっては、送信可能化を含む）を行う権利を専有する。
第２項。著作者は、公衆送信されるその著作物を受信装置を用いて公に伝達する権利を専有する。
　第２６条の２（譲渡権）。第１号。著作者は、その著作物をその原作品または複製物の譲渡により公衆に提供する権利を専有する。
　第２６条の３（貸与権）。著作者は、その著作物をその複製物の譲渡により公衆に提供する権利を専有する。
　第３７条。第１項。公表された著作物は、点字により複製することが出来る。
第２項。公表された著作物については、電子計算機を用いて点字を処理する方式により、記録媒体に記録し、または公衆送信(放送または有線放送を除き、自動公衆送信の場合にあっては送信可能化を含む。)を行うことができる。
第３号。点字図書館その他の視覚障害者の福祉の増進を目的とする施設で政令で定めるものにおいては、専ら視覚障害者向けの貸し出しの用に供するために、公表された著作物を録音することができる.
付則第４の２条。第２６の３条は、新法第２６条の３の規定は、書籍または雑誌(主として楽譜により構成されているものを除く)の貸与による場合には、当分の間、適用しない。
　第４７条の３（複製権の制限により作成された複製物の譲渡）。〜第３７条第１項若しくは第２項〜の規定により複製することができる著作物は、これらの規定の適用を受けて作成された複製物（〜）の譲渡により公衆に提供することができる。





第２章。　点訳の方法の種類。

１節。点訳の必要な本の種類。

１。録音テープ。　小説などのように、本に書いてある順に文章を読めば間に合う本や、１回読めば間に合う本は、録音テープでも間に合う場合が多い。しかし１冊の本のあちこちを何回も読む必要のある本にはテープ録音は向かない。

２。点訳の必要な本。　点訳しないと困る本は、専門書や学習参考書などです。

専門書の中では、パソコンの参考書やマニュアルが要望が増えている。

参考書では、最近は大学に進学した盲人が授業で使う教科書や参考書の点訳が必要になる。以前は盲人が大学に進学する場合は、主に文科系の学部や学科だったから、数学や理科の参考書の点訳も、高校の教科書や参考書の点訳だけだったが、最近は数学や物理や情報工学などの学科にも進学するので、「電磁気学」の授業の教科書の点訳なども必要になり、数学記号や理科記号の点字表記(２節の項目３)を暫定的に増やすことにもなった。１年次の授業の教科書の場合は、合格発表から授業開始までの日数が少ないので困る。

２節。点字表記法の種類。

１。点字の形の種類。　１個の点字は、縦３列、横２列の６個から成る、凸点の有る無しの組み合わせが表わす文字です。

凸点字	点の名前		凹点字	点の名前	
○ ○	点１	点４	○ ○	点４	点１
○ ○	点２	点５	○ ○	点５	点２
○ ○	点３	点６	○ ○	点６	点３

２。点字表記法。

６個の点の有る無しの組み合わせは、２×２×２×２×２×２＝６４種類有る。カナだけでも５０個あるから、数字１０文字(１０個)や、やアルファーベット２６文字や記号などを表わすためには、足りない。そこで

「数符」（すうふ）　＝「『ここから先の点字は、数字を表わす』　ためだけの点字」＝点３４５６点字
「外字符」（がいじふ）　＝「『ここから先の点字は、アルファーベットを表わす』　ためだけの点字」＝点５６点字
「大文字符」（おおもじふ）＝『ここから先の点字は、アルファーベットの大文字を表わす』ためだけの点字」＝点６点字
「継ぎ符」(つぎふ)　＝「『ここから先の点字は、カナを表わす』　ためだけの点字」＝点３６点字

を決めておく。

例えば「点１と点２から成る点字」は、数符の後では「２」を表わし、外字符の後では「ｂ」を表わし、
外字符と大文字符の後では「Ｂ」を表わし、継ぎ符や「スペース」（マスあけ）の後では「イ」を表わす。
そのような規則を点字表記法と呼ぶ。

３。点字表記法。　次の種類が有る。

普通点字表記法（日本点字表記法）。　普通の手紙や小説や新聞ニュースなどを点訳する時に使う点字表記法。。

数学記号点字表記法。　数学の式や積分や微分や関数などの記号を点訳する時に使う点字表記法。ただし、数学の教科書や参考書では途中の説明文章は、普通点字表記法で書く。

理科記号点字表記法。　理科の分子配列記号や電気回路配線記号などの記号を点訳する時に使う点字表記法。ただし、理科の教科書や参考書では途中の説明文章は、普通点字表記法で書く。

英語点字表記法。英語の文章を点訳する時に使う点字表記法。ただし英語の教科書や参考書では途中の説明文章は、普通点字表記法で書く。

計算機点字表記法（情報点字表記法）。　パソコンや電子計算機のプログラムのリストを点訳する時に使う点字表記法。ただし、パソコンやプログラムの、取扱説明書や参考書では途中の説明文章は、普通点字表記法で書く。

楽譜点字表記法。　音楽の楽譜を点訳する時に使う点字表記法。

４。私の点訳プログラムの特徴。　普通点字表記法と計算機点字表記法の混ざったパソコン参考書などの本を点訳するのに向いている。人間は分かち書きと振り仮名をすれば良い。その後の、点字に変換するのは、パソコンのプログラムがやってくれる。普通点字だけの本にも使える。

３節。点訳作業の分解。

例文「今日は天気が良い」を点訳する手順を分解する。

	手順	例文
	手順１。墨字文章読み取り。 方法１。紙に書いた文章を目で読んで読み取る。 方法２。紙に書いた文章を、パソコンにつないだスキャナによって、画像として読み取って、次にパソコン・プログラムによって文章（文字列）に変換するやり方もある。	「今日は天気が良い」を読み取る。
	手順２。マスあけ（点訳用の分かち書き）。 マスあけは、原則として、日本語の文法の「文節」の境目で、分かち書きする。	「今日は　天気が　良い」
	手順３。漢字振り仮名。	「キョーワ　テンキガ　ヨイ」
	手順４。点字に変換。	⠠⠅⠕⠢⠺⠁　⠞⠢⠅⠊⠛⠁　⠢⠊⠢⠁

	手順５。紙に点字の文章を書く。	

４節。点訳方法の種類。

点訳方法１。　点字器や点字タイプ。

手順１～４を人間の頭でする。　墨字(活字)の文章を目で見て読んで、頭の中でマスあけと漢字振り仮名をして、点字の文章に変換して頭で覚えておく。

手順５。　点字器や点字タイプライターを使って紙に、頭の中の点字の文章を書く。

注意。文章の１区切り（５～１０文字くらい）ごとに、手順１～５を繰り返す。

点訳方法２。点字入力のパソコン点訳。

手順１～４を人間の頭でする。　すなわち、墨字(活字)の文章を目で見て読んで、頭の中でマスあけと漢字振り仮名をして、点字の文章に変換して頭で覚えておく。

手順５の１。　パソコンのキーを押して、その点字文章を入力して、点字文章ファイルを作る（保存する）。

詳しく言うと、点訳プログラムを起動して、そのプログラムの点字文章の編集画面にキーを押して点字を書く。１個の点字の点１～点６には、普通は、Ｆ,Ｄ,Ｓ,Ｊ,Ｋ,Ｌ　の６個のキーを対応させて、点の有るキーを同時に押すことによって入力する。

手順５の２。　点字文章を点字プリンターによって紙に点字プリントする。

注。普通「パソコン点訳」と呼ぶのは、この「パソコン点字入力」です。文章の１区切り（５～１０文字くらい）ごとに、手順１～４と手順５の１の点字キー入力を繰り返す。

点訳方法３。墨字入力のパソコン点訳。

手順１～３を人間の頭でする。　墨字(活字)の文章を目で見て読んで、頭の中でマスあけと漢字振り仮名をして頭で覚えておく。

手順４の１。そのカナ(墨字)文章をキー入力して、墨字文章ファイルを作る（保存する）。

手順４の２。「点訳」プログラムによって点訳（点字に変換）して、点字文章ファイルを作る。

手順５の２。　点字文章を点字プリンターによって紙に点字プリントする。

注。文章の１区切り（５～１０文字くらい）ごとに、手順１～３と手順４の１の墨字キー入力を繰り返す。

説明。マスあけと振り仮名をパソコン・プログラムは苦手だから人間の頭でする。マスあけと振り仮名をした文章を点字に変換する作業は機械的に出来てパソコン・プログラムが得意だからパソコンにやらせる。

点訳方法４。自動点訳。

手順１。墨字文章読み取り。　紙に書いた漢字混じりの墨字文章をスキャナで読み取った画像を文字のファイルに変換して保存して、その墨字ファイルをパソコン・プログラムによって、マスあけと振り仮名と点訳をした点字文章を、ファイルに保存して，点字プリンターによって点字プリントする。

説明。日本語文法規則と日本語単語辞書をパソコンの中に置いておいて、マスあけと振り仮名もパソコン・プログラムにやらせる。マスあけと振り仮名をパソコン・プログラムは苦手だから人間が介入しないと無理です。

方法の比較。　上述の４種類の点訳方法のうちで、「１。点字器や点字タイプ」は、紙に書いた点字の文章を校正をして書き間違いを訂正するのが厄介だが、他の３方法は、訂正はディスク・ファイルの段階で出来るので楽です。

点訳方法２（点字入力）は、

新規入力と校正と訂正入力の時に、次の左の「墨字漢字文」を、右の「点字文」に、いつも、頭の中で変換する必要がある。「『カ』の点字は点１と点６からなる点字である」ようなことをカナと数字とアルファーベット全部について覚えている。しかも、「『カ』の点字を書こうと思ったら、ひとりでに、点１と点６に対応するＦとＬのキーを同時に指で押していること」が、全部のカナ・数字アルファーベットについて出来ることが、新規入力と訂正入力の時に必要です。

点訳方法３（墨字入力）は、新規入力と校正と訂正入力の時に、次の左の「墨字漢字文」を、中央の「マスあけフリガナ文」に、頭の中で変換する必要があるだけ。

(墨字漢字文)　　（マスあけフリガナ文）　　（点字文）

「今日は天気が良い」　⇒　「キョーワ　テンキガ　ヨイ」　⇒　

表２－４－１。　点訳方法の種類。

手順	１	２	３	４の１	４	５の１	５			
作業内容 / 点訳方法	墨字文章読み取り	マスあけ	漢字振り仮名	墨字カナキー入力	点字に変換	点字キー入力	点字を紙に書く道具	１回の点訳による点字印刷部数	他の点字出力方法	校正
点字器。点字タイプ	目で読む	人間	人間	(なし)	人間	人間	点字器。点字タイプ。	１部だけ	なし	難しい
点字入力のパソコン点訳	目で読む	人間	人間	(なし)	人間	人間	パソコン＋点字プリンター。	２部以上も簡単に出来る	点字ディスプレイ出力。点字製版と点字印刷。	簡単
墨字入力のパソコン点訳	目で読む	人間	人間	人間	パソコン	なし				
全自動点訳	パソコン＋スキャナ	パソコン	パソコン	なし	パソコン	なし				

点訳プログラムの例。　例１。「ＷｉｎＢＥＳ」（ウィンベス）。　点字文章ファイルを編集や点字プリントするプログラムです。直接点字入力のパソコン点訳と、墨字入力のパソコン点訳が出来る。次のホームページから入手できる（無料）。
ｈｔｔｐ：／／ｎａｉｉｖ．ｇｒ．ｊｐ／　の「その他のホームページ集「点字編集～」のダウンロードへリンク。または
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ－６．ｉｂｍ．ｃｏｍ／ｊｐ／ａｃｃｅｓｓｉｂｉｌｉｔｙ／ｓｏｆｔ／ｗｉｎｂｅｓ９９．ｈｔｍｌ＃ｎａｖｓｋｉｐ　。このプログラムは、Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰ　は、そのままでは動かないが、対策は、　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｔｅｎｙａｋｕ．ｎｅｔ／　に出ている。（４個のフォント・ファイルを追加インストールすればよい）。
ＷｉｎＢＥＳ動作条件。ＣＰＵ＝Ｐｅｎｔｉｕｍ以上。メモリ＝３２ＭＢ以上。ディスプレイ＝２５６色（８００Ｘ６００）以上。ハードディスク＝２０ＭＢ以上の空き。使える点字プリンターは、ＪＴＲ＝ＮＥＷ　ＥＳＡ７２１。リコー　点図くん。日本テレソフト＝ＢＰＷ－３２，ＴＰ３２。使える点字表示器は、アルバ　ＢＡＴ３４０．　ブレールノート４０Ａ，４０Ｃ。
例２。「イブキテン」。岐阜大学工学部の先生や学生が作った点訳方法４の点訳プログラム「IBUKI-TEN」（イブキテン）。次のホームページから入手できる。ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｉｋｄ．ｉｎｆｏ．ｇｉｆｕ－ｕ．ａｃ．ｊｐ／ＩＢＵＫＩ－ＴＥＮ／
例３。相川点訳プログラム。相川ホームページに掲載予定。

５節。点訳費用。
０。点字用紙。　点字を書く紙は、厚手の模造紙です。これをＢ５判よりも少し大きな、規定の大きさに切った紙を点字用紙と呼ぶ。紙の重さによって、９０キロ、１１０キロ、１３０キロの３種類がある。紙の重さとは、布の反物のようにグルグル巻いたようなものの、決められた面積の紙の重さです。紙の重さによって、紙の厚さ（丈夫さ）を表わす。
普通の点訳には９０キロを使う。
点字の手紙を書くときは、郵便局の郵便番号自動読み取り機の２個のローラーの間を通る時に、９０キロの紙の点字の凸点が平らになるので、１１０キロの紙を２枚重ねにして点字を書く盲人も多い。
１。点字器や点字タイプ。　点字器は５千円くらい。点字タイプは、２万円くらい。　点字用紙は１枚１円２０銭～１円８０銭。
２。点字プリンター。　パソコンが既にある場合は、点字プリンターが５０万円以上。点字用のプリンター用紙は、１枚（片面点字印刷なら１ページ。両面点字印刷なら２ページ）３円くらい。この章の最後に追加説明。
３。点字製版機と点字印刷機。　亜鉛板または塩化ビニールの板を２つ折にして２枚重ねの状態で、点字製版機を使って、点字を打って（書いて）点字印刷原版を作る。この２枚重ねの間に、点字用紙を差し込んだ状態で、点字印刷機の、２個のローラーの間を通すと、点字用紙に点字の凸点の文章が移る。点字製版機は２００万円（？）。点字印刷機は６０万円以上。塩化ビニール板１枚は６０円。点字用紙は項目１と同じ。
４。点字ディスプレイ。　点字の凸点の代わりにプラスティックのピンが上げ下げして点字の文章を表示する。２０文字１行だけで約２０万円。４０文字１行だけで４０万円以上。紙に書いた点字の本はかさばるが、点字ディスプレイは点字の文章をパソコンのディスク・ファイルに記録しておいて、読みたい文章だけを点字ディスプレイに表示するので、かさばらない。
５。点字文章ファイルを作るだけ。　４節の項目２、３、４を使って点字文章ファイルを作るだけ。
そのファイルを６節の項目３（自分のホームページに出す）、または、項目４の「ないーぶネット」に点訳文章ファイルを登録（寄付）する。　点訳した点字文章ファイルを送るだけの会員団体の会費は無料です。

６節。点訳書を配る方法。
１。点字図書館。　点字図書館に寄付して蔵書とする。読みたい盲人は借りて読む。点字本はかさばるので、点訳者が自分で選んだ本を点訳しても点字図書館が受け取らないことがある。点訳前に、受け取るかを問い合わせる。６－４節も参照。
２。盲人個人。　個人的に盲人から点訳を頼まれた本を点訳する。
３。自分のホームページ。　点字文章ファイルをダウンロードする働きだけの自分の(または、通学先の中学や高校の）ホームページを作る。、新たに本を点訳するたびに、そのホームページに点字文章ファイルを追加する（アップロードする）。
盲人がダウンロードしたファイルを紙に点字プリントしたい場合に、項目４の２の点字図書館などに頼む場合も考えて、項目４の２の２のページ設定にすると良い。そのために同じプログラム「ＢＥＳ」を使うと良い。
４。「ないーぶネット」。　昔の「ＩＢＭ点訳広場」です。ホームページ。ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｎａｉｉｖ．ｇｒ．ｊｐ／
点字文章編集プログラムは、日本ＩＢＭ社が作った「ＢＥＳ」を使う。無料配布。「ＢＥＳ」は、ホームページ４節項目２。
４の０。事務局。全国で１箇所の点字図書館に事務局を置く。事務局のパソコンのハード・ディスクに点字文章ファイルを記録しておいてある。全国の点字図書館などと、視覚障害者個人と、点訳者団体（または、点訳者個人）（利用登録したものに限る）の３種類と、「ないーぶネット」の事務局は、電子メールで結んである。
４の１。点訳者。点訳者団体や点訳者個人が新たに点訳した本の点字文章ファイルを事務局に送ってハード・ディスクに追加記録する。１台のパソコンは、たくさんのハード・ディスクを接続できるので、いったん登録した本をハード・ディスクから削ることは、しない。点訳者が点訳したい本を選べる。
４の２。点字図書館。視覚障害者が、地元の点字図書館などに頼んで次のどちらかをしてもらう。
４の２の１。検索。読みたい本を、著者名や書名や件名などによって、点訳図書目録で探してもらう
４の２の２。点字プリント。読みたい本が図書目録に有れば、点字文章ファイルを取り寄せて、その点字図書館の点字プリンターで紙に点字プリントしてもらったのを受け取る（１枚に片面プリントの１行３２マスの２４行。点字本１冊は約８０枚で、5円×約８０枚＝約４００円を払う）。
４の２の３。ファイル・コピー。または、点字文章ファイルをフロッピー・ディスケットに入れて、自分の点字ディスプレイで読む（点字ディスプレイを持っている人だけ）。
４の３。視覚障害者個人は、自分で検索して取り寄せた点字文章ファイルを自分の点字ディスプレイに表示して読む。または、自分の点字プリンターで紙に点字プリントして読む。
説明。点字図書館の職員が「ないーぶネット」の使い方を良く知らないところでは、既に点訳して登録してある本を、目録で探せなくて「そんな本は無い」と断ったり、点字ファイルをフロッピーに入れることが出来ないことも有る。

５。学習参考書点訳配布。　倉敷市内に住むシモゾノさんは、市販の数学や英語などの学習参考書を点訳して盲学校や盲人生徒に配っている。点字製版機と点字印刷機を買って、製版と印刷をして。
６。パソコン参考書点訳配布。私の場合は、点字本用に自分でパソコン参考書を書いて、点訳製版して点字印刷して、その点字参考書をテキストにして、全国の盲人を対象にしたパソコン講習会を開いて、テキストだけ欲しい人にも配って、弱視者用の拡大文字本も作って配る。点字製版機と点字印刷機を使う。

７節。郵便料金。
１。点字の本や手紙。　日本郵政公社になったあとも、当分は、郵送料が無料扱いです。
その条件は、封筒の表の切手を貼る位置に「盲人用」と書く。開封にする。封筒なら封の部分を３分の１くらいの幅を切り捨てる。本なら、包装の１部を縦５ミリ横２センチくらいの長方形を切り抜く。条件は項目２～４も同じ。
２。墨字の文書の途中に凸点の点字を書いた、点訳規則説明書など。
３。点字用紙（点字を全然書いていない紙）。　条件。　郵政大臣（今は、日本郵政公社社長？）の指定を受けた施設が差出人または受取人の場合だけ、切手を貼る位置に「盲人用」と書くと郵送料が無料扱いになる。
４。盲人用録音物。　本の朗読など、盲人用の録音をしたテープやＣＤ－ＲＯＭやMO(光磁気)ディスケットやフロッピー・ディスケット。「条件」は「３。点字用紙」と同じ。
５。拡大文字の本。弱視者用。　料金割引制度は無い。拡大文字を書いた紙を２穴リング・ファイルや事務用黒色ひもで綴じると、「冊子小包」が料金が１番安い。開封にする。私信（［拝啓］などを含む文章を書いた紙）を入れてはいけない。
説明。「弱視者」とは、左右の視力の合計が０．０５以下で、大きな文字(拡大文字)なら読める人を言う。「拡大文字」の標準寸法は、１文字が縦１２ミリ、横も１２ミリです。拡大写本団体の中には、漢字は縦横１４ミリ、カナや数字やアルファーベットは縦１４ミリ横７ミリにする団体も有る。
６。他の点字印刷(点字複製)方法。　普通の人は、使えない。
６の１。立体コピー。　白色の紙に黒色で書いた点字や図形の形を描いた原稿を、専用複写機で専用用紙にコピーして、別の機械で光を当てると黒色部分の点字や図形の部分の紙が膨らんで点字や人体図形などが盛り上がる。２種類の専用機械が必要。専用用紙は、１枚５０円。
６の２。サーモフォーム(ｔｈｅｒｍｏ　ｆｏｒｍ。熱成型)。点字を書いた紙の原稿の上に薄いプラスティックのシートを置いて、シートを加熱して柔らかくして、下側を減圧すると紙に吸い付く。冷めるとシートが硬くなって、紙の点字が写る。専用の機械が必要。
６の３。点字吹きつけ。　参議院全国区の選挙広報の製作などに使う。　紙にプラスティックを吹き付けて固まると点字の凸点が出来る。機械が７千万円。

１節の追加。
３。愛媛大学の例。　「障害のある学生に対し、愛媛大学では障害学生支援委員会を設け、全学的な視点で学習支援を行っている。委員会業務は、情報保障、移動介助、拡大文字装置、情報保障、それらにあたるボランティア学生の養成講座の開催、専門技術の養成講座の開催、各教官への説明、障害学生とボランティア学生との仲介などさまざまである。」(電子情報通信学会技術研究報告。ＷＩＴ２００３－８．２００３年。４３～４８ページから抜粋)。弱視１名、車椅子１名、聴覚障害８名が在学中。

６の２節。　点字プリンター（追加）。
１。値段が高いので、個人（のグループ）で買うのは大変だから、公共施設（点字図書館、公民館、社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社、盲学校など）に有るのを借りて使うのが良い。ただし、個人には貸さないで、ボランティアグループに貸す方式の施設が多い。既に有るグループに加入するか、仲間とグループを新規に作って利用申請をする。
２。近くに点字プリンターを備える施設が無い場合。公立図書館に対面朗読室が有る所も多い。パソコン点訳の場合は、点訳作業のうちの点字文章をフロッピーに入れるまでの作業は、時間が沢山かかるが、点字プリンターによって紙に点字をプリントする時間はわずかだから、図書館に頼んで買ってもらって、対面朗読室や、朗読録音に使う部屋に置いてもらって、借りて使えるようにするのが良い。点字プリンター用紙は使う人が自分で買って持って来ることにして。
３。岡山県内の点字プリンターのある施設の例。
岡山市社会福祉協議会。岡山市鹿田町１－１－１（市役所となり）岡山市保険福祉会館５階。日本テレソフトのＢＰＷ３２。
岡山市北ふれあいセンター。京山ロープウェイの西側ふもと。（米）ＥＴ社のジュリエット。３台。
岡山市西ふれあいセンター。岡山市妹尾。宇野線妹尾駅に近い。（米）ＥＴ社のジュリエット。
岡山市南ふれあいセンター。岡山市福田。（米）ＥＴ社のジュリエット。
岡山市西大寺ふれあいセンター。赤穂線西大寺駅から１キロ。ジェーティーアール（国産）のＥＳＡ７２１。
岡山市吉備公民館。山陽本線庭瀬駅から１キロの旧２号線沿い。倉敷寄り。（米）ＥＴ社のＲｏｍｅｏＰｒｏ５０。
岡山県視聴覚障害者福祉センター。宇野線大元駅から南へ１キロ。ＥＳＡ７３１（？）。
倉敷市社会福祉協議会。倉敷市立葦高小学校の裏。倉敷健康プラザ３階。日本テレソフトのＴＰ３２。電動式点字製版機・点字印刷機も有る。
６の３節。　パソコン点訳を墨字入力でする時の注意。（ＷｉｎＢＥＳの場合）
１。墨字入力方法。　次の２種類がある。ファイル入力が良い。
１の１。墨字キー入力。　墨字カナ文をキーを押して入力すると、点訳プログラムの編集画面に、点訳された点字が書き込まれるやり方。
１の２。墨字ファイル入力。　まず、墨字カナ文を「メモ帳」プログラムで入力してファイルに保存する。次に、ファイルを点訳プログラムで点訳する。
比較。墨字キー入力の途中でエラーが起きて、点訳プログラムが強制終了に成ることが時々有る。その時は入力して有る点字

文章が(ファイルに保存されないで)消える。新規入力は墨字でできるが、訂正入力は点字を知らないとできない。墨字ファイル入力　は、たとえエラーが起きても「メモチョウ」作成の墨字ファイルは残る。

２。記号の点訳。　カナと数字とアルファーベットの点訳は、どの点訳プログラムも、正しく点訳する。しかし、カナ記号（。～「　」　など）や英数記号（．％＄＃＠　など）は、点訳プログラムによっては、「本来の、その記号の点字」とは違う点字に変換する点訳プログラムがあるので、自分の使う点訳プログラムについて、「どの記号点字には、どの墨字入力が良いか」と「その記号の墨字入力が点字行頭や行末に来た時に点訳規則どおりに行移しするか」を調べて使う。

３。点字を知らない人の墨字入力には、それぞれの記号の点訳結果を書いた資料の有る点訳プログラムを使うのが良い。

４。墨字２個による、記号の点訳。　「　（カギ開く）１個は、点３６点字に点訳されるから、　「　２個は点３６点字２個（記号　～　の点訳）には点訳されると想像しがちだが、実際に点訳させると別の点字（「２重カギ開く」の２マス点字）に変換される。点訳結果の想像（～）と実際（２重カギ開く）は違うことがあるので、必ず実際にその記号を点訳して調べる。

５。墨字記号に自動的にマスあけを付けて点訳する例。　墨字入力　「コメ」「ムギ」　を　「コメ」□「ムギ」　と同じ点訳に変換する。他の点訳プログラムでも共通に使える墨字入力にするために、　「コメ」□「ムギ」　を使うのが良い。

６。墨字２個の点訳の行移し。　紙の点字の行の３０マス目からに、『3～5　の代わりの墨字入力　3「」7　の点訳点字６マス全体』は、その行に入りきらない。点訳方法１。「６マス全体を次の行の１マス目からに書くか」それとも、点訳方法２。「６マスの中の何マスかをその行に書いて、残りを次行１マス目からに書くか」を調べる。ＷｉｎＢＥＳは点訳方法１です。

７。自分で使う点訳プログラムは１個に決めておく。このテキストでは、日本ＩＢＭ社が、ホームページ無料配布の点訳プログラム「Ｗｉｎ－ＢＥＳ」について、項目２を説明する。

８。点字印刷。　大多数の点訳プログラム（例。「Ｅｘｔｒａ」）は、ＷｉｎＢＥＳで作った点字文章ファイルを読み込む働きを持っている。図書館や福祉施設の点字プリンターを使って点字印刷するときは、パソコンに「Ｅｘｔｒａ」だけが有る時は、ＷｉｎＢＥＳ作成の点字ファイルをＥｘｔｒａで読み込んで、Ｅｘｔｒａ式の点字ファイルに変換してから、点字印刷する。

６－４節。　全国の図書館の点字図書目録の検索。

１。ホームページを開く。　ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｎａｉｉｖ．ｇｒ．ｊｐ／　を開く。「ビジターページ」「リンク集」「国立国会図書館の点字録音図書全国総合目録」「点字録音図書～」「点字録音図書総合目録の検索／申込み」を順にクリック。このあとで、次の項目２～４が出来る。

２。参加図書館の調べ方。「参加館一覧」「岡山県」を順にクリック。「岡山県視聴覚障害者センター」「倉敷市立中央図書館」「金光図書館」「奈義町立図書館」の４館が表示される。

３。点訳中の本。「視覚障害者のページ」「製作着手情報」を順にクリック。

４。図書目録の検索の例。「資料形態」欄は、「点字（冊子）」（紙に印刷した点字の本）「点字（ファイル）」（フロッピーなどに記録した点字状態のファイル）。「録音」「拡大文字」の４種類。

ア。「資料形態」欄に「点字（冊子）」、「所蔵館」欄に「金光図書館」を入力して「検索」をクリックすると、その図書館の点字本全部のリストと、タイトル個数を表示する。「岡山県視聴覚障害者福祉センター」「倉敷市立中央図書館」に置き換えたのもしてみる。墨字の本１冊(全３巻の本なら,３巻１組）を「１タイトル」と呼ぶ。墨字の本１冊は２冊以上の点字本に点訳されるので、「冊」を単位にして数えると、おかしく成るため。

「所蔵館」欄の手抜き入力。　「こんこう」と読みを入力して「変換」キーを押して、変換候補リストの中の「金光」をクリックして確定すると、「金光図書館」が関連表示されるので、それをクリックする。

イ。「資料形態」欄に「テープ（カセット）」、「所蔵館」欄に「春日井市立図書館」を入力して「検索」をクリックすると、その図書館の録音テープ全部のリストと、タイトル個数を表示する。「相川哲弥著。パソコンＭＳ－ＤＯＳ手引書」も有る。

ウ。「タイトル」（書名）欄に「読むクスリ」、「資料形態」欄に「点字（冊子）」を入力して「検索」をクリックすると、全国の図書館の「読むクスリ」の点訳本の全部のリストを表示する。

第３章。　点訳規則。　１個の単語の中。

１節。　カナ。漢字の振り仮名。

目的。　普通の点字には漢字が無いので、漢字は振り仮名によって置き換える。
点訳の時の振り仮名は、漢字は発音通りに振り仮名する。（普通と少し違う。）

この本の振り仮名の区別。
１。ひらがなの振り仮名は、普通の振り仮名（ワープロのカナ漢字変換の読み仮名）です。
２。カタカナの振り仮名は、点訳用の振り仮名です。
２の１。点訳用の振り仮名をキー入力すると、ＢＥＳプログラムや、相川式パソコン点訳プログラムが、点字に変換できる。
２の２。点訳用の振り仮名を、人間の頭で点字に変換してから、「パソコン点字入力」や「点字器や点字タイプによる点訳」が出来る。点字のカナは、カタカナとひらがなの区別が無いので、この本では、カタカナによって点字カナを書いている。

規則	例。　「点訳用の振り仮名」　（　「墨字文」　）			
１。　漢字は発音通りに振り仮名する。	モクテキ（目的）。　セカイ（世界）。			
２。助詞（テニヲハ）の「は」は「ワ」に変える。 「へ」は「エ」に変える。	オトコワ（男はつらいよ）。 ナゴヤエ（名古屋へ行く）。			
３。長音。 母音（ぼいん）が伸びる時。 ア段は、「ア」を書く。 ウ段、オ段は、長音「ー」を書く。 エ段、イ段は、「イ」を使う。		例。	普通の振り仮名	点訳用の振り仮名	説明。
	ア段	お母さん	おかあさん	オカアサン	下の注意１を参照。
	ウ段	空気 通風	くうき つうふう	クーキ ツーフー	「くう」は音読み。 「つう」「ふう」は音読み
	オ段	工業 (大きい こう	こうぎょう おおきい こういう人は	コーギョー オオキイ コー　イウ	「こう」「ぎょう」は音読み。 「おおきい」は訓読み）。 「こう」は、もともとカナ書き。
	エ段	英語 経営	えいご けいえい	エイゴ ケイエイ	「どういう事か」「そう言う物だ」 も「ドー」「ソー」と書く。
	イ段	柊	ひいらぎ	ヒイラギ	
４。長音の例外。 次の語は、 長音「ー」を使わない。 (おもに、漢字の訓読みの振り仮名)	イキドオル（憤る）。イトオシイ。オオイ（多い）。オオウ（覆う）。オオカミ（狼）。オオキイ（大きい）。オオセ（仰せ）。オオバコ（車前草）。オオムネ（概ね）。オオヤケ（公）。オオヨソ（大凡）。コオリ（氷、郡）。コオル（凍る）。コオロギ。シオオセル。トオ（十）。トオイ（遠い）。トオル（通る）。トドコオル（滞る）。ホオ（頬、朴）。ホオズキ。ホノオ（炎）。モヨオス（催す）。ヨソオウ（装う）。クウ（食う）。ヌウ（縫う）。スウ（吸う）。オモウ（思う）。オオシエスル（お教えする）。オオクリスル（お送りする）。				
５。外来語は原文どおり書く。	コーヒー（コーヒー）。ファイル（ファイル）。カルシウム（カルシウム）。カルシューム（カルシューム）。ヴァイオリン（ヴァイオリン）。バイオリン（バイオリン）。				
５－１。外来語の例外。外来語のうちで、１覧表(項目９)に無いものは、もっとも近い発音を書く。	レビュー（レヴュー。「ヴュ」は、無い）。パラグァイ（パラグヮイ。「グヮ」が無い）。フヨードル（フョードル。「フョ」が無い）。				
５－２。例外(相川流)。　２個以上の外来語単語の間のマスあけ。　分かち書きしないで書いてある所でも、マスあけする。	例。パソコン参考書では「コミュニケーションエイド」のように２個以上の単語を続けて書く時が多い。これは「コミュニケーション□エイド」のようにマスあけする。				
理由。紙の点字の１行３２マスの右端に「コミュニケーション」は入るが、「エイド」も入れるとその行を あふれる時は、「コミュニケーション□エイド」の時は、点訳プログラムが、「エイド」だけを次行頭に移すが、「コミュニケーションエイド」の時は、その全体を次行頭に移して紙の無駄が多い。					
６。擬態語。擬声語は原文どおり書く。 ただし、「ウ」の長音は「ー」を使う。	シイント（シインと）。メーメー（メーメー）。メエメエ（めえめえ）。 スースー（すうすう）				
８。「ヂ」と「ジ」、「ヅ」と「ズ」。 原則。　「ヂ」「ヅ」「ヂャ」「ヂュ」「ヂョ」の代わりに、「ジ」「ズ」「ジャ」「ジュ」「ジョ」を使う。	トチ（土地）。ジシン（地震）。ミズ（水）。				
例外１。連濁。　「チ」「ツ」「チャ」「チュ」「チョ」は、 前のことばと、つながっていない時は　濁らない　けれども （「チ」「ツ」「チャ」「チュ」「チョ」だが） 前のことばと、つながっている　時は　濁る、 場合は、「ヂ」「ヅ」「ヂャ」「ヂュ」「ヂョ」を使う。	チカラ（力）。ソコヂカラ（底力）。 チャワン（茶碗）。ユノミヂャワン（湯飲み茶碗）。 ツエ（杖）。ホオヅエ（頬杖）。				
例外２。「チ」の次は「ヂ」を使う。 「ツ」の次は「ヅ」を使う。	チヂム（縮む）。チヂメル（縮める）。チヂマル（縮まる）。チヂレル（縮れる） ツヅク（続く）。ツヅケル（続ける）。ツヅル（綴る）。ツヅリカタ（綴り方）				

注意１。「ア」の長音は「点訳のしおり」の１９７８年版は、「ー」（長音）で、１９８９年版は「ア」と書いてあるので、「お母さん」や「おかあさん」の点訳用振り仮名を「おかーさん」「おかあさん」のどちらを書いても盲人は読めるらしい。
注意（規則８の例外１）。「ツキズエ（月末）」の「ズエ」は、前に言葉「つき（月）」がないときは「すえ」であり、「ツエ」ではないから、「ズエ」に成る（「ヅエ」ではない）。

	９。点字の有る外来語発音の墨字の１覧表。	濁音。半濁音。	拗音	拗濁音
ア行	イェ。ウィ。ウェ。ウォ。 ヴァ。ヴィ。ヴ。ヴェ。ヴォ。			
カ行	クァ。グァ。	ガ　ギ　グ　ゲ　ゴ	キャ　キュ　キョ	ギャ　ギュ　ギョ
サ行	シェ。ジェ。	ザ　ジ　ズ　ゼ　ゾ	シャ　シュ　ショ	ジャ　ジュ　ジョ
タ行	ツァ。ツィ。ツェ。ツォ。チェ。 ティ。ディ。トゥ。ドゥ。テュ。デュ。	ダ　ヂ　ヅ　デ　ド	チャ　チュ　チョ	ヂャ　ヂュ　ヂョ
ナ行			ニャ　ニュ　ニョ	
ハ行	ファ。フィ。フェ。フォ。	バ　ビ　ブ　ベ　ボ パ　ピ　プ　ペ　ポ	ヒャ　ヒュ　ヒョ	ビャ　ビュ　ビョ ピャ　ピュ　ピョ
マ行			ミャ　ミュ　ミョ	
ラ行			リャ　リュ　リョ	

注意。最近の点訳規則は「外来語発音の点字」を最近増やしたが、増やしたものは、点訳プログラムの点訳の働きには追加されていない可能性が強いので、墨字入力の点訳はエラーに成るか、それとも、おかしな点字に変換されるかの、どちらかです。墨字入力のパソコン点訳の場合は、上の「外来語発音の点字」だけを使うのが無難です。

１の１節。点訳用の墨字入力文の読み方規則の例。

２人以上で点訳の勉強や講習会で、声で読み上げて答え合わせをする時に、読み方の約束の例。

規則		文字	読み方	原文	声の読み上げ
	長音	ー	チョウオン （参考）	東京 大きい	ト　チョーオン　キョ　チョーオン オオキイ
	「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」	ぢ	チにダクテン	馬鹿力	バカ　チにダクテン　カラ
		づ	ツにダクテン	続ける	ツ　ツにダクテン　ケル
		じ	ジ	時間	ジカン
		ず	ズ	地図	チズ
	カギ	「	カギヒラク	「終わり」と言った	カギヒラク　オワリ　カギトジル　ト　イッタ
		」	カギトジル		
	カッコ	（ ）	カッコヒラク カッコトジル	ＭＯ（光磁気）	エム　オウ　カッコヒラク　ヒカリ　ジキ　カッコトジル

墨字原文の例。　彼は去年に続いて今年も全国大会（東京で開催）で優勝して「うれしい」と言った。

点訳用の墨字入力。　カレワ　キョネンニ　ツヅイテ　コトシモ　ゼンコク　タイカイ（トーキョーデ　カイサイ）デ　ユーショーシテ　「ウレシイ」ト　イッタ。

答え合わせ用の読み方。　カレワ　ますあけ　キョネンニ　ますあけ　ツ　ツにダクテン　イテ　ますあけ　コトシモ　ゼンコク　タイカイ　カッコヒラク　ト　ちょーおん　キョ　ちょーおん　デ　ますあけ　カイサイ　かっことじる　デ　ユ　ちょーおん　ショ　ちょーおん　シテ　かぎひらく　ウレシイ　かぎとじる　ト　ますあけ　イッタ　くてん

点訳講習会を全盲の盲人が教えるところが、かなりあるが、この読み方では、全盲でも墨字入力文の答え合わせができる。

１の２節。　点訳規則（マスあけ規則）の勉強のやり方。

次の手順１～２を、３～５章について、順番に行う。

手順１。　「３の１節」の本文を読む。

手順２。　「３の１節」に対応する問題（８章２節「問題４の３－２」）の問題１１の答えを次のようにノートに書く。

		（説明）
問題文。	この小説を読んだ	
単語分割。	この　小説　を　読ん　だ	単語に分割して書く。
	連体詞　名詞　助詞　動詞　助動詞	品詞（単語の種類）を書く。
	「読む」の連用形　「だ」の終止形	活用する言葉（動詞、形容詞、形容動詞、助動詞）の場合は「終止形は何か」と、その活用形も、書く。
マスあけ。	コノ□ショーセツヲ□ヨンダ	マスあけして、漢字フリガナしたのを書く。

１の３節。　私のパソコン点訳講習会の教え方。

１。一般的な点訳規則の、１群を教える。　例。３章１節規則１～４。

２。８章の、その点訳規則の、練習問題を順番に、受講生１人に１問ずつ、解いたものを口で言わせる。（黒板を使わない）その内容を、１の２節の例によって説明する。

問題文。　この小説を読んだ

あ。　区切り読み。（３の１節。手順０）。　例。　コノ□ショーセツヲ□ヨンダ

い。　単語に分解。「コノ　は、連体詞」「ショウセツ　は、名詞」「ヲ　は、助詞」「ヨン　は、動詞『読む』の連用形」「ダ　は、助動詞『ダ』の終止形」

う。　マスあけ。　コノ　ますあけ　ショ　ちょーおん　セツヲ　ますあけ　ヨンダ

２節。 数字を含むことば。

１。数字。　説明。 □ は「マスあけ」を表わす。 ■ は「続ける」（「マスあけしない」）を表わす。

規則。	例。
１。数字と単位。 「数字」■「単位」 「～時」□「～分」□「～秒」 「年号」□「～年」□「～月」□「～日」 「～時」■半 「経度緯度」□「～度」□「～分」	５ホン（５本。五本）。３０ピキ（３０匹。三十匹）。３５トン（３５トン）。 ３５ｃｍ（３５ｃｍ）。０．０４ｐｐｍ（０．０４ｐｐｍ） ８ジ□３５フン（８時３５分。八時三十五分。八時三五分）。 ヘイセイ□１３ネン□７ガツ□１５ニチ（平成１３年７月１５日）。 ９ジハン（９時半）（九時半）。 ホクイ□７４ド□２８フン（北緯７４度２８分）

類似例。 ３トーショー（３等賞。三等賞）。ダイ３シャ（第三者。第３者）。スー１０ニン（数十人）。エリザベス□２セイ（エリザベス２世）。３ブンノ□２（三分の二。３分の２）。８□タイ□３（八対三。８対３）。

２。数字の通りに発音しない場合は、 カナで書く。	ヒトツ（１つ。一つ）。フタツ（二つ。２つ）。ヒトコト（一言）。ヒトリ（１人。一人）、フタリ（２人。二人）。ミバン（三晩。３晩）。シコク（四国）。
３。「１」が数字の意味が薄れている場合は、 カナで書く。	イチランヒョー（一覧表）。イッパンテキ（一般的）。イッシュン（一瞬）。イチドー（一同）。 「薄れているか」の判定方法。 「一覧表」とは言うが、「２覧表」「３覧表」とは言わない。「一同」とは言うが「二同」「三同」とは言わない。 １リュー（一流）。(「１流」、「２流」、「３流」と言うから)。
５。数字の終わりが千、万、億、兆の場合は、 その位取りをカナで書く。 「～兆」□「～億」□「～万」□「～千」	６センネン（６０００年）。４マントン（４００００トン）。 ４マン□３ゼンキロ（４３０００キロ）。５オク□３ゼンマンエン（５３０００００００円）。７センオクエン（７千億円）
５の１。ただし、百以下の位に、 ０以外の数字があるときは、 千以下の位を数字で書く。	２４００メートル（２４００メートル）。３５０エン（３５０円。三百五十円） ２３５７キロ（２３５７キロ。二三五七キロ。二千三百五十七キロ）。 ５センマン□２３５７メートル（５０００２３５７メートル）
６。数字が重なる場合。 例。２、３回。３５、６年。 二・二六事件。	直接点字入力。「数符」２「数符」３カイ（２、３回）。 「数符」３５「数符」６ネン（３５、６年）。 「数符」２「数符」２６ジケン（二・二六事件）。 相川点訳の墨字入力。２’３カイ（２、３回）。３５’６ネン（３５、６年）。 ２’２６ジケン（二・二六事件）。 注。「 ’ 」は、「アポストロフィー」＝「Ｓｈｉｆｔ」+「7」 ＷｉｎＢＥＳ墨字入力（どうにか読んでくれるやり方)(点字入力と同じに点訳する墨字入力はＷｉｎＢＥＳには無い）。 ２□３カイ（２、３回）。３５□３６ネン（３５、６年）。 ２□２６ジケン（２・２６事件）。
７。数の範囲。 例。２３～４６キロ。７月５～８日。 月～金曜日。京都～名古屋間は各駅停車。	直接点字入力。「数符」２３「継ぎ符」「継ぎ符」「数符」４６キロ（２３～４６キロ）。 ゲツ「継ぎ符」「継ぎ符」キンヨービ(月～金曜日)。 相川点訳の墨字入力。２３～４６キロ（２３～４６キロ）。ゲツ～キンヨービ(月～金曜日)。 ＷｉｎＢＥＳと相川点訳の両用の墨字入力。 ２３「 」４６キロ（２３～４６キロ）。ゲツ「 」キンヨービ(月～金曜日)

８。数字の種類。墨字の数字の種類には、次の４種類がある。
算用数字（別名、アラビア数字）。 １２３４５６７８９０ のこと。
漢数字。 一二三四五六七八九〇 十 百 千 万 億 兆 京（ケイ。兆の１万倍）
漢数字の大字（だいじ）。 壱 弐 参 拾 （１ ２ ３ １０）
ローマ数字（大文字）。 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ Ⅼ Ⅽ Ⅾ Ⅿ
Ⅰ ⅠⅠ ⅠⅠⅠ ⅠⅤ Ⅴ ⅤⅠ ⅤⅠⅠ ⅤⅠⅠⅠ ⅠⅩ Ⅹ Ⅼ Ⅽ Ⅾ Ⅿ
ローマ数字（小文字）。 ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ ⅼ ⅽ ⅾ ⅿ
ⅰ ⅱⅰ ⅲⅰ ⅳⅰ ⅴ ⅵⅰ ⅶⅰ ⅷⅰ ⅸⅰ ⅹ ⅼ ⅽ ⅾ ⅿ
(対応する算用数字 １ ２ ３ ４ ５ ６ ７ ８ ９ １０ ５０ １００ ５００ １０００)

ローマ数字の書き方。 印刷文書では、文字１マス分に書く書き方（Ⅱ Ⅲ Ⅳ ⅱ ⅲ ⅳ など）と、２マス分以上に書く書き方（ＩＩ，ＩＩＩ，ＩＶ，ⅱ，ⅲⅰ，ⅰⅴ）がある。
ローマ数字の例。 ＩＶ ４（５－１）。ＩＸ ９（１０－１）。ＸＩＩ １２（１０＋２）。ＸＶＩＩ １７（１０＋５＋２）。ＸＩＸ １９（１０＋１０－１）。ＸＸＩＩＩ ２３（２０＋３）。ＸＸＩＸ ２９（２０＋１０－１）。ＸＬ ４０（５０－１０）。ＬＸ ６０（５０＋１０）。
ＭＣＭＬＸＸＶＩ １９７６。Ｍ＝１０００，ＣＭ＝９００(１０００－１００)，ＬＸＸ＝７０（５０＋１０＋１０），ＶＩ＝６．

点字の数字は１種類しか、ない。 ８の１。「算用数字」も「漢数字」も「漢数字の大字」も、同じに書く。	直接点字入力。「数符」２３　（「２３」も「二三」も「二十三」も「弐拾参」も） 墨字入力のパソコン点訳（ＷｉｎＢＥＳや相川点訳の墨字入力）。 ２３　（「２３」も「二三」も「二十三」も「弐拾参」も）。
８の２。ローマ数字の点訳方法。次の２種類。	
８の２の１。対応するアルファーベットに点訳。 （全国の点訳講習会用のテキストにある方法です。墨字文章をなるべく忠実に点訳するため。）	直接点字入力。　ダイ「外」ｖｉｉ□ショー（第vii章、第ｖｉｉ章）。 ダイ「外」「大」「大」ｖｉｉ□ショー（第VII章、第ＶＩＩ章）。 註。　「外」＝「外字符」の略。「大」＝「大文字符」の略。 ＷｉｎＢＥＳと相川点訳の墨字入力。 ダイｖｉｉ□ショー（第vii章、第ｖｉｉ章）。 ダイＶＩＩ□ショー（第VII章、第ＶＩＩ章）
８の２の２。対応する数字に点訳。 （相川流。）	直接点字入力。　ダイ「数符」７ショー（第vii章、第ｖｉｉ章、第VII章、第ＶＩＩ章）。 ＷｉｎＢＥＳと相川点訳の墨字入力。 ダイ７ショー（第vii章、第ｖｉｉ章、第VII章。第VII章。第ＶＩＩ章）。

８の２の２の理由。ローマ数字を良く知らない盲人も、アルファーベットの点字を読めない盲人も、読み間違えをしないで、読めるようにするため。１９４１～４５年は、日本がアメリカやイギリスなどと第２次世界大戦をしていた。その時期は、英語は敵性言語だからと、健常者学校で教えず、野球用語の「ホームラン」や「バッター」も和語に置き換えられた。盲学校でも、英語を教えなかったので、その時期に中学生だった盲人は、アルファーベットの点字を読み書きできない盲人が多い。ただし教員になった人は、仕事に必要だから追加勉強したりして読み書きできる。

９	「数字」と「カナ」の間。 (点字入力、点字器、点字タイプに必要。 (墨字入力のＷｉｎＢＥＳと相川点訳は不要)	直接点字入力	ＷｉｎＢＥＳと 相川点訳の墨字入力
９の１	「数字」「ツギ符」「あ、い、う、え、お、ら、り、る、れ、ろ」 （りゃ、りゅ、りょ　を除く）	「数符」４７「ツギ符」エン （４７円)。	４７エン(４７円) ４７エン(４７円)
９の２	「数字」「あ、い、う、え、お、ら、り、る、れ、ろ　以外のカナ」	「数符」４７マイ(４７枚)。	４７マイ(４７枚)
	「数字」「りゃ、りゅ、りょ」	「数符」１リュー（１流）。	１リュー（１流）

説明。「継ぎ符」＝点３点６点字。

４章。　点訳規則２。２個のことばの間の、マスあけ。

１節。　単語の種類。

１。自立語（じりつご）。．．．それ自身だけで文節を構成できる語(ことば)。
１の１。用言（ようげん）。．．．活用することば（自立語）。

	（見分け方）	（例）	
	（終止形が）	（終止形の例）	（他の活用形の例）
１の１の１。動詞．．．口語．．．ウ段で終わる．．．書く。開く。．．．手紙を書いた。戸が開かない。			
	文語．．．イ段で終わる．．．有り。居り。．．．我思う。故に我有り。		
１の１の２。形容詞．．口語．．．「い」で終わる．．．寒い。赤い。．．．外は寒かった。赤く染まる。			
	文語．．．「し」で終わる．．．寒し。良し。．．．物言えば唇寒し。良し悪し。		
１の１の３。形容動詞．口語．．．「だ」で終わる．．．静かだ。．．．静かな湖畔。静かに歩く。			
	文語．．．「なり」「たり」で終わる。明らかなり。堂々たり。		

１の２。活用しないことば（自立語）。

	（見分け方）	（例）
１の２の１。名詞　(体言(ﾀｲｹﾞﾝ))	主語に成ることが出来る　（「～が有る」と出来る）	これは高い。山に登る。車が走る。本を読む。私が行く。名古屋に行く。１５日は月曜日です。
１の２の２。連体詞．．．名詞を修飾することば．．．あらゆる人。こんな物。ある人が言った。この本。そんな物。どんな人。		
１の２の３。副詞．．．．用言を修飾することば．．．もっと早く。決して行かない。		
１の２の４。接続詞．．．語と語、句と句、節と節を結ぶことば．．．すなわち。または。及び。しかし終わった。		
１の２の５。感動詞．．．感情を表わすことば。．．．ああ。くそっ。		

２。付属語。．．．それ自身だけでは文節を構成できないことば。

	（見分け方）	（例）
２の１。助動詞．．．活用する付属語．．．．歩かせる。書きます。行きたい。動きそうだ。食べよう。		
２の２。助詞。．．．活用しない付属語．．．山は高い。京都から名古屋へ行く。花が咲いた。家に帰る。		

２節。　マスあけ規則。

規則Ａ。	□「自立語」	自立語の左でマスあけする。
規則Ｂ。	■「付属語」	付属語は左となりのことばと続ける。

注意１。　例外もある。（４節）
注意２。「規則Ａ」は文頭ではマスあけは、左隣に何が有るかによって、色々ある。５章で述べる。
記号の説明。　□「自立語」　は、「自立語のすぐ左でマスあけする」ことを表わす。
■「付属語」　は、「付属語のすぐ左で続ける（マスあけしない）」ことを表わす。

規則Ａは、「自立語」の種類ごとに言うと、次の８個の規則になる、

規則１。	□「名詞」。	名詞の左でマスあけする。
規則２。	□「連体詞」。	連体詞の左でマスあけする。
規則４。	□「動詞」。	動詞の左でマスあけ。
規則６。	□「形容詞」	形容詞の左でマスあけ。
規則７。	□「形容動詞」	形容動詞の左でマスあけ。
規則８。	□「副詞」	副詞の左でマスあけ。
規則９。	□「接続詞」	接続詞の左でマスあけ。
規則１０。	□「感動詞」	感動詞の左はマスあけ。

規則Ｂは、「付属語」の種類ごとに言うと、次の２個の規則になる、

規則３。	■「助詞」。	助詞は、左隣と続ける。
規則５。	■「助動詞」	助動詞は左隣に続ける。

３節。　マスあけの、やりかた。

マスあけ作業の最初に、すべきこと。
手順０。　区切り読み。文章を、区切りながら、声を出して読んでみる。（例文１のすぐ後の手順０を読め）
手順２。次のことばを探す。探し易いから。
１。名詞。　わかりやすいから。数は、たくさん有るが。（表４の８の「形式名詞」の欄のことばも「名詞」です。）
２。連体詞。　表４の９の「連体詞」の欄に、大部分が出ているから。表を見るだけで「連体詞であるか」を判定できる。
３。接続詞。　表４の９の「接続詞」の欄に、大部分が出ているから。表を見るだけで「接続詞であるか」を判定できる。
４。「名詞」のすぐあとの「助詞」。　表４の９の「助詞」の欄と、表４の７で調べる。

勉強のやり方は、１の２節を参照。

３の１節。 例文１のマスあけ。(名詞、連体詞、助詞、動詞)

例文１。 「あの店でこの本を買った。」

手順０。区切り読み。 この文章を、区切りながら、声を出して読んでみる。

(盲学校で小学１年生にマスあけ規則を教える方法です。１年生に、文法によってマス明けを教えるわけには、行かないから)

区切りの例。 「あの 店で この 本を 買った」「あの店で この本を 買った」

なるべく小さく区切った、ことばの、それぞれに、１個以上の「自立語」が有る。

例。 「あの」「店で」「この」「本を」「買った」の、それぞれに、１個以上の「自立語」が有る。

規則１。 □「名詞」。 名詞の左でマスあけする。

手順１。 名詞の見分け方。

見分け方１。 「店が有る」「本が有る」と言えるから、「店」や「本」は名詞です。

見分け方２。 国語辞典に「名詞」「名」と書いてあることば（単語）は名詞です。「名詞」は書かない辞典もある。

注意１。形式名詞。 表４の９の「形式名詞」の欄のことばも名詞です。

注意２。動詞の「名詞」化。 「文字の読み書き」「預金の出し入れ」「使い捨ての食器」「掛け捨ての保険」の、

「読み書き」「出し入れ」「使い捨て」「掛け捨て」も名詞です。

「読み」は動詞「読む」の連用形だけ（中止形）が、名詞に成ったものです。

同様に、「書き」「出し」「入れ」「使い」「捨て」「掛け」「捨て」は、

動詞「書く」「出す」「入れる」「使う」「捨てる」「掛ける」「捨てる」の連用形が名詞に化けた。

「読み書き」は２個の名詞「読み」「書き」をつないだ名詞です。

規則１によってわかるマスあけ。 「～の□店～ ～の□本～」 (「店」の左と、「本」の左でマスあけ)

規則２。 □「連体詞」。 連体詞の左でマスあけする。

例文。 「あの店でこの本を買った。」

手順２。 連体詞の見分け方。 「あの」と「この」は、表４－９。早見表の「連体詞」の欄に有るから連体詞です

規則２によってわかるマスあけ。 □あの～ □この～

規則１＋規則２でわかるマスあけ。 「□あの□店～□この□本～」

規則３。 ■「助詞」。 助詞は、左隣と続ける。

例文１。 「あの店でこの本を買った。」

手順３。 助詞の見分け方。

「で」と「を」は、表４の９。早見表の「た」行と「わ」行の「助詞」の欄に有るから、「で」と「を」は助詞です。

注意１。表４－９で、同じ「けれども」が「助詞」にも「接続詞」にも有るので、「助詞」の欄で見つけても安心しないで、全部の品詞(単語の種類)の欄について「けれども」の有る品詞を探すこと。

注意２。表４－９で、２個以上の品詞に有る時は、表４－７の「けれども」の「助詞」の例文と「接続詞」の例文を見比べて、問題の例文の「けれども」がどちらであるかを判定すること。

規則３によってわかるマスあけ。「～店■で～本■を～」(「で」は、左隣の「店」に続ける。「を」は左隣の「本」に続ける。)

規則１＋２＋３で、わかるマスあけ。 「□あの□店■で□この□本■を～」

規則４。 □「動詞」。 動詞の左でマスあけ。

例文１。 「あの店でこの本を買った。」

手順４。 動詞の見分け方。

例１。「買った」 (同じ動詞が表４－５に有る場合)

手順４－１。終止形を見つける。「買った」の終止形（言い切る形）は「買う。」で「う」（母音が「ウ」）で終わるから、

動詞です（表４－１の、「自立語」「用言」「動詞」「口語」の「見分け方」欄による）。

手順４－２。活用形を見分ける。表４－５の「５段」活用の「わ行」の動詞「買う」の「連用形」の欄に、「買った」があるから、「買っ」は動詞の連用形です。

例２。「歌った」 (同じ動詞が表４－５に無い場合)

手順４－１。終止形を見つける。「歌った」の終止形（言い切る形）は「歌う。」で「う」（母音が「ウ」）で終わるから、

動詞です（表４－１の、「自立語」「用言」「動詞」「口語」の「見分け方」欄による）。

手順４－２。活用形を見分ける。「歌う」は、「買う」の「買」が「歌」に置き換わったものだから、

表４－５の「５段」活用の「わ行」の「買う」の活用語尾表

「買わない、買おう、買います、買った、買う、買う とき、買えば、買え」の「買」を「歌」に置き換えると、

未然 未然 連用 連用 終止 連体 仮定 命令

「歌う」の活用語尾表は

「歌わない、歌おう、歌います、歌った、歌う、歌う とき、歌えば、歌え」であることがわかる。

未然 未然 連用 連用 終止 連体 仮定 命令

「連用形」の欄に、「歌った」があるから、「歌っ」は動詞「歌う」の連用形です。

規則４によってわかるマスあけ。　「～を□買っ～」

規則５。　■「助動詞」　助動詞は左隣に続ける。

例文１。　「あの店でこの本を買った。」

手順５。助動詞の見分け方。
　注意。助動詞は、表４－３（表４－９）の「助動詞」の欄に有るものだけです。
手順５－１。終止形を見つける。　「た」は「た行」（た、ち、つ、て、と）だから、表４－９の左端が「た」の欄の、右の欄を全部見ると、「助動詞」の欄に「た」があるから、「た」は助動詞です。「買った。」と言い切る形（すぐ右に句点が付く形）は「た」だから、「た」の終止形は「た」です。
手順５－２。活用形を見分ける。表４の３の助動詞を探すと、「助動詞（特殊型）」の「た」の終止形に「た」が有るから、「た」は助動詞「た」の終止形です。

規則４によってわかるマスあけは、　「～っ■た。」
規則１＋２＋３+4+５で、わかるマスあけ。　「□あの□店■で□この□本■を□買っ■た」
　あてはめた規則。　２　１　３　２　１　３　４　５
　普通に書くと，　「あの　店で　この　本を　買った」
　点訳用の振り仮名。　「アノ　ミセデ　コノ　ホンヲ　カッタ」

３の３節。　例文２のマスあけ。（形容詞）

例文２。　「流れが早かった」

区切り読み。　「流れが　早かった」
規則１。「流れが有る」と言えるから、「流れ」は名詞です（手順１の注意２も参照）。わかるマスあけは、　「□流れ～」。
規則３。「が」は表４－９の「か」行の「助詞」の欄に有るから，助詞です。わかるマスあけは、　「～れ■が～」。

規則６。　□「形容詞」　形容詞の左でマスあけ。

手順６。　形容詞の見分け方。
手順６－１。終止形を見つける。「早かった」の終止形は「早い。」で、母音が「イ」で終わるから，「早かっ（た）」は形容詞です。（表４－１の、「自立語」「用言」「動詞」「口語」の「見分け方」欄による）。
手順６－２。活用形を見分ける。　表４の３の「形容詞」の例「寒い」の活用表の
「寒かろう、寒くて、寒かった、寒い、寒い　とき、寒ければ」の中で、「寒」を「早」に置き換えると、
「早かろう、早くて、早かった、早い、早い　とき、早ければ」になるから、「早かっ」は「早い」の連用形です。
　未然　連用　連用　終止　連体　仮定

規則４によってわかるマスあけ。　「～が□早かっ～」
　規則５。　３の３節の手順５と同じ。表４－３の「品詞」欄が「助動詞（特殊型活用）」の「た」の終止形にある。
規則５によってわかるマスあけ。　「～っ■た」
規則１＋３＋５＋６で、わかるマスあけ。　「□流れ■が□早かっ■た」。　「　流れが　早かった」。
　１　３　６　５
　点訳用の振り仮名。　「ナガレガ　ハヤカッタ」

３の５節。　例文３のマスあけ。（形容動詞）

例文３。「今日は海が静かだった」。

区切り読み。　「今日は　海が　静かだった」。
規則１。「今日が有る」「海が有る」と言えるから、「今日」と「海」は名詞です。
わかるマスあけ。「□今日～□海～」
規則２。「は」「が」は、表４－９の「助詞」の欄に有るから、助詞です。
わかるマスあけ。「～日■は～海■が～」

規則７。　□「形容動詞」　形容動詞の左でマスあけ。

手順７。　形容動詞の見分け方。
　例１。「静かだった」　（表４－３に有る形容動詞の場合）。
手順７－１。終止形を見つける。「静かだった」の終止形（言い切る形）は「静かだ。」です。「だ」で終わるから、表４－１の「自立語」「用言」「形容動詞」「口語」の「見分け方」によって、「静かだっ（た）」は形容動詞です。
手順７－２。活用形を見分ける。表４の３の「形容動詞」の連用形に、「～だっ（た）」が有るから、「静かだっ（た）」は形容動詞「静かだ」の連用形です。

　例２。「きれいだった」　（表４－３に無い形容動詞の場合）。
手順７－１。終止形を見つける。「きれいだった」の終止形（言い切る形）は「きれいだ。」です。「だ」で終わるから、表４－１の「自立語」「用言」「形容動詞」「口語」の「見分け方」によって、「きれいだっ（た）」は形容動詞です。
手順７－２。活用形を見分ける。表４の３の「形容動詞」「静かだ」の活用語尾表
「静かだろう、静かだった、静かでない、静かに、静かだ、静かな、静かならば」の中の「静か」を「きれい」に置き換えると
「きれいだろう、きれいだった、きれいでない、きれいに、きれいだ、きれいな、きれいならば」
　未然　連用　連用　連用　終止　連体　仮定

が「きれいだ」の活用語尾表であることがわかる。だから、「きれいだっ（た）」は形容動詞「きれいだ」の連用形です。

規則７によってわかるマスあけ。「～が□静かだっ～」
　規則５。　３の２節の手順５と同じ。　マスあけ。　「～っ■た」
規則１＋３＋５＋７で、わかるマスあけ。
「□今日■は□海■が□静かだっ■た」「　今日は　海が　静かだった」
　１　　３　１　３　７　　５
　　点訳用の振り仮名。　　「　キョーワ　ウミガ　シズカダッタ」

例３。語幹の同じ形容動詞と、形容詞が有る例。
　１。例文１。「今日は暖かな日です」の「暖かな」の終止形は「暖かだ。」だから、終止形が「だ」で終わるから、「暖かな」は形容動詞です。活用は、未然形「暖かだろう」連用形「暖かだった」「暖かで」「暖かに」終止形「暖かだ」連用形「暖かだな」仮定形「暖かならば」です。
　２。例文２。「昨日は暖かかった」の「暖かかった」の終止形は「暖かい。」だから、終止形が「い」で終わるから、「暖かかった」は形容詞です。活用は、未然形「暖かかろう」連用形「暖かかった」「暖かくて」終止形「暖かい」連用形「暖かい」仮定形「暖かければ」です。
　３。判定方法。語幹「暖か」が同じ形容詞「暖かい」と形容動詞「暖かだ」が有るから、「暖かな」や「暖かかった」が、形容詞か、それとも形容動詞か、すぐにはわからない場合は、項目１～２のように、形容詞の活用形と形容動詞の活用形を全部書いて、「暖かな」は形容動詞の活用形に有るから形容動詞である（「暖かかった」は形容詞の活用形に有るから形容詞である）と判定する。
　「語幹」とは、例えば、単語「暖かい」から活用語尾「い」を除いたもの「暖か」です。
　４。似た例。　「柔らかい」は形容詞。「柔らかだ」は形容動詞です。どちらも語幹は「柔らか」です。
　５。両方が無い例。「大きい」は形容詞だが、「大きな」は形容動詞ではない（形容動詞なら、終止形は「大きだ」のはずだが、そんな言葉は、無い。活用しないから連体詞です）。

３の７節。　例文４～６のマスあけ。（副詞）

規則８。　□「副詞」　　副詞の左でマスあけ。

　手順８。　副詞の見分け方。
見分け方１。　表４－９の早見表の「副詞」の欄に有るなら副詞です。
（注意。この早見表に無い副詞も、たくさん、有る。この早見表に無い場合でも、見分け方２を試す。）
見分け方２。　国語辞典に、そのことばが出ている場合は、「副」または「副詞」と書いてあれば副詞です。

見分け方３。次の例のように、動詞や形容詞や形容動詞を修飾する（活用しない）ことばを、副詞と判定する。
例文４。　「鳥がすいすいと飛ぶ」　　「すいすいと」が、動詞「飛ぶ」を修飾から、「すいすいと」は副詞。
　　副詞　　動詞
例文５。　「新幹線は非常に早い」　　「非常に」が、形容詞「早い」を修飾から、「非常に」は副詞。
　　副詞　形容詞
例文６。　「外はかなり静かだ」　　「かなり」が、形容動詞「静かだ」を修飾から、「かなり」は副詞。
　　副詞　形容動詞

　注意０。　手順３の注意１～２も、参照。
　注意１。　「見分け方３」の１行目の「活用しない」かは、「かなり」の場合、次のようにして調べる。
「かなる。」のような、語尾が母音「ウ」で終わることは無い。だから動詞では、無い。
「かない。」のような、語尾が　　「い」で終わることは無い。だから形容詞では、無い。
「かなだ。」のような、語尾が　　「だ」で終わることは無い。
「かなりだ。」に成りそうだが、その形容動詞「かなりだ」の連用形は、「かなりだ（った）」「かなりで」「かなりに」だから、「かなり」は「かなりだ」の連用形ではない。だから「かなり」は副詞であることがわかる。

　注意２。　「動詞や形容詞や形容動詞の連用形」も「動詞や形容詞や形容動詞」を修飾できる。
その時、次の２種類のマスあけは、同じ時と、違う時がある。同じ時が多い。
①「～の連用形」を「副詞」と思い違いしたマスあけ。
②本来の「～の連用形」として、マスあけ。

例文４。　「鳥がすいすいと飛ぶ」
区切り読み。　「鳥が　すいすいと　飛ぶ」
規則１。「鳥が有る」と言えるから、「鳥」は名詞です。わかるマスあけ。「□鳥～」
規則３。「が」は、表４－９の「か」行の「助詞」の欄に有るから、助詞です。わかるマスあけ。「～鳥■が～」
規則４。「飛ぶ」の終止形「飛ぶ。」はウ段で終わるから、「飛ぶ」は動詞の終止形です。マスあけ。「～と□飛ぶ」
規則８。「すいすいと」は、上述の「副詞の見分け方」例１の通り、動詞「飛ぶ」を修飾するから、（または、表４－９の副詞の欄に有るから、または、国語辞典に「副詞」と書いてあるから）、副詞です。わかるマスあけ。「～□すいすいと～」
規則１＋３＋４＋８。「□鳥■が□すいすいと□飛ぶ」　「　鳥が　すいすいと　飛ぶ」
　　１　３　８　　４
　　点訳用の振り仮名。　　「　トリガ　スイスイト　トブ」

例文５。「新幹線は非常に早い」。

区切り読み。「新幹線は　非常に　早い」
規則１。「新幹線が有る」と言えるから、「新幹線」は名詞です。わかるマスあけ。「□新幹線～」
規則３。「は」は、表４－３の「助詞」の欄に有るから、助詞です。わかるマスあけ。「～新幹線■は～」
規則６。「早い」の終止形「早い。」は「い」で終わるから、「早い」は形容詞です。わかるマスあけ。「～に□早い」
規則８。「非常に」は、上述の「副詞の見分け方」例２の通り、形容詞「早い」を修飾するから、（または、表４－４の副詞の欄に有るから）、副詞です。わかるマスあけ。「～□非常に～」
規則１＋３＋６＋８。「□新幹線■は□非常に□早い」　「新幹線は　非常に　早い」
　　１　　３　８　　７
点訳用の振り仮名。　「　シンカンセンワ　ヒジョーニ　ハヤイ」

例文６。「外はかなり静かだ」

区切り読み。「外は　かなり　静かだ」
規則１。「外が有る」と言えるから、「外」は名詞です。わかるマスあけ。「□外～」
規則３。「は」は、表４－９の「助詞」の欄に有るから、助詞です。わかるマスあけ。「～外■は～」
規則６。「静かだ」の終止形「静かだ」は「だ」で終わるから、「静かだ」は形容動詞です。わかるマスあけ。「～り□静かだ」
規則８。「かなり」は、上述の「副詞の見分け方」例３の通り、形容動詞「静かだ」を修飾するから、（または、表４－９の副詞の欄に有るから）、副詞です。わかるマスあけ。「～□かなり～」
規則１＋３＋６＋８。「□外■は□かなり□静かだ」。「外は　かなり　静かだ」
　　１　３　８　　７
点訳用の振り仮名。　「　ソトワ　カナリ　シズカダ」

３の９節。例文７のマスあけ。（接続詞）

規則９。□「接続詞」　接続詞の左でマスあけ。

手順９。　接続詞の見分け方。
見分け方１。　表４－９の早見表の「接続詞」の欄に有るなら接続詞です。
　この表に無い接続詞も有る。無い時は見分け方２もする。
　注意。　手順３の注意１～２も参照。例。「けれども」は助詞にも接続詞にも有る。
見分け方２。　国語辞典に、そのことばが出ている場合は、「接」または「接続」と書いてあれば接続詞です。
見分け方３。　文章の中の働きによって見分ける。
働き１。名詞と名詞をつなぐ。　（文節と文節をつなぐ。）
例文７。「回数券または乗車券を料金箱に入れる」　比較。「回数券か乗車券を料金箱に入れる」
　名詞　接続詞　名詞　　名詞　接続詞　名詞
マスあけ。「カイスーケン□マタワ□ジョーシャケン～」　「カイスーケン■カ□ジョーシャケン～」
注意。「または」も「か」も英語の「ｏｒ」だが、すぐ左を「マスあけする」「しない」が違う。
例文７の２。「飲みかつ歌った」　比較。「飲んで歌った」
　文節　文節　　動詞　文節
　接続詞　　助詞
マスあけ。「ノミ□カツ□ウタッタ」　「ノン■デ□ウタッタ」
働き２。文と文をつなぐ。　「文」＝［(主語と)述語の有る集まり］
例文８。「海が静かだ。しかし風は強い」　比較。「海が静かだが、風は強い」
　文　接続詞　文　　文　助詞　文
マスあけ。「ウミガ□シズカダ。□□シカシ□カゼワ□ツヨイ」「ウミガ□シズカダガ□カゼワ□ツヨイ」
働き３。連文節と連文節をつなぐ。
例文９。「明日のテレビおよび明後日の新聞で知らせる」　比較。「明日のテレビと明後日の新聞で知らせる」
　文節　文節　接続詞　文節　文節　　連文節　助詞　連文節
　連文節　　連文節
マスあけ。
「アスノ　テレビ　オヨビ　アサッテノ　シンブンデ　シラセル」「アスノ　テレビト　アサッテノ　シンブンデ　シラセル」
注意。「および」も「と」も英語の「ａｎｄ」だが、すぐ左を「マスあけする」「しない」が違う。

例文７。「回数券または乗車券を料金箱に入れる」

区切り読み。「回数券　または　乗車券を　料金箱に　入れる」
規則１。「回数券が有る」「乗車券が有る」「料金箱が有る」と言えるから、「回数券」「乗車券」「料金箱」は名詞です。わかるマスあけ。「□回数券～□乗車券～□料金箱～」
規則３。「を」「に」は、表４－９の「助詞」の欄に有るから、助詞です。わかるマスあけ。「～券■を～箱■に～」
規則５。「入れる」の終止形「入れる。」はウ段（「る」の母音が「ウ」）で終わるから、「入れる」は動詞です(表４－１の

「自立語」「用言」「動詞」の「見分け方」による)。　わかるマスあけ。「～に□入れる」
規則９。「または」は表４－９の「接続詞」の欄に有るから接続詞。　わかるマスあけ。「～□または～」
規則１＋３＋５＋９。
「□回数券□または□乗車券■を□料金箱■に□入れる」　「　回数券　または　乗車券を　料金箱に　入れる」
　１　　９　　１　　３　１　　３　４
　点訳用の振り仮名。　「　カイスーケン　マタワ　ジョーシャケンヲ　リョーキンバコニ　イレル」
比較１。「□回数券■か□乗車券■を□料金箱■に□入れる」。「か」は助詞。
比較２。東京およびパリは首都です。（トーキョー　オヨビ　パリワ　シュトデス。）「および」は接続詞。
　　東京とパリは首都です。（トーキョート　パリワ　シュトデス。）　「と」は、助詞です。

例文７の２。「飲みかつ歌った」

区切り読み。「飲み　かつ　歌った」
規則５。
終止形を見つける。「飲み」の終止形「飲む。」は母音「ウ」で終わるから、動詞です(表４－１の「動詞」の「見分け方」による)。活用形を見分ける。表４－５の「５段」「マ行」の「住む」の活用語尾
「住まない、住もう、住みます、住んだ、住む、住む　とき、住めば、住め」　の中で、「住」を「飲」に置き換えた、
「飲まない、飲もう、飲みます、飲んだ、飲む、飲む　とき、飲めば、飲め」　の中に「飲み」があるから、「飲み」は連用形です。普通は、「飲みます」のように「飲み」のあとに「ます」のような言葉を続けて使うが、この場合は続けないから、特に動詞「飲む」の連用形の「中止形」と呼ぶ。同様に「歌っ（た）」は動詞「歌う」の連用形です。
規則９。「かつ」は表４－９の「接続詞」の欄に有るから接続詞。　わかるマスあけ。「～□かつ～」
規則４＋５＋９。「□飲み□かつ□歌っ■た」　「　飲み　かつ　歌った」
　　４　　９　　４　　５
　点訳用の振り仮名。　「　ノミ　カツ　ウタッタ」

例文８。　「海が静かだ。しかし風は強い」

区切り読み。　「海が　静かだ。　しかし　風は　強い」
規則１。「海が有る」「風が有る」と言えるから、「海」「風」は名詞です。マスあけ。「□海～□風～」
規則３。「が」「は」は、表４－９の「助詞」の欄に有るから、助詞です。マスあけ。「～海■が～風■は～」
規則６、７。「静かだ」の終止形「静かだ。」は「だ」で終わるから、「静かだ」は形容動詞です。「強い」の終止形「強い。」は「い」で終わるから、「強い」は形容詞です。マスあけ。「～は□静かだ～が□強い」
規則９。「しかし」は表４－９の「接続詞」の欄に有るから接続詞。　わかるマスあけ。「～□しかし～」
規則1+3+6＋7+9でわかるマスあけ。
　　「□海■が□静かだ。□□しかし□風■は□強い」「海が　静かだ。□□しかし　風は　強い」
　　１　３　７　　９　　１　３　６　　「　ウミガ　シズカダ。□□シカシ　カゼワ　ツヨイ」
比較。　「□海■が□静かだ■が　　□風■は□強い」「海が　静かだが　風は　強い」。「が」は助詞。
　　１　３　７　　３　　１　３　６　　「　ウミガ　シズカダガ□カゼワ　ツヨイ」
注意。　［しかし］の左の２個の　□　は、５章１節を参照。

例文９。　「明日のテレビおよび明後日の新聞で知らせる」

区切り読み。　「明日の　テレビ　および　明後日の　新聞で　知らせる」
例文９。　「□明日■の□テレビ□および□明後日■の□新聞■で□知ら■せる」。
　　「　アスノ　テレビ　オヨビ　アサッテノ　シンブンデ　シラセル」
比較。　「□明日■の□テレビ■と　　□明後日■の□新聞■で□知ら■せる」。
　　「　アスノ　テレビト　アサッテノ　シンブンデ　シラセル」
説明。　「知ら」は動詞「知る」の未然形。「せる」は助動詞。表４－３の「助動詞(動詞型活用)を見よ。「および」は接続詞。「と」は助詞。

３の１０節。　例文１０のマスあけ。（感動詞）

規則１０。　□「感動詞」　感動詞の左はマスあけ。

手続き１０。　感動詞の見分け方。
見分け方。　表４－９の早見表の「感動詞」の欄（または、次の一覧表）に有るなら感動詞です。

種類。	感動詞
１。感動。	「ああ」「あっ」「あら」「あれ」「えっ」「おお」「おや」「ほら」「まあ」「やれやれ」。
２。呼びかけ。	「おい」「こら「これ」「「これこれ」「さあ」「そら」「それ「どれ」「どれどれ」「ね」「ねえ」「はい」「もし」「もしもし」「やあ」「やい」
３。挨拶。	「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」。
４。掛け声。	「そら」「どっこいしょ」「よいしょ」「ほらきた」。

例文１０。「もしもし、木村です」

区切り読み。　「もしもし、　木村です」
規則１。「木村が有る（が居る）」と言えるから、「木村」は名詞です。わかるマスあけ。「□木村～」

規則５。「です」は、表４の２の「助動詞（特殊型）」の「です」の終止形に有るから、「です」は助動詞です。わかるマスあけは、 「～村■です」
規則１０。「もしもし」は表４－９の「感動詞」の欄に有るから感動詞。マスあけ。「□もしもし～」
規則１＋５＋１０。「□もしもし、□木村■です」 「 もしもし、 木村です」 「 モシモシ キムラデス」
説明。 読点「 、」の点訳は５章１節。
例文１１。「おお、そうだった」。「□おお、□そう■だっ■た」「 オオ ソーダッタ」
感動 副詞 助動 助詞 「だっ」は助動詞「だ」の連用形。
例文１２。「はい、わかりました」。「□はい、□わかり■まし■た」「 ハイ ワカリマシタ」
感動 動詞 助動 助詞 「まし」は助動詞「ます」の連用形。

３の１１節。 例文１３のマスあけ。（助動詞）

例文１３。 「彼に宣伝を頼まれた」

区切り読み。 「彼に 宣伝を 頼まれた」
規則１。「彼が有る（が居る）」「宣伝が有る（が居る）」と言えるから、「彼」と「宣伝」は名詞です。わかるマスあけ。「□彼～□宣伝～」
規則３。「に」と「を」は表４－９の「助詞」の欄に有るから助詞。 マスあけ。「～彼■に～伝■を～」
規則４。「頼まれた」の終止形「頼む」はウ段で終わるから、「頼む」は動詞です。表４の４の動詞には、「頼まれる」は有るが「頼まれた」は無いので、「頼まれた」を動詞とは扱えない。「頼ま」は、表４の５の動詞（口語）のマ行の５段活用の未然形とわかる。残りの「れた」を、次の「手順５」で調べる。
マスあけ。「～を□頼ま～」

規則５。 ■「助動詞」 助動詞は左隣に続ける。

手順５。 助動詞の見分け方。
手順５－１。終止形を見つける。 表４－９の「ら」行の「助動詞」の欄に「れた」が有るから、助動詞です。「れた」の終止形｛言い切る形)は「（頼ま）れる。」だから、「れた」の終止形は「れる」です。
手順５－２。活用形を見分ける。 「れた」は、表４の３の「助動詞（動詞型活用）」の「れる」の連用形に有るから、「れた」は助動詞「れる」の連用形です。
注意。表４－９には、助動詞の全部の活用形は書いていないので、表４－９を見て「助動詞かもしれない」と思うときは、表４－３を探すこと。
わかるマスあけは、 「～ま■れた。」。

規則１＋３＋４＋５。「□彼■に□宣伝■を□頼ま■れた」 「彼に 宣伝を 頼まれた」
１ ３ １ ３ ４ ５ 「カレニ センデンヲ タノマレタ」

３の１２節。 例文１０のマスあけ。（助詞や助動詞が２個以上続く）

１４。 助詞や助動詞が２個以上続く時は、規則３と規則５を、繰り返し、当てはめる。

1。 ■「助詞」■「助詞」 ５時までに行く（５ジ■マデ■ニ イク）。
名詞 助詞 助詞 動詞
米だけから作った酒（コメ■ダケ■カラ ツクッタ サケ）
名詞 助詞 助詞 動詞 名詞
2。 ■「助動詞」■「助動詞」 動かせるらしい。（ウゴカ■セル■ラシイ）。
動詞 助動 助動
動かせるようだ。（ウゴカ■セル■ヨウダ）。
動詞 助動 助動
3。 ■「助動詞」■「助詞」 机を動かせるまで待つ。（ツクエヲ ウゴカ■セル■マデ マツ）
動詞 助動 助詞
4。 ■「助詞」■「助動詞」 ５時までらしい。（５ジ■マデ■ラシイ）
名詞 助詞 助動詞
5。 ■「助詞」■「助詞」■「助詞」 名古屋にさえも行った。（ナゴヤ■ニ■サエ■モ イッタ）
名詞 助詞 助詞 助詞
6。 ■「助動詞」■「助詞」■「助詞」 腕を動かせるまでに回復した。（ウゴカ■セル■マデ■ニ カイフクシタ。）
動詞 助動 助詞 助詞 動詞
7。 ■「助動詞」■「助動詞」■「助詞」■「助詞」
動かせるようにさえも見える。 （ウゴカ■セル■ヨーニ■サエ■モ ミエル）。
（「ように」の終止形は「ようだ」） 動詞 助動 助動 助詞 助詞 動詞

表４－１。　単語の種類（品詞）。

自立語(じりつご)			それ自身だけで文節を構成できることば			
		品詞	見分け方。終止形が		例	例文
	用言(ようげん)(活用する自立語)	動詞	口語　こうご	ウ段で終る（注１）	書く。開く。	手紙を書く。字を書く道具。手紙を書き終る。 動詞　動詞　動詞 （終止形）（連体形）（連用形） （名詞を修飾）（動詞を修飾）
			文語　ぶんご	イ段で終る（注２）	有り。居り。	我思う。故に我有り。貸家有り。
		形容詞	口語	「い」で終る	寒い。赤い。	夕焼けの空が赤い。　赤い色。　赤く染まる。 形容詞　形容詞　形容詞 （終止形）（連体形）（連用形） （名詞を修飾）（動詞を修飾）
			文語	「し」「しく」で終る	寒し。良し。	物言えば唇寒し。良し悪し。
		形容動詞	口語	「だ」で終る	静かだ。	外は静かだ。　静かな湖畔。　静かに歩く。 形容動詞　形容動詞　形容動詞 （終止形）（連体形）（連用形） （名詞を修飾）（動詞を修飾）
			文語	「なり」「たり」で終る	明らかなり。 堂々たり。	天気晴朗なれども波高し。 堂々たる体格。
		品詞	見分け方。		例	例文
	活用しない自立語	名詞(体言。たいげん)	主語に成ることが出来る（「～が有る」「～が居る」と出来る。例。「本が有る」「学生が居る」）		これ。私。山。自動車。本。名古屋。１５日。月曜日。	これは高い。山に登る。車が走る。本を読む。名古屋に行く。１５日は月曜日です。
		連体詞	名詞を修飾することば		あらゆる。こんな。ある。 この。その。あの。どの。	あらゆる人。こんな物。ある人が言った。この本。その人。あの山。どの本。
		副詞	用言(動詞、形容詞、形容動詞)を修飾することば		もっと。すぐに。 まったく	店にすぐに行く。もっと早い。 動詞　形容詞 外はまったく静かだ。 形容動詞
		接続詞	語と語、句と句、節と節を結ぶことば		すなわち。 または。及び。 だから。	東京およびパリは首都です。 天気が良い。だから外で遊ぶ。
		感動詞	感情を表わすことば		ああ。くそっ。	
付属語			それ自身だけでは文節を構成できないことば			
	活用する付属語	助動詞			せる。させる。そうだ。	歩かせる。書きます。行きたい。動きそうだ。食べよう。
	活用しない付属語	助詞			から。まで。ので。が。に。	山は高い。京都から名古屋へ行く。花が咲いた。家に帰る。

比較。東京およびパリは首都です。（トーキョー　オヨビ　パリワ　シュトデス。）「および」は、接続詞。
　　東京とパリは首都です。（トーキョート　パリワ　シュトデス。）　「と」は、助詞です。
注１。「ウ段」＝「ウ、ク、ス、ツ、ヌ、フ、ム、ユ、ル、ウ」
注２。「イ段」＝「イ、キ、シ、チ、ニ、ヒ、ミ、イ、リ、イ」

表４－３。　動詞（５段活用だけ）、形容詞、形容動詞、助動詞。の活用形。

表の使い方。　次の表のことばは、続ける。　ただし、　□　の位置では、マスあけ。
例１。動詞の「走る」の連用形の欄に「走って」が有るから「走って」は、続ける(途中でマスあけしない)
例２。動詞の「走る」の連体形の欄に「走る□時」が有るから、「走る」と「時」の間だけで、マスあけ。
注意。末尾に　＊　印の有る言葉は、中学生の教科書や参考書には書かないが、この本では、良く使う形の活用形をすばやく知るために、載せた。

品詞	例（終止形）	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
動詞（５段活用だけ）	走る	走らない 走ろう 走らせる　＊ 走られる　＊	走ります 走った 走って　＊	走る	走る□時	走れば	走れ
	動く	動かない 動こう 動かせる　＊ 動かれる　＊	動きます 動いた 動いて　＊	動く	動く□時	動けば	動け
形容詞	寒い	寒かろう	寒かった 寒くて 寒く□ない　＊ 寒く□する　＊ 寒く□なる　＊	寒い。	寒い□時	寒ければ	
形容動詞	静かだ	静かだろう	静かだった 静かで□ない 静かで□ある　＊ 静かに□する 静かに□なる　＊	静かだ	静かな□時	静かならば	
助動詞（動詞型活用）	せる	知らせない	知らせます 知らせた 知らせて　＊	知らせる	知らせる□時	知らせれば	知らせろ 知らせよ
	させる	食べさせない	食べさせます 食べさせた　＊ 食べさせて　＊	食べさせる	食べさせる□時	食べさせれば	食べさせろ 食べさせよ
	れる	流されない。	流されます。 流された　＊ 流されて　＊	流される	流される□時	流されれば	流されろ。 流されよ。
	られる	助けられない	助けられます 助けられた　＊ 助けられて　＊	助けられる	助けられる□時	助けられれば	助けられろ 助けられよ
	たがる	行きたがらない。	行きたがります。 行きたがった 行きたがって　＊	行きたがる	行きたがる□時	行きたがれば	
助動詞（形容詞型活用） （「ない」は５節を参照）	ない	行かなかろう	行かなくて。 行かなかった	行かない	行かない□時	行かなければ	
	たい	行きたかろう	行きたくて 行きたく□ない　＊ 行きたく□なる　＊ 行きたかった	行きたい	行きたい□時	行きたければ	
	らしい		行くらしくて 行くらしかった	行くらしい	行くらしい□時	行くらしければ	
助動詞（形容動詞型活用）	そうだ（様態）	行きそうだろう	行きそうだった 行きそうで□ない 行きそうで□ある＊ 行きそうに□なる 行きそうに□ない＊	行きそうだ	行きそうな□時	行きそうならば	
	そうだ（伝聞）		行くそうで□ある 行かないそうで□ある　＊	行くそうだ			

品詞	例（終止形）	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	ようだ	行くようだろう	行くようだった 行くようで□ない 行くようで□ある* 行くように□なる 行くように□する*	行くようだ	行くような□時	行くようならば	
	だ	雨だろう	雨だった 雨で□ない 雨で□ある　＊	雨だ	雨なので 雨なのだ 雨なのに 雨なのです	雨ならば	
	みたいだ	鳥みたいだろう	鳥みたいだった 鳥みたいで□ない 鳥みたいで□ある＊	鳥みたいだ	鳥みたいなので 鳥みたいなのだ 鳥みたいなのに 鳥みたいなのです	鳥みたいならば	
助動詞（特殊型活用）	ます	書きません 書きましょう	書きました 書きまして 書きましたら（仮定形の代わり）	書きます	書きます□時	書きますれば	お書きくださいませ。 お書きくださいまし。
	た	帰ったろう		帰った	帰った□時	帰ったらば	
	だ	読んだろう		読んだ	読んだ□時	読んだらば	
	ぬ		読まず	読まぬ	読まぬ□時	読まねば	
	ん			読まん	読まん□時		
	う			有ろう	有ろう□はずが□無い		
	よう			起きよう	起きよう□はずが□無い		
	まい			有るまい	有るまい□ことか		
	です	元気でしょう	元気でした	元気です。	元気ですので		
	そうです	見るそうでしょう	見るそうでした	見るそうです	見るそうですので	助動詞「そうだ」の語幹＋助動詞「です」	
	ようです	見るようでしょう	見るようでした	見るようです	見るようですので	助動詞「ようだ」の語幹＋助動詞「です」	

活用形の覚え方。

１。動詞。

5段活用。　あ　い　う　う　え　え　（母音だけ）
上1段活用。　い　い　いる　いる　いれ　いろ　（母音だけ）
下1段活用。　え　え　える　える　えれ　えろ　（母音だけ）
か行変格活用。　こ　き　くる　くる　くれ　こよ
さ行変格活用。　し　し　する　する　すれ　しろ　せよ

２。形容詞の活用。　かろ　かっ　く　い　い　けれ

３。形容動詞の活用。　だろ　だつ　で　に　だ　な　なら

活用語尾に続く言葉の品詞の早見表。

動詞。　未然形。「走らない」　助動詞。「走ろう」　助動詞。
　　連用形。「走ります」　助動詞。「走った」　助動詞。「走って」助詞。「歩いて」　助詞。「読んで」助詞。
　　連体形。「走るとき」　名詞。
　　仮定形。「走れば」　助詞。
形容詞。　未然形。「寒かろう」　助動詞。
　　連用形。「寒かった」　助動詞。「寒くて」　助詞。「寒くない」　形容詞。
　　仮定形。「寒ければ」　助詞。
形容動詞。　未然形。「静かだろう」　助動詞。
　　連用形。「静かだった」　助動詞。「静かでない」　形容詞。「静かに」
　　仮定形。「静かならば」　助詞。
助動詞(動詞型活用)。　動詞　と同じ。
助動詞(形容詞型活用)。　形容詞　と同じ。
助動詞(形容動詞型活用)。　形容動詞　と同じ。

早見表。「た」と「だ」は、助動詞。
「て」と「で」は、助詞。

表４―５。 「動詞の活用」。口語（こうご）。

注意。末尾に ＊ 印の有る言葉は、中学生の国語の教科書や参考書には書かないが、この本では、良く使う形の活用形をすばやく知るために、載せた。

活用種類		基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
5段	わ行	買う	買わない　買わせる * 買おう　買われる *	買います 買った　買って *	買う	買う□とき	買えば	買え
	か行	書く	書かない　書かせる * 書こう　書かれる *	書きます 書いた　書いて *	書く	書く□とき	書けば	書け
	が行	泳ぐ	泳がない　泳がせる * 泳ごう　泳がれる *	泳ぎます 泳いだ　泳いで *	泳ぐ	泳ぐ□とき	泳げば	泳げ
	さ行	貸す	貸さない　貸させる * 貸そう　貸される *	貸します　貸した * 貸して *	貸す	貸す□とき	貸せば	貸せ
	た行	待つ	待たない　待たせる * 待とう　待たれる *	待ちます 待った　待って *	待つ	待つ□とき	待てば	待て
	な行	死ぬ	死なない　死なせる * 死のう　死なれる *	死にます 死んだ　死んで *	死ぬ	死ぬ□とき	死ねば	死ね
	は行	転ぶ	転ばない　転ばせる * 転ぼう　転ばれる *	転びます 転んだ　転んで *	転ぶ	転ぶ□とき	転べば	転べ
	ま行	住む	住まない　住ませる * 住もう　住まれる *	住みます 住んだ　住んで *	住む	住む□とき	住めば	住め
	ら行	送る	送らない　送らせる * 送ろう　送られる *	送ります 送った　送って *	送る	送る□とき	送れば	送れ
上1段		起きる	起きない 起きよう ＊	起きます　起きた * 起きて *	起きる	起きる□とき	起きれば	起きろ 起きよ
下1段		受ける	受けない　受けさせる* 受けよう　受けられる*	受けます　受けた 受けて	受ける	受ける□とき	受ければ	受けろ 受けよ
か行変格		来る	来ない（こない） 来よう（こよう） * 来させる(こさせる) * 来られる(こられる) *	来ます（きます） 来た(きた) * 来て(きて) *	来る (くる)	来る□とき (くる)	来れば (くれば)	来い (こい)
さ行変格		する	しない せぬ させる　される *	します　した * して *	する	する□とき	すれば	しろ せよ

表４－６。 動詞の活用。 文語（ぶんご）

	活用の種類	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
動詞	４段	泣かず	泣きたり	泣く	泣く□人	泣けども	泣け
	ナ行変格	死なず	死にけり	死ぬ	死ぬる□時	死ぬれども	死ね
	ラ行変格	有らず	有りたり	有り	有る□時	有れども	有れ
	下１段	蹴ず	蹴たり	蹴る	蹴る□時	蹴れども	蹴よ
	下２段	上げず	上げたり	上ぐ	上ぐる□時	上ぐれども	上げよ
	上１段	見ず	見たり	見る	見る□時	見れども	見よ
	上２段	落ちず	落ちたり	落つ	落つる□時	落つれども	落ちよ
	か行変格	来ず コズ	来たり キタリ	来 ク	来る□時 クル　トキ	来れども クレドモ	来　コ 来よ　コヨ
	サ行変格	せず	しけり	す	する□時	すれども	せよ
形容詞	ク活用	白からず	白くて 白かりけり	白し	白き□時 白かるべし	白けれども	白かれ
	シク活用	悪しからず	悪しくて 悪しかりけり	悪し(あし)	悪しき□時 悪しかるべし	悪しけれども	悪しかれ
形容動詞	ナリ活用	静かならず	静かなりき。 静かにて	静かなり	静かなる□時	静かなれども	静かなれ
	タリ活用	堂々たらず	堂々たりき 堂々とて	堂々たり	堂々たる□体格	堂々たれども	堂々たれ

表４－７。助詞一覧表。
説明。カタカナは、点訳用の振り仮名です。

	助詞	意味	例文(助詞)	比較文。(接続詞)
ア	へ（エ）	目的地	東京へ行く。	
カ	か	並立 不確か	現金か乗車券を料金箱に入れる。 あそこに見えるのは人か。	現金または乗車券を料金箱に入れる。 (接続詞)
	が	主語 逆接続	桜が咲いた。 風は弱かったが、波が高かった。	風は弱かった。しかし波が高かった。(接続詞)
	から	起点、 理由	駅から歩いた。 安いから買った。	
	くらい （ぐらい）	程度	公民館からバス停まで１キロぐらいです。 (見分け方。数量単位（「１キロ」）の直後) 途中でやめるくらいなら、やらない。 (見分け方。動詞・形容詞・形動などの直後)	兵隊の位は少佐です。 (名詞。見分け方。「階級」「地位」などに置き換え出来る) そのくらいは、我慢しろ。(名詞)
	けれど (けれども)	逆接続	背が高いけれども、体重は重い。	背が高い。けれども体重は重い。 (接続詞。判定方法。「しかし」に置き換え出来る。おもに文頭に有る)
	こそ	強調	今日こそ試験に合格するぞ。	
	きり(ぎり)	限定	１回きりで、やめてしまった。	
サ	さ	軽い断定	たまには失敗もするさ。	
	さえ	限定	見つけさえすれば良い。	
	しか	限定	財布に５００円しかお金が無かった。	
	し	並立	雨も降るし、風も吹く。 (見分け方。「し」を「。しかも」に置き換え出来る)	勉強もし、運動もした。 (動詞「する」の連用形。見分け方。「し」を「する」に置き換え出来る)
	して	「で」と同じ 「に」と同じ 「に」と同じ 「に」と同じ	２人して机を動かす。(「２人で」と同意味) 日光を見ずして結構と言う無かれ(見ないで) 労せずして手に入れた。(労しないで) 私をして言わしむれば、立派だ。 (「をして」は助詞「に」と置き換えできる)	して 、その結果は？ （接続詞)(見分け方。「して」を「それで」に置き換えできる) 掃除をしてきた。（「し」は動詞「する」の連用形。「て」は助詞）
	じゃ	「では」の変形	そうじゃない。（「そうではない」の変形）	
	ずつ		１０人で菓子を２個ずつ食べた。	
	すら		暗かったので顔すら見えなかった。	
	ぞ	念を押す	受験勉強をがんばるぞ。	
タ	だから	順接続	今日は雨だから外出しない。（助動詞「だ」＋「助詞「から」）（見分け方。文中）	今日は雨だ。だから外出しない。 （接続詞）（見分け方。文頭）
	だけ	程度、限定	見るだけで買わずに帰った。	
	だに	限定	一顧だにしない。（「さえ」の文語体）	
	たり(だり)	並立、例示	食べたり飲んだりした。	
	つ	動作の交互	行きつ戻りつする。追いつ追われつ。	
	つつ	同時。逆接	酒を飲みつつ懇談した。（「ながら」の文語体）	
	て（で）	理由。並立	海は広くて大きい。飲んで食べた。	
	ても （でも）	逆接続	いくら飲んでも食べても料金は３０００円です。(判定方法。「でも」を「しかし」と置き換え出来ない)	このカレーはうまい。でも値段が高い。 (接続詞。判定方法。「でも」を「しかし」と置き換え出来る。おもに文頭)
	と	接続	昨日と今日は天気が良かった。	昨日および今日は天気が良かった。(接続詞)
	とも		５キロぐらい歩けるとも。	送料とも千円（接尾語）。 母子ともに元気です（形式名詞）（表４－９参）
	ところ ところが	逆接続	彼は来ないと思っていたところが、来た。(判定方法。「ところが」を「が」と置き換え出来る。文中)	昨日は寒かった。ところが今日は暖かい。(接続詞。判定方法。「ところが」を「しかし」と置き換え出来る。文頭）。 角を曲がったところが交番です。(名詞「ところ」＋助詞「が」。判定方法。「ところ」を「場所」と置き換え出来る)
	ところで	逆接続	今から行ったところで間に合わない。	ところで用件は何ですか。(接続詞。判定方法。[それはそうとして]に置き換え出来る。おもに文頭に有る)

	助詞	意味	例文(助詞)	比較文。(接続詞)
			(判定方法。「行ったところで」を「行っても」と置き換え出来る)	角を曲がったところで見えます。 (名詞＋助詞「で」。判定方法。「ところ」を「場所」と置き換え出来る)
ナ	な（なあ）	感動	このカレーはおいしいなあ。	雨なので外出しなかった。雨なのに外出した。今日は雨なのです。(助動詞「だ」の連体形「な」＋助詞「ので」「のに」、助詞「の」＋助動詞「です」)
	な	禁止	この話は誰にもするな。	
	ながら	同時。逆接続	歩きながら菓子を食べた。	
	など	例示	うどんやそばなどを食べた。	
	ならば		明日ならば出来そうです。	静かならば行く（形容動詞「静かだ」の仮定形「静かなら」＋助詞「ば」）
	なり	並立、例示	山になり海になり好きなところに行くが良い。 （判定方法。「なり」を「成る」におきかえると、「山に成る」は意味が通じないが、 「上に成る」は意味が通じる。 「山になり」を「山にでも」に置き換え出来る。文中)	２機の飛行機がかわるがわる上になり下になり飛んで行った。　(「なり」は動詞「成る」の連用形。文中) 本日は晴天なり。 (助動詞「だ」の文語体の助動詞「なり」の終止形。文尾)
	なんて	「などと」「など」の変形	彼をだますなんて出来ない	
	に	目的	名古屋に行った。	
	ね（ねえ）	念を押す	素敵な庭ですね。	
	の	連体修飾語	私の手帳に書いた。すぐに行くのが良い。 行くの、行かないのと、いつまですねている。	
	ので	原因、理由	寒いので外出しなかった。	
	のに	逆接続	雨が降っているのに外出した。	
	のみ	限定	返事を待つのみ。(「だけ」「ばかり」の文語体)	
は	は（ワ）	強調	今日は天気が良い。	
	ば	順接続	晴れれば出かけよう。	
	ばかり	程度	費用は５００円ばかり、かかった。	
	へ（エ）	目的地	名古屋へ行く。	
	ほど（程）	程度	この本は読めば読むほど面白い。(述語＋「ほど」) １キロほど歩いた。　(数量名詞＋「ほど」) 口で言うほど簡単でない。早ければ早いほど良い。 飲むほどに（につれて）能弁に成った。	身の程を知れ。　(名詞) 馬鹿にするにも程が有る。(名詞) (判定方法。「ほど」を「程度」や「限界」に置き換え出来る)
ま	まで	終点	今日は７時まで寝た。	
	も	並立	私も行った。	
	ものの	逆接続	口では言うものの、実行しない。 (判定方法。「ものの」を「が」に置き換えできる)。	ものの５分もたたないうちに来た。 (副詞。判定方法。「ものの」を「わずか」に置き換えできる。おもに文頭に有る) 棚に並んだものの中から選んだ。(名詞「もの」＋助詞「の」。判定方法。「もの」を「品物」に置き換えできる)
や	や	並立	本や週刊誌を買った。	
	やら	不確か。 並立	トンボ取り、今日はどこまで行ったのやら。 来るのやら来ないのやらわからない。	
	よ	念を押す	この推理小説は面白いよ。	
	より	比較の基準	女は男より成長が早い。	法律により禁止された。 (助詞「に」＋動詞「依る」の連用形)
わ	は（ワ）	強調	今日は天気が良い。	
	わ	感動	雨が降っているわ。	
	を	対象	魚を食べる。	
ん	ん	否定	読まん（読まない）	
	ん	「の」の変形	私が悪いんです（悪いのです）	

表４－９。早見表。　連体詞、副詞、感嘆詞、形式名詞、接続詞、助詞、助動詞、接頭語、接尾語　（２００４年２月）
「*けれども」に　＊　が付いているのは、品詞（単語の種類）が２種類以上有ることを表わす。表４－７参照。
「助動詞」欄の、「そうにない」の点線下線は、その部分だけが助動詞であることを表わす。他は、ことば全体が助動詞。

	連体詞	副詞	感動詞	形式名詞	接続詞	助詞	助動詞	接頭語　接尾語
	□連体詞	□副詞 （他にも、たくさん有る）	□感動詞	□形式名詞	□接続詞	■助詞 （表４－７参照）	■助動詞 （全部の活用形は表４－３参照）	
あ	あの あらゆる ある (或る)。 あんな いろんな いわゆる いかなる おかしな 大きな 小さな	ああいう (アア□イウ) ああ成る。 ああする。 いきなり。 おそらく。	あ。ああ。 あっ。 あら。あれ いいえ。 いや。 うん。 ええ。えっ おい。 おお おや。 おはよう	あまり (余り) あたり (周辺) 以上。以下 以内。以外 以前。以後 以来。 以降 うえ(上)	あるいは および (及び)。	エ（へ）	**う**（例。歩こう）	相■協力する アイ ２時間■おき
か	きたる (来る) この こんな	かなり。 かりに。 けっして。 こういう (コー□イウ) ゴロゴロ(と) コソコソ(と)	こら。 これ。 これこれ こんにちは こんばんは	こと(事) ころ(頃) かぎり (限り)	かつ （且つ） *けれども	か。が。 から きり。ぎり *くらい (ぐらい) けれど *けれども こそ	**ごとし**　（如し） ごとく　（如く） ごとき　（如き）	各□方面　カク 現□市長　ゲン 先生■方　ガタ １時間■後　ゴ 財布■ごと １時間■毎　ゴト
さ	さ る (然る)(所に) その そんな	ザーッと。 しばらく。 すいすい(と) ずいぶん。 すぐ（に）。 すこし(も) すっかり。 すやすや(と) ぜひ(是非) そういう (ソー□イウ) そっと。	さあ。 さようなら そら。 それ。	さい(際)	さて。 さらに。 しかし。 しかも。 しだい *して すなわち すると。 そこで。 そして。 それから それで。 それとも それに。	さ さえ し しか じゃ *して ずつ すら ぞ	**ず** (例。読まず。 終止形は「ぬ」) **せる** (せない。せれば。せろ。せよ) **させる**　(させた。させれば) **そうだ** (そうだろう。そうだった。そうな。そうなら) **そうです**(助動詞「そうだ」語幹＋助動詞「です」)	最■上層部　サイ 再■発行　サイ 新■発見　シン 少し■ずつ 前□議員　ゼン 全□３巻　ゼン 全■日本　ゼン 空腹■時　ジ 総■司令官　ソー
た	たいした どの とんだ どんな	たいそう。 ただちに。 たとえ。 たぶん。 ちょうど。 とても。 どういう。 (ドー□イウ) どうか。 どうして。	どれ。 どれどれ。 どっこいしょ	ため (為) たび(度) ちかく (近く) つもり とおり (通り) とき(時) *ところ (所) *ともに (共に)	だが。 *だから ただし 例えば つまり では *でも *ところが *ところで	だけ *だから（助動詞「だ」+助詞「から」） だに たり だり つ つつ て。で。 ても。 *でも。 と。 *ところ *ところが *ところで *とも	**た** (たろう。たらば) **だ**　(だろう。だった。でない。なのだ。なので。なのに。ならば) **たい** (たかろう。たくて。たかった。たければ) **たがる**　(たがらない。たがります。たがった) **です**　(でした。でしょう)	大■演説会　ダイ 第■一巻　ダイ 超□現実的 超■特急 チョー 私■達　タチ 仕事■中　チュー 文化■的　テキ 課長部長□等 トー 当■店　トー 私■共　ドモ 送料■共　*トモ

	連体詞	副詞	感動詞	形式名詞	接続詞	助詞	助動詞	接頭語　接尾語
	□連体詞	□副詞 (他にも、たくさん有る)	□感動詞	□形式名詞	□接続詞	■助詞 (表４－７参照)	■助動詞 (全部の活用形は表４－３参照)	
な		なぜ。 なかなか。 にっこり(と)	ね。 ねえ。		なお。 なぜなら ならびに (並びに)	*な なあ ながら など ならば *なり (表４-７) なんて に の。ので のに のみ ね(ねえ)	***なの**で。なのだ。なのに。ならば。なら。なのです。(終止形は「だ」) ***ない** (なかろう。なくて。なかった。なければ) (５節を参照。形容詞「無い」も有る) ***なり**　(助動詞「だ」の文語体) (例。本日は晴天なり) **ぬ**（例。読まぬ) **ん**（例。読まん)	
は		ピヨピヨ(と) ふと	はい。 ほら。 ほいきた	ハズ(筈) ホカ(他) ホー (方法)		ば、 ばかり、 は(ワ) へ(エ) *ほど (表４-７)	**べし**（可し） べき（可き） べく（可く）。	汎□太平洋　ハン 反□社会的　ハン 非□人道的　ヒ 非■常識　ヒ 不□誠実　フ
ま		まさか また まるで もし もしも	まあ。 もし。 もしもし	モノ (者。物) ママ 未満	また。 または。 もしくは 若しくは	まで も ものの	**まい** (有るまい) **まじ** (有るまじ) **ます**　(ませ。まし。ましょう。ません。ました) **みたいだ** (みたいな。みたいだった。みたいに)	毎■火曜日　マイ 元□市長　モト 満□七歳　マン 丸□一年　マル 食事■前　マエ
や		やがて やや よもや	やれやれ やあ やい よいしょ	ユエ （故) ヨシ (由)		や やら よ より	**よう** (起きよう) **ようだ** (ような。ようなら。ように。ようでない) **ようです** (助動詞「ようだ」語幹＋助動詞[です])	
ら							**らしい** (らしくて。らしかった。らしければ) **れる** (れた。れない。れろ。れよ。れれば) **られる** (られた。られない。られろ。られよ。られれば)	両■首相　リョー
わ	わが(我が)			ワケ(理由)		ワ（は)。わ。を		
ん							**ん**（例。読まん)	

４節。　例外規則。（日本語文法と違うマスあけ規則）　問題４－４

１。「動詞の連用形」＋「動詞」　など。

例外規則	例	見分け方
１。「動詞の連用形」■「動詞」	電車が動き始める （ウゴキ■ハジメル）。 動詞の連用形　動詞 本を読み終わる（ヨミ■オワル） 動詞の連用形　動詞	１。　「電車が動き」と「電車が始める」に、 「本を読み」と「本を終わる」に 分けることが出来ない。 「動くことを始める」「読むことを終わる」とは、言えるが。 ２。　区切り読みの時に、 「動き始める」「読み終わる」と 一息（ひといき）に読める。
１の１。注意。　原則通り。 「動詞の連用形」□「動詞」	彼は居酒屋に行き飲んだ。 動詞の連用形　動詞 （イザカヤニ□イキ□ノンダ） 私はその本を探し借りた。 動詞の連用形　動詞 （ホンヲ□サガシ□カリタ）	１。　「彼は行き」と「彼は飲んだ」に、 「私はその本を探し」と 「私はその本を借りた」に 分けることが出来る。 ２。区切り読みの時に、 「行き飲んだ」「探し借りた」とは、 一息に読めない。
１の２。比較。 「動詞の連用形」□て□「動詞」 「動詞の連用形」□で□「動詞」	レストランに行って食べた。 動詞の連用形　動詞 助詞「て」 （レストランニ□イッテ□タベタ） その店で飲んで食べた。 動詞の連用形　動詞 助詞「で」 （ミセデ□ノンデ□タベタ）	「動詞の連用形」と「動詞」の間に、 助詞「て」「で」が有る。
２。「動詞の連用形」■「形容詞」	動き易い（ウゴキ■ヤスイ）。 動詞の連用形　形容詞	読み難い（ヨミ■ニクイ）。 動詞の連用形　形容詞
３。「形容詞の語幹」■「動詞」	早過ぎる（ハヤ■スギル）。 形容詞の語幹　動詞	おとなし過ぎる（オトナシ■スギル）。 形容詞の語幹　動詞
４。「形容動詞の語幹」■「動詞」	静か過ぎる（シズカ■スギル）。 形容動詞の語幹　動詞	暖か過ぎる（アタタカ■スギル）。 形容動詞の語幹　動詞

説明。

例外規則１の例。　電車が動き始める（ウゴキ■ハジメル）。私はこの本を読み終わった（（ヨミ■オワッタ）。
動くことを始める　読むことを終わった

「動き」は動詞「動く」の連用形です。日本語の文法では、「動き」も「始める」も「読み」も「終わる」も文節だが「ウゴキ□ハジメル」「ヨミ□オワル」とは、しない。

１の１の注意。　例外規則１の例の「動き始める」は「電車が動くことを始める」という意味だから、「動き」と「始める」の間には、「主語、述語、目的語」などのような関係がある。「電車が動き」と「電車が始める」に分けることは出来ない。
しかし、「１の１」の場合は、「彼は行き飲んだ」は「彼は行き」と「彼は飲んだ」に分けることが出来る。

例外規則２の例。　この服は動き易い（ウゴキ■ヤスイ）。くずし過ぎて文字が読み難い（ヨミ■ニクイ）。
終止形が「イ」で終わるから、「易い」と「難い」は形容詞です。日本語の文法では、「動き」も「読み」も「易い」も「難い」も、文節だが、「ウゴキ□ヤスイ」「ヨミ□ニクイ」とは、マスあけしない。

例外規則３の例。　早過ぎる（ハヤ■スギル）。おとなし過ぎる（オトナシ■スギル）。
「早（ハヤ）」は形容詞「早い」の語幹です。「おとなし」は形容詞「おとなしい」の語幹です。日本語の文法では、次の例のように形容詞の語幹は文節に成れる。

形容詞「早い」の語幹は、活用形のどれか（例えば終止形「早い」）から活用語尾「い」を除いた「早」です。
「おお、寒」（オオ　サム）　「外は寒そうだ」（ソトワ　サムソーダ）
形容詞の語幹　形容詞の語幹　助動詞
「早」「過ぎる」「おとなし」は、文節だが、「ハヤ□スギル」「オトナシ□スギル」とは、マスあけしない。

例外規則４の例。　静か過ぎる（シズカ■スギル）。暖か過ぎる（アタタカ■スギル）。
「静か（シズカ）」は形容動詞「静かだ」の語幹です。「暖か（アタタカ）」は形容動詞「暖かだ」の語幹です。日本語の文法では、次の例のように形容動詞の語幹は文節に成れる。
「まあ、静か」（マア　シズカ）　「外は暖かそうだ」（ソトワ　アタタカソーダ）
形容動詞の語幹　形容動詞の語幹　助動詞
「静か」「過ぎる」「暖か」は、文節だが、「シズカ□スギル」「アタタカ□スギル」とは、マスあけしない。

形容動詞「静かだ」の語幹は、活用形のどれか（例えば終止形「静かだ」）から活用語尾「だ」を除いた「静か」です。

５節。「ない」のマスあけ判定。　問題４－５

「ない」の前のマスあけ　する・しない　の調べ方。
（「ない」の活用形「なかろう」「なかった」「なく」「なければ」も同じ）
１。　「ない」は、「助動詞」と「形容詞」がある。活用表も同じ。
２。　普通は、文章の初めから、順に単語に分割して単語種類を判定していく。
３。　しかし「なし」は、直前の単語と組み合わせて、次の表の規則１～規則６のどれの場合であるかを調べて、「助動詞」か「形容詞」かを判定する。同時に、「ない」の前をマスあけするかも決まる。

	規則	例	
	１。　「...でない」「...くない」の　マスあけは、「...デ□ナイ」　「...ク□ナイ」。	寒くない（サムク □ ナイ）。 形容詞　形容詞 （終止形は「寒い」）	静かでない（シズカデ □ ナイ） 形容動詞　形容詞 （終止形は「静かだ」）
	「助動詞」□「ない」 (動詞型活用 以外)	行きたくない（イキタク□ナイ）。 助動詞　形容詞 （形容詞型活用） (終止形は「たい」)	外は雨でない（アメデ □ ナイ） 助動詞　形容詞 （形容動詞型活用） （終止形は「だ」）
		行きそうにない（イキソーニ□ナイ） 助動詞　形容詞 （形容動詞型活用） (終止形は「そうだ」)	
	２。　「名詞」□「ない」	違いない（チガイ□ナイ）。 名詞　形容詞	問題ない（モンダイ□ナイ） 名詞　形容詞
	「名詞」□「なし」	異常なし（イジョー□ナシ）。 名詞　形容詞 （「無い」の文語体）	対策なし。（タイサク□ナシ。） 名詞　形容詞 （「無い」の文語体）
	３。　「助詞」＋「ない」	お金は無い（オカネワ□ナイ）。 助詞　形容詞	元気が無い（ゲンキガ□ナイ） 助詞　形容詞
		寒くもない（サムクモ□ナイ）。 助詞　形容詞	静かでさえない（シズカデサエ□ ナイ） 助詞　形容詞
続ける	４。　「ない」が形容詞の一部 （欄外下の「規則４の説明」）	汚い（キタナイ）。情けない（ナサケナイ）。少なかった（スクナカッタ） 形容詞　形容詞　形容詞（終止形「少ない」）	
	５。　「動詞」■「ない」	動かない（ウゴカ■ナイ）。書かない（カカ■ナイ）。 動詞　助動　動詞　助動	
	６。「助動詞（動詞型活用）」■「ない」	減らされない（ヘラサレ■ナイ）　「減らさ」は動詞「減らす」の未然形。 助動　助動　「れ」は助動詞「れる」の未然形。	

説明。
規則１～６の説明。形容詞「ない」も助動詞「ない」も活用形は同じ「なかろ」「なかっ」「なく」「ない」「なけれ」です。規則１～６の「ない」を、これらの活用形に置き換えたものも、この規則が当てはまる。
規則１の説明。文法の説明。　静かでない（シズカデ□ナイ）。寒くない（サムク□ナイ）。
形容動詞　形容詞　形容詞　形容詞
規則４の説明。語尾が「ない」の形容詞。
汚い。心無い。少ない。切ない。頼りない。だらしない。情けない。はしたない。もったいない。みっともない。
規則５の説明。文法の説明。　動かない（ウゴカ■ナイ）。動かなかった（ウゴカ■ナカッタ）。
動詞　助動詞　動詞　助動詞
規則６の説明。文法の説明。　減らされない（ヘラサレ■ナイ）。減らされなければ（ヘラサレ■ナケレバ）
動詞　助動詞　助動詞　動詞　助動詞　助動詞
規則６。「助動詞（動詞活用型）」のリスト。

助動詞 （動詞活用型）	（助動詞） 動詞活用型の助動詞の未然形」■「ない」	説明。
れる。	ヘラサレナイ　（減らされない）。	「れ」　は助動詞「れる」　の未然形。
られる。	ミセラレナカッタ（見せられなかった）。	「られ」　は助動詞「られる」の未然形。
たがる。	ヨミタガラナイ（読みたがらない）。	「たがら」は助動詞「たがる」の未然形。
せる。	イカセナイ　（行かせない）。	「せ」　は助動詞「せる」　の未然形。
させる。	タベサセナイ　（食べさせない）。	「させる」は助動詞「させる」の未然形。

６節。「～する」「～させる」「～される」「～なくなる」「～なる」「～できる」

	規則	例。
1	「名詞」■「する」 「名詞」■「して」	運転する（ウンテン■スル）。勉強する（ベンキョー■スル）。 お尋ねする（オタズネ■スル）。びっくりする（ビックリ■スル） 読み書きする（ヨミカキ■スル）。飲み食いする（ノミクイ■スル）。 出し入れする（ダシイレ■スル）。行き来する（ユキキ■スル）。 車を運転■して帰った。
	比較。 「名詞」■「を」□「する」	比較。運転■を□する（ウンテンヲ□スル）。 名詞　助詞
2	「時間」□「する」 （時間が経過する） ～□「する」（何かを、する）	１週間すると（１シューカン□スルト）１週間しても（１シューカン□シテモ） ３０分すると（３０プン□スルト）３０分したら（３０プン□シタラ） ４０万円した（４０マンエン□シタ）。 瞬きひとつしない（マバタキ□ヒトツ□シナイ）。
3	「形容詞の連用形」□「する」	美しくする（ウツクシク□スル）。長くする（ナガク□スル）
4	「形容動詞の連用形」□「する」	静かにする（シズカニ□スル）。
5	～たり□する ～だり□する	飛んだりする（トンダリ□スル）。　飲んだり食べたりする（ノンダリ□タベタリ□スル）
6	「名詞」■「させる」	出張させる（シュッチョー■サセル）。派遣させる（ハケン■サセル）
	比較。 「名詞」■「を」□「させる」	比較。出張■を□させる。 名詞　助詞
7	「名詞」■「される」	攻撃される（コーゲキ■サレル）。待ち伏せされる（マチブセ■サレル）
	比較。 「名詞」■「を」□「される」	比較。待ち伏せ■を□される。 名詞　助詞
8	右の例の「なくなる」は 途中を切らない。(慣用語)	祖母が亡くなった（ソボガ　ナクナッタ）。(死亡) 帽子が無くなった（ボーシガ　ナクナッタ）（紛失） 権利が無くなる（ケンリガ　ナクナル）　（消滅）
9	「名詞」■「なる」	善良なる市民（ゼンリョー■ナル　シミン）。
１０	「名詞」□「できる」	利用できる（リヨー□デキル）

注意１。「する」「させる」「される」「なる」「できる」は、活用する単語の終止形だが、他の活用形の時も上の規則が、当てはまる。例えば『１。「名詞」■「する」』は、

運転■しない。　運転■した。　運転■して。　運転■する□とき。　運転■すれば。　運転■せよ。

「する」の未然形　「する」の連用形　「する」の連用形　「する」の連体形　「する」の仮定形　「する」の命令形

注意２。「飲み食い」「出し入れ」「待ち伏せ」は、名詞です。４章３の１節手順１注意２を参照。だから注意１を「飲み食いする」に当てはめると

飲み食い■しない。　飲み食い■した。　飲み食い■して。　飲み食い■する□とき。　飲み食い■すれば。　飲み食い■せよ。と成る。

7節。他のマスあけ規則。　■　□

1。「熟語」＋「熟語」

規則			例。
	1。　「熟語」＋「熟語」		
あ	最小限度に切って、マスあけ。		入学試験（ニューガク□シケン）。世界人権宣言(セカイ□ジンケン□センゲン)
い	前のことばと繋がって、清音が濁音に成った場合は、続ける。		炭焼き小屋（スミヤキ■ゴヤ）。株式会社（カブシキ■ガイシャ）。 比較。小屋（コヤ）。会社（カイシャ）
う	漢字３字以下は、続ける		訪問客（ホーモンキャク）。東日本（ヒガシニホン）。急停車（キューテイシャ）。
え	漢字３文字でも、別別のことばの時は、マスあけ。		約半数（ヤク□ハンスー）。国全体（クニ□ゼンタイ）。彼自身（カレ□ジシン） (説明。「約」は副詞)
お	漢字４字でも、次のことばは切らない。		交響楽団(コーキョーガクダン)。作曲者名（サッキョクシャメイ）。 芸術院賞（ゲイジュツインショー）。最優秀者（サイユーシューシャ）
か	「固有名詞」□「普通名詞（３拍以上）」		井上先生（イノウエ□センセイ）吉田首相（ヨシダ□シュショー）エリザベス女王（エリザベス□ジョオー）蔦温泉（ツタ□オンセン）襟裳岬（エリモ□ミサキ）
	「固有名詞」■「普通名詞（２拍以下、自立性が弱い）」 ガ　キャ　ギャ　ー　ン　ッ　は1拍。		上野駅（ウエノ■エキ）徳川家（トクガワ■ケ）信濃川（シナノ■ガワ）ダイアナ妃（ダイアナ■ヒ）寂聴尼（ジャクチョー■ニ）
き	次の接尾語。　～□接尾語 アテ（宛）。カタ（方）。カン（刊）。サク(作)。タク（宅）。ダン（談）。チョ（著）。ヒツ（筆）。ヘン（編）ヤク（訳）。		編集部宛（ヘンシューブ□アテ）佐藤方（サトー□カタ）三省堂刊（サンセイドー□カン）運慶作（ウンケイ□サク）長谷川宅（ハセガワ□タク）山崎豊子談（ヤマザキ□トヨコ□ダン）川端康成著（カワバタ□ヤスナリ□チョ）横山大観筆（ヨコヤマ□タイカン□ヒツ）佐藤春夫編（サトー□ハルオ□ヘン）寺田訳（テラダ□ヤク）
	2。　人の名前。		
く	「苗字」□「名前」	川端康成（カワバタ□ヤスナリ） ヘレン・ケラー（ヘレン□ケラー）	「敬称」。　「さん」「様」「殿」「君」「氏」（シ、ウジ）「御中」、など。
	「人の名前」□「敬称」	川端康成様（カワバタ□ヤスナリ□サマ）	
	「普通名詞」■「敬称」	王子様（オージ■サマ）課長さん（カチョーサン） 岡山市長殿（オカヤマ　シチョードノ）	
	「固有名詞」■「敬称（愛称）」	美智子ちゃん（ミチコ■チャン）お松どん（オマツ■ドン）	
		サン＝サーンス（サン」サーンス）	」　は「継ぎ符」点字に点訳
け	中国人名、朝鮮人名（漢字２字）は続ける。	杜甫（トホ）。李白（リハク）。孫文（ソンブン）。魯迅（ロジン）	
	3。　地名。		
	「都道府県名」□「市区町村名」□「町名」□「～丁目」□「～番」□「～号」	岡山県倉敷市呼松町３丁目４番１８号（オカヤマケン□クラシキシ□ヨビマツチョー□３チョーメ□４バン□１８ゴー）。呼松町３の４の１８（ヨビマツチョー□３ノ□４ノ□１８）。東京都千代田区霞ヶ関（トーキョート□チヨダク□カスミガセキ）	
	「市区町村名」「町名」「国名」「組織名」「建造物名」に、３拍以上の意味のまとまりが２個以上あるときは、間をマスあけ	福島県会津若松市（フクシマケン□アイヅ□ワカマツシ）倉敷市児島下之町（クラシキシ□コジマ□シモノチョー）アメリカ合衆国（アメリカ□ガッシューコク）世田谷区役所（セタガヤ□クヤクショ）東京都立大学（トーキョー□トリツ□ダイガク）東京ドーム（トーキョー□ドーム）	
	[固有名詞] □ [普通名詞] (３拍以上)	房総半島（ボーソーハントー）下呂温泉（ゲロオンセン）犬吠岬（イヌボーミサキ） 佐藤先生（サトーセンセイ）吉田首相（ヨシダシュショー）ナポレオン皇帝（ナポレオンコーテイ）	
	[固有名詞] [普通名詞] (２拍以下)	富士川（フジガワ）伊勢湾（イセワン）淡路島（アワジシマ）浜名湖（ハマナコ）観音崎（カンノンザキ）徳川家（トクガワケ）	
	4。　慣用語		
こ	慣用語　（続ける）。	そのまま。そのもの。そのうえ。その他。その後。そのじつ。このかん。 この間（コノ■アイダ）。それ故（ソレ■ユエ）。この際（コノ■サイ）。 あの世（アノ■ヨ）。我が家（ワガ■ヤ）。我が国（ワガ■クニ）。ドー■シテ。	
さ	女の人の使う接尾語的な「もの」や「こと」	～■「こと」 ～■「もの」	まあ可愛らしいこと（マア　カワイラシイ■コト）。 知らないのですもの（シラナイノデス■モノ）。
し	１語に成っていることば。	～■「あまり」 ～■「あたり」 ～■「こと」 ～■「もの」	十日余り（トオカ■アマリ）。 一人当たり（ヒトリ■アタリ）。 頂き物（イタダキ■モノ）

規則		例。
す	～□「敬語」	おいで下さい（オイデ□クダサイ）。お待ち致します（オマチ□イタシマス）。 ご案じ申し上げる（ゴアンジ□モーシアゲル）
せ	（話し言葉） ２つのことばが、ひとつに縮まった場合は、続ける。	イッテラッシャイ（「行っていらっしゃい」の縮まった形）。 カンガエテルカラ(「考えているから」の縮まった形）。 シマッチャッタ(「しまってしまった」の縮まった形）。 ボクンチエ　オイデ(「僕のうちへおいで」の縮まった形）。
そ	畳語（じょうご）。 短いことばは　続ける。 長いことばは　マスあけ。	 ヤマ■ヤマ。クニ■グニ。コワ■ゴワ。カエス■ガエス。 ポツリ□ポツリ。チラリ□チラリ。アトカラ□アトカラ。

８節。　接頭語と接尾語。。

	規則	接頭語の例	「接頭語」の文例	接頭語の例	「接頭語」の文例
接頭語	原則。 「接頭語」■	相（アイ） 最（サイ） 再（サイ） 新（シン） 総（ソー）	相協力する（アイ■キョーリョクスル） 最優秀賞（サイ■ユーシューショー） 再発行（サイ■ハッコー） 新発見（シン■ハッケン） 総司令官（ソー■シレイカン）	第（ダイ） 大（ダイ） 当（トー） 毎（マイ） 両(リョー）	第３巻（ダイ■３カン）。 大展覧会（ダイ■テンランカイ） 当店（トー■テン） 毎月曜日（マイ■ゲツヨービ） 両首相（リョー■シュショー）
	例外。 「接頭語」□	各（カク） 現（ゲン） 全（ゼン） 前（ゼン） 超（チョー） 当（トー）	各町内会（カク□チョーナイカイ） 現社長（ゲン□シャチョー） 全４巻（ゼン□４カン） 前市長（ゼン□シチョー） 超現実的（チョー□ゲンジツテキ） 当店（トー■テン）	汎（ハン） 非（ヒ） 不（フ） 丸（マル） 満（マン） 元（モト）	汎太平洋（ハン□タイヘイヨー） 非人道的（ヒ□ジンドーテキ） 不人気（フ□ニンキ） 丸１年（マル□１ネン） 満１７歳（マン□１７サイ） 元議員（モト□ギイン）
	規則	接尾語の例	「接尾語」の文例		
接尾語	原則。 ■「接尾語」	おき 方（カタ） 方（ガタ） 後（ゴ） 毎（ゴト） ごと 時（ジ） ずつ	１時間おき（１ジカン■オキ） 斉藤様方(サイトー□サマ■カタ) 先生方（センセイ■ガタ） ３０分後（３０プン■ゴ） １時間毎（１ジカン■ゴト） 財布ごと盗まれた（サイフ■ゴト） 非常時（ヒジョー■ジ） 少しずつ（スコシ■ズツ）	達（タチ） 中（チュー） 出（デ） 的（テキ） 共（トモ） 共（ドモ） 前（マエ）	生徒たち（セイト■タチ） 運転中（ウンテン■チュー） 岡山出の人（オカヤマ■デノ） 文化的（ブンカ■テキ） 送料共の値段（ソーリョー■トモ) 私ども（ワタクシ■ドモ） 玄関前（ゲンカン■マエ）
	例外。 □「接尾語」	等（トー）	課長部長等（カチョー□ブチョー□トー）		

５章。　文と文の間のマスあけ。カナ記号の点訳。

０節。　文章記号。

注意１。「点字の点構成」欄の「３６。２３。」は「点３点６の点字と点２点３の点字の組」を表わす。
注意２。「墨字入力」欄で、２個の墨字が連結して見える場合は、間に半角「スペース」を入れて表示してある。
例。　__]　を、間に半角「スペース」を入れて　__]　と、表示。

記号の名前	記号	点字（凸）	点字の点構成	ＷｉｎＢＥＳの墨字入力	相川点訳の墨字入力	点訳規則の場所
句点	。	⠲	点２５６	。	。	１－１節
疑問符	？	⠦	点２６	？	？	１－２節
感嘆符	！	⠖	点２３５	！	！	１－３節
読点	、	⠰	点５６	□　　または 、□	□ (無し)	１－４節
中点	・	⠤	点５	□　　または ・□	□ (無し)	１－５節
棒線	――	⠒⠒	点２５。点２５。	ーー (長音２個)	ーー (長音２個)	１－６節
点線	・・・	⠄⠄⠄	点２。点２。点２。	ッッッ (小文字「ツ」３個)	ッッッ (小文字「ツ」３個)	１－６節
波線	～	⠔⠔	点３６。点３６。	「」	「」　または　～	１－６節
カギ 開く	「	⠌	点３６。	「	「	２節
カギ 閉じ	」	⠌	点３６。	」	」	４－２節
２重カギ 開く	『	⠰⠌	点５６。点３６。	「「	[	２－１節
２重カギ 閉じ	』	⠔⠆	点３６。点２３。	」」	]	４－２節
第２カギ 開く	〔	⠰⠨	点５６。点３。	「__	(なし)	２－１節
第２カギ 閉じ	〕	⠨⠆	点６。点２３。	__」	(なし)	４－２節
カッコ 開く	(	⠶	点２３５６。	(	(	３節
カッコ 閉じ	)	⠶	点２３５６。	)	)	４－２節
２重カッコ 開	《	⠰⠶	点５６。点２３５６。	((	{　(中カッコ開)	３－１節
２重カッコ 閉	》	⠶⠆	点２３５６。点２３。	))	}　(中カッコ閉)	４－２節
第２カッコ 開	【	⠠⠶	点５。点２３５６。	(__	(なし)	３－１節
第２カッコ 閉	】	⠶⠄	点２３５６。点２。	__)	(なし)	４－２節
第１指示符 開	例。傍点付きの [語句]	⠠⠔	点５。点３６。	[	(なし)	４－１節
第１指示符 閉		⠔⠄	点３６。点２。	]	(なし)	４－２節
第２指示符 開	例。下線付きの[語句]	⠠⠔⠔	５。３６。３６。	[[	(なし)	４－１節
第２指示符 閉		⠔⠔⠄	３６。３６。２。	]]	(なし)	４－２節
第３指示符 開	例。太字文字の[語句]	⠰⠔⠔	５６。３６。３６。	[__	(なし)	４－１節
第３指示符 閉		⠔⠔⠆	３６。３６。２３。	__]	(なし)	４－２節
点訳註　開く	((	⠶⠶	２３５６。２３５６。	( ) ([カッコ 開] [カッコ閉])	（） または ((	４節
点訳註　閉じ	))	⠶⠶	２３５６。２３５６。	( )	（） または))	４－２節
左矢	←	⠣⠒⠒	２４６。２５。２５。	コーー (コ 。長音２個)	コーー (コ 。長音２個)	４－３節
右矢	→	⠒⠒⠜	２５。２５。１３５。	ーータ (長音２個 。タ)	ーータ (長音２個 。タ)	４－３節
両矢	⇔	⠣⠒⠒⠜	２４６。２５。２５。１３５	コーータ (コ。長音２個。タ)	コーータ (コ。長音２個。タ)	４－３節

１節。　句点「。」疑問符「？」感嘆符「！」読点「、」中点「・」、棒線「――」、点線「．．．」。

１－１節 。句点、「。」。

点字　　点２５６点字。　　「文」＝「（主語や）述語の有る文字列」。　「語句」＝「カナや数字の文字列」

墨字	マスあけ	墨字の例	墨字の例のマスあけ(墨字入力)
[文や語句]。	[文や語句]■。	昨日は晴れた。今日は雨だ	キノーワ□ハレタ■。□□キョーワ□アメダ
[文]。[文や語句]	[文]■。□□[文や語句]	昨日は晴れた。今日は雨だ	キノーワ□ハレタ■。□□キョーワ□アメダ
[語句]。[文や語句]	[語句]■。□[文や語句]	説明。数は～	セツメイ■。□カズワ～
[項目番号]。[文や語句]	[項目番号]■。□[文や語句]	５。説明。数は～	５■。□セツメイ。□カズワ～
[項目タイトル]。[文や語句]	[項目タイトル]■。□[文や語句]	１５。理由。変数は～	１５。□リユー■。□ヘンスーワ
。」 。） 」。 ）。	。■」 。■） 」■。 ）■。	「こんにちは。」と言った ～の成績（６５点。） 要は「根気」。 動いた（成功だ）。	「コンニチワ。■」ト□イッタ ノ□セイセキ（６０テン。■） ヨーワ□「コンキ」■。 ウゴイタ（セイコーダ）■。
[棒線]。 [点線]。	[棒線]■。 [点線]■。	説明――。実は～ 開いた．．．。	セツメイ□ーー■。□□ジツワ～　（長音２個） ヒライタ□ッッッ■。 （小文字「ッ」３個）
。[棒線] 。[点線]	。□□[棒線] 。□□[点線]	出来た。――終わった 出来た。．．．終わった	デキタ。□□ーー□ オワッタ デキタ。□□ッッッ□オワッタ

	例１。	例２。
[文や語句][ピリオド、コンマ、読点]のピリオド、コンマ、読点が句点と同じ働きの時は、 ピリオド、コンマ、読点を 句点に置き換えてから　点訳する。	墨字。　昨日は雨だった．今日は晴れた． 置き換え。昨日は雨だった。今日は晴れた。 点訳。　キノーワ□アメダッタ。□□キョーワ□ハレタ。	墨字。　５．説明．数は～ 置き換え。５。説明。数は～ 点訳。　５。□セツメイ。□カズワ～

説明。　句点「。」、ピリオド「．」、コンマ「，」、読点「、」

１－２節。　疑問符。「？」。

点字　　点２６点字。

墨字	マスあけ	墨字の例	マスあけの例	備考
[文]？[文や語句] [語句]？[文や語句]	[文]■？□□[文や語句] [語句]■？□[文や語句]	なぜだ？わからない。 はてな？と思った。	ナゼダ■？□□ワカラナイ。 ハテナ■？□ト□オモッタ。	文の終り 文の途中
？」 ？） 」？ ）？	？■」 ？■） 」■？ ）■？	「こんにちは？」と言った ～の成績（６５点？）	「コンニチワ？■」ト□イッタ ～ノ□セイセキ（６５テン？■）	
[棒線]？ [点線]？	[棒線]■？ [点線]■？			

１－３節。感嘆符「！」

点字　　点２３５点字。

墨字	マスあけ	墨字の例	マスあけの例	備考
[文]！[文や語句] [語句]！[文や語句]	[文]■！□□[文や語句] [語句]■！□[文や語句]	すごい！解けた！ すごい！と叫ぶ。	スゴイ■！□□トケタ！ スゴイ■！□ト　サケブ。	文の終り 文の途中
！」 ！） 」！ ）！	！■」 ！■） 」■！ ）■！	「こんにちは！」と言った ～の成績（６５点！）	「コンニチワ！■」ト□イッタ ～ノ□セイセキ（６０テン！■）	
[棒線]！ [点線]！	[棒線]■！ [点線]■！			

４。疑問符や感嘆符が２個以上並べて書いてある時は、そのとおりに点訳する。　例。　おやおや？！（オヤオヤ？！）

１－４節。　読点、「、」。

点訳方法１。　読点、を「１マスあけ」などに、置き換える。
点訳方法２。　読点の点字を書く（なるべく使わない。相川意見）。

点訳方法１。　読点、を「１マスあけ」などに、置き換える。

規則。	墨字の例文	点訳用の墨字入力（ＷｉｎＢＥＳ、相川点訳）
０。原則。１マスに置き換える。	変数 、配列 、定数 食べて 、飲んで、歌った 。	ヘンスー□ハイレツ□テイスー タベテ□ノンデ□ウタッタ 。
例外１。次の場合は、２マスあけに置き換える。		
①句点と同じ働きの時。	①行こう 、急ぐぞ 。	①イコー□□イソグゾ 。
②弱い区切りを１マス明けで書くときの、強い区切り。	②嵯峨天皇 、空海 、橘逸勢 配列要素 、変数 、定数	②サガ□テンノー□□クーカイ□□タチバナノ□ハヤナリ ハイレツ□ヨーソ□□ヘンスー□□テイスー
③呼びかけの語の後。	③あきらちゃん 、早くいらっしゃい 。	③アキラチャン□□ハヤク□イラッシャイ。
例外２。「カギ閉じ」「２重カギ閉じ」「カッコ閉じ」の前の読点は、削る。	「しかし 、」と言った。 『しかし 、』と言った。 ここで（しかし 、）探した	「シカシ■ 」ト　イッタ 『シカシ■ 』ト　イッタ ココデ（シカシ■ ）　サガシタ

３。カナの文の途中のコンマ「，」が、読点「、」と同じ働きの時は読点に置き換えてから、点訳する。	墨字文。　変数 ，配列 ，定数 ．　飲んで ，食べた ． 置き換え。　変数 、配列 、定数 。　飲んで 、食べた 。 点訳。　ヘンスー□ハイレツ□テイスー 。　ノンデ□タベタ 。		相川流
４。おおよその数	２ 、３回	点字入力 ＷｉｎＢＥＳの墨字入力 相川点訳の墨字入力。	[数符]２[数符]３カイ ２「 」３カイ　（「２～３カイ」を代用） ２ ’３カイ
	３５ 、６回	点字入力 ＷｉｎＢＥＳの墨字入力 相川点訳の墨字入力。	[数符]３５[数符]６カイ ３５「 」３６カイ（「３５～３６カイ」を代用） ３５ ’６カイ

「４。おおよその数」の注意。　「２ 、３回」「３５ 、６回」の、本来の点訳は「[数符]２[数符]３カイ」「[数符]３５[数符]６カイ」だが、ＷｉｎＢＥＳの墨字入力では、出来ないので、上のような代用入力にする。相川製作の点訳プログラムでは、「２’３カイ」「３５’６カイ」と入力すると、正しく点訳される。「 ’」はＳｈｉｆｔ＋「７や」キーを押す。

点訳方法２。　読点の点字を書く（なるべく使わない）。（相川点訳では、読点の点字を使えない）。

記号	記号の点字	墨字例文	墨字入力	ＷｉｎＢＥＳ点訳結果。　点字入力
読点 、	□ ５６。	米 、麦 飲んで 、食べた。	コメ 、□ムギ ノンデ、□タベタ。	コメ　□ムギ　コメ[読点点字] □ムギ ノンデ　□タベタ。　ノンデ [読点点字] □タベタ。

注意。墨字入力「コメ 、ムギ」のＷｉｎＢＥＳ点訳結果は「コメ　□ムギ」だが、使わない。理由は１－５節注意と同じ。

１－５節。中点「・」

点訳方法１。　中点を「１マスあけ」に置き換える。
点訳方法２。　中点の点字を書く（なるべく使わない。相川意見）。

点訳方法１。　中点を「１マスあけ」に置き換える。

	墨字	マスあけ	墨字例文	点訳用の墨字入力（ＷｉｎＢＥＳ、相川点訳）
１	[語句]・[語句]	[語句] □ [語句]	酒・料理を飲む・食べる ジョージ・ワシントン Ｇ・ワシントン 平成１３・６・２０ Ｔ・Ｐ・Ｏ	サケ□リョーリヲ□ノム□タベル ジョージ□ワシントン　（外国人の姓・名） Ｇ□ワシントン　（外国人の姓・名） ヘイセイ□１３□６□２０ ＴＰＯ
３	[数]・[数]	[数] □ [数]	２・２６事件 七・五・三	２□２６□ジケン　２’２６□ジケン（相川点訳） ７□５□３　７’５’３　（相川点訳）

３の注意。　「２・２６事件」の本来の点訳は、「数２数２６　ジケン」だが、ＷｉｎＢＥＳの墨字入力による点訳では、出来ないので、代用として「２□２６□ジケン」と入力する。相川点訳は、「２’２６□ジケン」と入力すると、本来の点訳になる。

点訳方法２。　中点の点字を書く（なるべく使わない）。　（相川点訳では、中点の点字を使えない）。

記号	記号の名前	記号の点字	墨字例文	墨字入力	点訳結果（ＷｉｎＢＥＳ）。点字入力
・	中点	５。	米・麦	コメ・□ムギ	コメ　□ ムギ コメ[中点点字] □ ムギ

注意。　なるべく使わない。　理由。中点の点字は最近できた。点５から成る点字です。読み誤れる恐れがある。読めない高齢者が居る。ＷｉｎＢＥＳは、「中点」「スペース」の墨字２個１組も、「中点」だけ墨字１個も、「点５の点字」「マスあけ点字」の２点字に変換する。例。墨字入力　コメ・ムギ　をＷｉｎＢＥＳは自動マスあけ挿入して　コメ・□ムギ　と同じに点訳。自動マスあけ挿入しない、他の点訳プログラムでも、正しく点訳させるために、　コメ・□ムギ　と墨字入力する。

１－６節。　棒線。点線。波線

墨字記号	名前	記号の点字点構成	墨字入力	墨字例文	墨字例文の墨字入力	使える点訳プログラム
――	棒線	２５。２５。	ーー (「長音」2個)	はてな ―― なるほど	ハテナ□ーー□ナルホド	ＷｉｎＢＥＳ 相川点訳
・・・	点線	２。２。２。	ッッッ (小文字「ツ」３個)	しかし・・・なるほど	シカシ□ッッッ□ナルホド	ＷｉｎＢＥＳ 相川点訳
～	波線	３６。３６。	「 」 ([カギ開] [カギ閉])	２５～３４ 岡山～名古屋	２５「 」３４ オカヤマ「 」ナゴヤ	ＷｉｎＢＥＳ 相川点訳

注意１。　ＷｉｎＢＥＳでは　２５～３４　の「～」の点訳（墨字入力）に、次の①～④の入力を使えない。
①　２５～３４　②　２５「「３４　③　２５」」３４　④　２５」「３４
(理由。①　～　を点５点字と点２点字の２点字に点訳するので。②③　「「　と　」」　をＷｉｎＢＥＳは「２重カギ開く・閉じる」に点訳するので。④　２５」「３４　をＷｉｎＢＥＳは自動的にマスあけして　２５」□「３４　の点訳と同じ点字列に変換するので。紙の１行が３２マス設定の時に、　２５」　までが３１マスの時は、　「３４　を、次の行の１マス目から点訳して書いていく恐れが強いので、ＷｉｎＢＥＳ以外の点訳プログラムでも、　２５」「３４　の墨字入力は使わない。
注意２。　ＷｉｎＢＥＳでは　棒線を　＝　と入力しない。（理由。両隣に、自動的にマスあけを付け足して、
ハテナ＝。　を　ハテナ□ーー□。　と同じに点訳するため。点訳規則違反に成る。下の規則２を参照）。
注意３。　相川点訳では、次の入力も使える。
「波線」の入力を　～　。例。　２５～３４　岡山～名古屋　の墨字入力を、　２５～３４　オカヤマ～ナゴヤ
「棒線」の入力を　＝　。例。　はてな ―― なるほど　はてな ――。　の墨字入力を、　ハテナ□＝□ナルホド　ハテナ□＝。
注意５。棒線の墨字入力は、「長音」２個の代わりに、「マイナス」２個は不可。理由。棒線とは別の点字に点訳するため。
注意６。墨字文で、点線が点４個や点５個や点６個の時も上記の墨字入力にする。理由。点字の点線は、点３個の点線しか無い。

棒線、点線のマスあけ規則。

規則１。　棒線や点線の　前後　は、１マスあけ。
規則２～５。　棒線や点線の　後　に、句点や疑問符や感嘆符や読点が来るときは、続ける。
規則６～８。　棒線や点線の　前　に、句点や疑問符や感嘆符が来るときは、　２マスあけ。
規則９～１０。棒線や点線の　前後　に、カギ類やカッコ類の内側で接する時は、続ける。
（「カギ類」＝ カギ、２重カギ、第２カギ ）　（「カッコ類」＝カッコ、２重カッコ、第２カッコ）
規則１１。波線の左右は続ける。　（次の表は、上の規則を表にしただけ）（「規則１。原則」は「規則２～１０」以外の場合）

規則	墨字文	点訳	墨字例文	墨字例文の点訳
１。原則	[語句] ―― ―― [語句]	[語句] □ ―― ―― □ [語句]	朝 ―― ５時に出た 。	アサ□ ーー □５ジニ □デタ。
２	―― 。	―― ■ 。	朝 ―― 。５時に出た。	アサ□ ーー ■ 。□□５ジニ□デタ。
３	―― ？	―― ■？	犯人か ―― ？	ハンニンカ □ ーー ■？
４	―― ！	―― ■！	出来た ―― ！	デキタ□ ーー ■！
５	―― 、	―― □　または ―― ■ 、□	しかし―― 、なぜだ。	シカシ□ ―― □ナゼダ。　または シカシ□ ―― ■ 、□ナゼダ。
６	。――	。□□ ――	出来た 。―― 終わった	デキタ 。□□ ーー□オワッタ
７	？ ――	？□□ ――	犯人か ？―― はてな	ハンニンカ？□□ ーー□ハテナ
８	！ ――	！□□ ――	出来た！―― 終わった	デキタ！□□ ーー□オワッタ
９	[カギ類 開] ―― ―― [カギ類 閉]	[カギ類 開] ■ ―― ―― ■ [カギ類 閉]	「 ―― なるほど」 「 しかし―― 」	「 ■ ーー□ナルホド」 「 シカシ□ ーー ■ 」
１０	[カッコ類 開]―― ―― [カッコ類 閉]	[カッコ類 開] ■ ―― ―― ■ [カッコ類 閉]	(―― 犯人か) (犯人か ――)	(■ ーー□ハンニンカ) (ハンニンカ□ ーー ■)

規則	墨字文	点訳	墨字例文	墨字例文の点訳
１。原則	[語句] ・・・ ・・・ [語句]	[語句] □ ッッッ ッッッ □ [語句]	朝 ・・・ ５時に出た 。	アサ□ッッッ□５ジニ□デタ 。
２	・・・。	ッッッ ■ 。	朝 ・・・。５時に出た	アサ□ッッッ■ 。□５ジニ□デタ
３	・・・ ？	ッッッ ■？	犯人か ・・・ ？	ハンニンカ□ッッッ■？
４	・・・ ！	ッッッ ■！	出来た ・・・ ！	デキタ □ ッッッ ■！
５	・・・、	ッッッ □　または ッッッ ■ 、□	しかし ・・・、なぜだ。	シカシ□ ッッッ□ナゼダ。または シカシ□ ッッッ ■ 、□ナゼダ。
６	。・・・	。□□ ッッッ	出来た 。・・・ 終わった	デキタ 。□□ ッッッ□オワッタ
７	？・・・	？□□ ッッッ	犯人か？・・・ はてな	ハンニンカ？□□ ッッッ□ハテナ
８	！・・・	！□□ ッッッ	出来た！・・・ 終わった	デキタ！□□ ッッッ□オワッタ
９	[カギ類 開] ・・・ ・・・ [カギ類 閉]	[カギ類 開] ■ ッッッ ッッッ ■ [カギ類 閉]	「 ・・・ なるほど 」 「 しかし ・・・ 」	「 ■ ッッッ□ ナルホド 」 「 シカシ □ ッッッ ■ 」
１０	[カッコ類 開] ・・・ ・・・ [カッコ類 閉]	[カッコ類 開] ■ ッッッ ッッッ ■ [カッコ類 閉]	(・・・ なるほど) (犯人か ・・・)	(■ ッッッ□ ナルホド) (ハンニンカ□ ッッッ■)

２節。　カギ類。

１。働き。　カギ類の記号は、語句や文やセリフの文字範囲を区切る働きをする。

例。　彼は「海に行こう」と言った。　これは「変数」です。　次に「キャンセル」をクリックする。

（比較。カッコの働き。　カッコで囲んだ文や語句は、すぐ前（左）の語句や文を説明する。）

２－１節。　カギ。

２。「カギ開く・閉じる」のマスあけ規則。

規則	墨字	マスあけ規則 (□ 、■の部分)	墨字の例	マスあけの例
1	「 [語句]	「 ■ [語句]	「空が青い」	「 ■ソラガ□アオイ■ 」
2	[語句] 」	[語句] ■ 」	「空が青い」	「 ■ソラガ□アオイ■ 」
3	[語句] 。」 [語句]？ 」 [語句]！ 」	[語句] 。■ 」 [語句]？■ 」 [語句]！■ 」	「空が青い。」 「はてな？」 「海がきれい！」	「ソラガ□アオイ。■ 」 「ハテナ？■ 」 「ウミガ□キレイ！■ 」
4	[語句] 」。 [語句] 」？ [語句] 」！	[語句] 」■ 。 [語句] 」■？ [語句] 」■！	要は「根気」。 「はてな」？ 「海がきれい」！	ヨーワ□「コンキ」■ 。 「ハテナ」■ ？ 「ウミガ□キレイ」■ ！
5	[語句] [読点] 」	[語句] ■ 」	「しかし 、」と言った	「シカシ■ 」ト□イッタ
6 」	[語句、記号] 」[助詞]	[語句､記号] 」■ [助詞]	「しかし 」と言った。 語句　助詞 「アッ！ 」と叫ぶ。 記号　助詞	「シカシ」■ト□イッタ。 助詞 「アッ！」■ト□サケブ。 助詞
	[語句､記号] 」[助動詞]	[語句､記号] 」■ [助動詞]	問題は「 実績 」です。 助動詞	モンダイワ□「ジッセキ 」■デス。 助動詞
	[語句､記号] 」[自立語]	[語句､記号] 」□ [自立語]	「確認せよ 」大切です。 名詞（自立語）	「 カクニンセヨ 」□タイセツデス。 名詞
7 「	[語句]「 [語句]	[語句] □「 [語句]	次は「中止」を押す。 語句	ツギワ □「チューシ」ヲ□オス 。 語句
	[文] 。「 [語句]	[文] 。□□「 [語句]	困った 。「エッ」と叫ぶ 文（述語が有る）	コマッタ 。□□「エッ」ト□サケブ
	[語句] 。「 [語句]	[語句] 。□「 [語句]	注意 。「中止」を押す	チューイ 。□「チューシ」ヲ□オス
	[行変え] 「 [語句、文]	[行変え]□□「 [語句､文]	[行変え] 「 出発！」	[行変え] □□「 シュッパツ！」
8	[語句] 」「 [語句]	[語句] 」□「 [語句]	「変数」「定数」	「ヘンスー」□「テイスー」

項目５の説明。　読点「 、」を削って点訳する。

項目６、７の説明。　「 ～ 」　を１個の〔名詞〕だと思って点訳する（マスあけ規則を当てはめる）。

例えば、項目６の２番目の例文　問題は「実績」です　は、「実績」　（４文字）が名詞相当号語句で、助動詞〔です〕は、左と続けるから、マスあけは、　モンダイワ□「ジッセキ」■デス　と成る。　要は「急がば回れ」です　のマスあけは、

「急がば回れ」　の７文字を名詞と思って、マスあけは　ヨーワ□「イソガバ□マワレ」■デス　と成る。

項目８の説明。　」「 の間は１マス空けて点訳する。

例。　「変数」「配列」「定数」

墨字入力。　「ヘンスー」□「ハイレツ」□「テイスー」

理由。「ヘンスー」「ハイレツ」　と墨字入力すると、「ヘンスー～ハイレツ」と同じ点字列に点訳する(点訳プログラムが多い。例。相川点訳)。　」　も　「　も、「点３と点５からなる点字」に点訳する。　「２３～４５」　や　「東京～名古屋」の、　～　の点訳は、その点字２個を並べたものと同じだから。

(注意。　ＷｉｎＢＥＳは、墨字入力　「ヘンスー」「ハイレツ」　を、自動的にマスあけを１マス挿入して、　「ヘンスー」□「ハイレツ」　の点訳と同じに変換する。しかし、自分でマスあけして入力する。

理由１。他の点訳プログラムと共通に使えるために。理由２。項目３以下の「カギ」「２重カギ」「第２カギ」の「開く・閉じる」の２個が隣り合う墨字入力を、ＷｉｎＢＥＳは自動マスあけ挿入をしないのに、すると勘違いするのを防ぐため。）

２－１。（相川案）。‘　’　“　”　〈　〉　[　]　などが、カギの働き（項目１）をする記号の時は、その記号を、カギに置き換えてから点訳する。（ただし、どれも、文章の（カギの働きの記号の内で）最も外側の記号の場合）。

	墨字の例。	置き換え	点訳。
例１	『目標』は“合格”です	「目標」は「合格」です	「モクヒョー」ワ□「ゴーカク」デス
例２	‘目標’は“合格”です	「目標」は「合格」です	「モクヒョー」ワ□「ゴーカク」デス
例３	次に[キャンセル]をクリックする	次に「キャンセル」をクリックする	ツギニ□「キャンセル」ヲ□クリックスル
例４	これは〈変数〉です。	これは「変数」です。	コレワ□「ヘンスー」デス。

理由。「２重カギ」や「第２カギ」は昔は無かった点字記号なので、高令の盲人は読めない人も居る。別の記号の点字と読み誤れる恐れがある。パソコンのマニュアルや参考書では、プログラムリストを書き表すための記号点字と読み誤れる恐れがある。

２ー２節。　２重カギ、第２カギ。

ここから２ー２節終わりまでは、初めは読まない。わかりにくく、初めは、使わないため。

カギ類の点訳方法の種類。　点字のカギ類には、「カギ」「２重カギ」「第２カギ」の３種類がある。（項目３）
点訳方法１。（市販の点訳参考書）。（２ー２節の項目９）。
「～」 を「カギ」、『～』 を「２重カギ」、 ”～” を「第２カギ」に点訳する。（対応を固定する）
点訳方法２。（相川流）。　（２ー１節と、項目９以外の２ー２節）。カギの働きの記号を
「～『～〈～〉～』～」 のように、外側から、順に、「カギ」「２重カギ」「第２カギ」に点訳する。

３。 カギ類の種類。 点字には、次の３種類のカギ類の記号が有る。

カギ類の種類	このテキストの墨字記号	記号の点字	記号の点字の点構成	ＷｉｎＢＥＳの墨字入力	相川点訳の墨字入力
カギ 開く・閉じる	「 ～ 」	～	３６。 ３６。	「 」	「 」
２重カギ 開く・閉じる	『 ～ 』	～	５６。３６。 ３６。２３	「「 」」	[ ]
第２カギ 開く・閉じる	〈 ～ 〉	～	５。３６。 ３６。２。	「＿ ＿」	（無し）

説明１。「点構成」の欄の「５６。３６。」は、「点５と点６から成る点字」と「点５と点６から成る点字」の点字の組を表わす。「＿」キー＝「Ｓｈｉｆｔ」＋「ろ」。
説明２。「ＷｉｎＢＥＳの墨字入力」欄の記号（の組）を入力すると、その行の左の「記号の点字」欄の点字（の組）に、ＷｉｎＢＥＳのメニュー「ファイル」「開く」は、変換する。例えば 「＿ を に変換する。
説明３。点訳プログラムは色々有るが、
「このテキストの墨字記号」欄に、 「記号の点字」欄に対応する、すべての点訳プログラムに共通な記号を書き、
「ＷｉｎＢＥＳの墨字入力」欄に、 その記号点字に変換（点訳）する（ＷｉｎＢＥＳプログラムの場合の）墨字入力を書いた。

３の１。例。

カギ類の種類	このテキストの墨字記号の文例	ＷｉｎＢＥＳの墨字入力	相川点訳の墨字入力
カギ	「こんにちは」と言った。	「コンニチワ」ト□イッタ。	「コンニチワ」ト□イッタ。
２重カギ	『作業の目的』	「「サギ゛ョーノ□モクテキ」」	[サギ゛ョーノ□モクテキ]
第２カギ	〈保険の対象〉	「＿ホケンノ□タイショー＿」	（無し）

注意。「シタセン」「カギ閉じる」の２文字を続けて入力すると ＿」 と成る。上の表のでは、わかりやすくするために間に半角「スペース」を入れてある。

４。 ３種類のカギ類の使い分けの基本。（相川流）

基本。 「～『～〈～〉～』～」 ここで ～ は、文字列（語句や文など）を表わす

４ー２。「２重カギ開く・閉じる」のマスあけ規則。 ＷｉｎＢＥＳ は 『 』 を 「「 」」 に置き換えて入力。

規則	墨字	マスあけ規則（□ 、■の部分）	墨字の例	マスあけの例
１	『[語句] [語句]』	『■[語句] [語句]■』	『空が青い』	『■ソラガ□アオイ■』
３	[語句]。』 [語句]？』 [語句]！』	[語句]。■』 [語句]？■』 [語句]！■』	『空が青い。』 『はてな？』 『海がきれい！』	『ソラガ□アオイ。■』 『ハテナ？■』 『ウミガ□キレイ！■』
４	[語句]』。 [語句]』？ [語句]』！	[語句]』■。 [語句]』■？ [語句]』■！	要は『根気』。 『はてな』？ 『海がきれい』！	ヨーワ□『コンキ』■。 『ハテナ』■？ 『ウミガ□キレイ』■！
５	[語句][読点]』	[語句]■』	『しかし、』と言った	『シカシ■』ト□イッタ
６	[語句、記号]』[助詞]	[語句、記号]』■[助詞]	『しかし』と言った。 語句 助詞 『アッ！』と叫ぶ。 記号 助詞	『シカシ』■ト□イッタ。 助詞 『アッ！』■ト□サケブ。 助詞
	[語句、記号]』[助動詞]	[語句、記号]』■[助動詞]	問題は『実績』です。 助動詞	モンダイワ□『ジッセキ』■デス。 助動詞
	[語句、記号]』[自立語]	[語句、記号]』□[自立語]	『確認せよ』大切です。 名詞 （自立語の１種）	『カクニンセヨ』□タイセツデス。 名詞
７	[語句]『[語句]	[語句]□『[語句]	次は『中止』を押す。 語句	ツギワ □『チューシ』ヲ□ オス。 語句
	[文]。『[語句]	[文]。□□『[語句]	困った。『エッ』と叫ぶ 文（述語が有る）	コマッタ。□□『エッ』ト□サケブ
	[語句]。『[語句]	[語句]。□『[語句]	注意。『中止』を押す	チューイ。□『チューシ』ヲ□オス
８	[語句]』『[語句]	[語句]』□『[語句]	『変数』『定数』	『ヘンスー』□『テイスー』

４－３。２重カギ　の点訳例。

墨字の例文。　彼は「それは『変数』です」と言った。
点訳。　カレワ□「ソレワ□『 ■ヘンスー■ 』デス」ト□イッタ。
ＷｉｎＢＥＳ入力墨字。　カレワ□「ソレワ□「「■ヘンスー■ 」」デス」ト□イッタ。
相川点訳の入力墨字。　カレワ□「ソレワ□［ ■ヘンスー■ ］デス 」ト□イッタ。
代用の墨字入力（項目７）。　カレワ□「ソレワ□「 ■ヘンスー■ 」デス」ト□イッタ。

５。第２カギの点訳規則。

『３。「カギ」のマスあけ規則』において、「カギ開く・閉じる」を「第２カギ開く・閉じる」に置き換えた規則。	例	「カギ」の点訳規則。　「 ■ [語句] ～ [語句] ■ 」 「第２カギ」の点訳規則。　〈 ■ [語句] ～ [語句] ■ 〉
		「カギ」の点訳規則。　「 ～ [語句] 」■ [助動詞] 「第２カギ」の点訳規則。　〈 ～ [語句] 〉■ [助動詞]

６。　３種類のカギ類を含む文の点訳の手順。（相川流）

手順１。文字はカギ類でも、働きが「カッコ類」の時は、「カッコ類」に置き換える。

カッコ類、カギ類の記号。
「 」『 』（ ）{ } [ ] 〔 〕〈 〉《 》【 】＜ ＞ ≪≫ ”” ’’

手順２。 墨字文の各カッコが３種類のカッコ類の、どれであるかを判定する。

「カギ類の開く・閉じる」の間に「カギ類の開く・閉じる」が有る時は、
もっとも外側の「カギ類の開く・閉じる」の働きの記号は、「カギの開く・閉じる」に点訳し、
その内側の「カギ類の開く・閉じる」の働きの記号は、「２重カギの開く・閉じる」に点訳し、
さらに内側の「カギ類の開く・閉じる」の働きの記号は、「第２カギ類の開く・閉じる」に点訳する。

墨字の例文。　私は「佐藤君が『渡辺君に〈今日遊びに来いよ〉と言ってくれ』と言っていた」と、渡辺君に伝えた。
を判定する。　｜＿＿内内側＿＿＿｜
｜＿＿＿＿＿＿＿　内側　＿＿＿＿＿＿｜
｜＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　外側　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿｜

カギ類の構文の説明。　「佐藤～いた」　は、最も外側の文字列です。そのすぐ内側に　『渡辺～くれ』　の文字列が有る。さらに、その内側に　〈今日遊びに来いよ〉　の文字列が有る。

墨字の例文のマスあけ。　後で述べる項目６による。

手順３。　墨字の例文の点訳。　ワタシワ□「サトー□クンガ□『ワタナベ□クンニ□〈キョー□アソビニ□コイヨ〉ト□イッテ□クレ』ト□イッテ□イタ」ト□ワタナベ□クンニ□ツタエタ。

手順４。　Ｗｉｎ－ＢＥＳの点訳の墨字入力。

次のように入力すると、ＷｉｎＢＥＳがカッコ類を、上の「墨字の例文の点訳」に対応する点字に点訳する。
ワタシワ□「サトー□クンガ□「「ワタナベ□クンニ□「 __キョー□アソビニ□コイヨ__ 」ト□イッテ□クレ」」ト□イッテ□イタ」ト□ワタナベ□クンニ□ツタエタ。

７。代用の墨字入力。　「２重カギ」や「第２カギ」の点字に点訳できない点訳プログラムの墨字入力。（相川流）

今の「カギ」は何段内側の「カギ」の「開く」か「閉じる」かを意識しながら読むと、「２重カギ」や「第２カギ」を使わない点訳でも、読める。
ワタシワ□「サトー□クンガ□「ワタナベ□クンニ□「 キョー□アソビニ□コイヨ 」ト□イッテ□クレ」ト□イッテ□イタ」ト□ワタナベ□クンニ□ツタエタ。

９。　全国の点訳講習会のテキストの中の、２重カギと第２カギの点訳規則。

規則	墨字の例。	点訳の例。	そのＷｉｎＢＥＳ墨字入力
場合１。『 』　が有る本では、『 』　を２重かぎに点訳する。“ ”〈 〉を第２カギに点訳する。	『配列要素』は“ 変数 ”の１種です	『ハイレツ□ヨーソ』ワ□〈ヘンスー〉ノ□１シュデス。	「「ハイレツ□ヨーソ」」ワ□「 __ヘンスー__]ノ□１シュデス。
場合２。『 』　が無い本では、“ ”〈 〉を２重カギに点訳する。	〈配列要素〉は“ 変数 ”の１種です	《ハイレツ□ヨーソ》ワ□《ヘンスー》ノ□１シュデス。	《ハイレツ□ヨーソ》ワ□《ヘンスー》ノ□１シュデス。

相川の意見。実際の墨字の本の、カギ類の働きの記号として、‘ ’ “ ” 〈 〉 [ ] などいろいろな記号が使われていて、内外の区別もばらばらです。この規則は、墨字の記号に忠実だが、内外の区別がわかりにくい。高齢者が読めない可能性を増やす点訳方法です。項目４～５の相川方式が良い。

３節。カッコ類。

１。　働き。　カッコで囲んだ文や語句は、すぐ前（左）の語句や文を説明する。

例。　文　『大人（１５歳以上）の料金は４００円です』において、カッコの中の語句『１５歳以上』は、すぐ前の語句『大人』　を説明する。

（比較。　カギの働き。　カギ類の記号は、語句や文やセリフの文字範囲を区切る働きをする。）

２。　「カッコ開く・閉じる」のマスあけ規則。

規則	墨字	マスあけ規則 （□ 、■の部分）	墨字の例文	墨字の例文のマスあけ
１	（ [語句] [語句] ）	（ ■ [語句] [語句] ■ ）	オイル（油）をさす 主食（米と麦）です。	オイル（ ■アブラ■ ）ヲ□サス シュショク（■コメト□ムギ■）デス。
３	[語句] 。） [語句]？） [語句]！）	[語句] 。■ ） [語句] ？■ ） [語句] ！■ ）	成績（６５点。） 成績（６５点？） 成績（６５点！）	セイセキ（６５テン 。■ ） □セイセキ（６５テン？■ ） □セイセキ（６５テン！■ ）
４	[語句]）。 [語句]）？ [語句]）！	[語句] ）■ 。 [語句] ）■ ？ [語句] ）■ ！	成績（６５点）。 成績（６５点）？ 成績（６５点）！	□セイセキ（６５テン）■ 。 □セイセキ（６５テン）■ ？ □セイセキ（６５テン）■ ！
５	[語句] [読点] ）	[語句] ■ ）	ここで（しかし 、） 探した	ココデ（シカシ■ ）　サガシタ
６	[語句､記号] ）[助詞]	[語句､記号] ）■ [助詞]	オイル（油）をさす。 助詞	オイル（アブラ）■ ヲ □ サス。 助詞
	[語句､記号] ）[助動詞]	[語句､記号] ）■ [助動詞]	オイル（油）です。 助動詞	オイル（アブラ）■ デス。 助動詞
	[語句､記号] ）[自立語]	[語句､記号] ）□ [自立語]	オイル（油）ベンゼン 名詞 （自立語の１種）	オイル（アブラ）□ ベンゼン 名詞
７	[語句]（ [語句]	[語句] ■（ [語句]	液体（水など）が有る	エキタイ■（ミズナド）ガ □アル
	[文] 。（ [語句]	[文] 。□□（ [語句]	彼は泳いだ 。（１着） 文（述語が有る）	カレワ□オヨイダ 。□□（１チャク）
	[語句] 。（ [語句]	[語句] 。□（ [語句]	３４条 。（目的） 語句	３４ジョー 。□（モクテキ）
	[行変え]（ [語句、文]	[行変え]（ [語句､文]	[行変え]（油）を差した。	[行変え]（アブラ）ヲ□サシタ。
８	[語句､記号] ）（ [語句]	[語句､記号] ）□（ [語句]	引数（変数）（定数）	ヒキスー（ヘンスー）□（テイスー）
９	[外引閉]（ [外引閉] ） 外国語引用符閉じ	[外引閉] □（ [外引閉] □ ）	ｈａｒｄ　ｄｉｓｋ （ハード　ディスク） 説明。うしろの　”　は、ＷｉｎＢＥＳによって[外引閉]に点訳。	ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ□（ハード□ディスク）　または ”ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ”□（ハード□ディスク） 説明。ＷｉｎＢＥＳはどちらでも良い。相川点訳は第１訳だけ。
１０	[語句] 、（ [語句]	[語句] □（ [語句]	反転 、（リバース ）	ハンテン □（ リバース ）

項目１０の説明。　読点「 、」を削って点訳する。

項目８の説明。　）（　の間は１マス空けて点訳する。　理由。　引数（変数）（定数）　を　ヒキスー（ヘンスー）（テイスー）　と点訳すると、　）　も　（　も、「点２、３、５、６点字」に点訳される。その点字２個を並べた点字列は、点訳者注記符の点訳と同じだから、読み誤る恐れがある。

（注意。　ＷｉｎＢＥＳは、墨字入力　（ヘンスー）（ハイレツ）　を、自動的にマスあけを１マス挿入して、　（ヘンスー）□（ハイレツ）　の点訳と同じ点字列に変換する。しかし、自分でマスあけして入力する。理由は１節項目６の１注意。　理由１。他の点訳プログラムと共通に使えるために。理由２。項目３以下の「カッコ」「２重カッコ」「第２カッコ」の「開く・閉じる」の２個が隣り合う墨字入力を、ＷｉｎＢＥＳは自動マスあけ挿入をしないのに、すると勘違いするのを防ぐため）

２。　第２カッコと２重カッコを、なるべく使わない。（相川流）
３。　次の１行目の３種類のカッコ類は、内外のレベルが同じだから２行目に置き換えてから点訳する。（相川流） 墨字例文。　佐々木（会社員）【岡山県】《糖尿病》。 置き換え。　佐々木（会社員）（岡山県）（糖尿病）。 点訳。　ササキ（カイシャイン）□（オカヤマケン）□（トーニョービョー）。　（ＷｉｎＢＥＳ、相川点訳とも）

３－２節。　２重カッコと第２カッコ。

ここから３－２節終わりまでは、初めは読まない。わかりにくく、初めは、使わないため。

３。　カッコ類の種類。　点字には、次の３種類のカッコ類の記号が有る。

カッコ類の種類	このテキストの記号	記号の点字	記号の点字の点構成	ＷｉｎＢＥＳの墨字入力	相川点訳の墨字入力
カッコ開く・閉じる	（　～　）	～	２３５６。　２３５６。	（　　）	（　）
２重カッコ開く・閉じ	【　～　】	～	５６。２３５６。　２３５６。２３。	（（　　））	｛　｝
第２カッコ開く・閉じ	《　～　》	～	５。２３５６。　２３５６。２。	（＿　＿）	(無し)

説明１。「点構成」の欄の「５６。」は「点５と点６から成る点字」を表わす。「＿」キー＝「Ｓｈｉｆｔ」＋「ろ」。「２重カッコ開く・閉じる」の相川点訳の墨字入力は「中カッコ開く・閉じる」です。

説明２。「ＷｉｎＢＥＳの墨字入力」欄の記号（の組）を入力すると、その行の左の「記号の点字」欄の点字（の組）に、ＷｉｎＢＥＳのメニュー「ファイル」「開く」は、変換する。例えば『（＿』を入力すると、『　　』に変換する。

説明３。「このテキストの記号」欄の記号　（　）　【　】　《　》　は、すべての点訳プログラムに共通な規則を書き表すために必要です。

３の１。例。

カッコ類の種類	このテキストの記号	墨字文の例	ＷｉｎＢＥＳの墨字入力	相川点訳の墨字入力
カッコ	（　～　）	（資料の分析）	（シリョーノ□ブンセキ）	（シリョーノ□ブンセキ）
２重カッコ	【　～　】	【食品成分】	（（ショクヒン□セイブン））	｛ショクヒン□セイブン｝
第２カッコ	《　～　》	《実際の数値》	（＿ジッサイノ□スーチ＿）	(無し)

注意。「下線」「カッコ閉じる」の２文字を続けて入力すると　＿）　と成る。上の表のでは、わかりやすくするために間に半角「スペース」を入れてある。

４。　３種類のカッコ類の使い分けの基本。　（相川流）

基本。　（　～　【　～　《　～　》　～　】　～　）　ここで　～　は、文字列（語句や文章など）を表わす。

４－２。「２重カッコ開く・閉じる」のマスあけ規則。　ＷｉｎＢＥＳ　は　【　】　を　（（　））　に置き換えて入力。

規則	墨字	マスあけ規則（□、■の部分）	墨字の例文	墨字の例文のマスあけ
１	【[語句] [語句]】	【■[語句] [語句]■】	オイル【油】をさす 主食【米と麦】です。	オイル【■アブラ■】ヲ□サス シュショク【■コメト□ムギ■】デス。
３	[語句]。】 [語句]?】 [語句]!】	[語句]。■】 [語句]?■】 [語句]!■】	成績【６５点。】 成績【６５点?】 成績【６５点!】	セイセキ【６５テン。■】 □セイセキ【６５テン?■】 □セイセキ【６５テン!■】
４	[語句]】。 [語句]】? [語句]】!	[語句]】■。 [語句]】■? [語句]】■!	成績【６５点】。 成績【６５点】? 成績【６５点】!	□セイセキ【６５テン】■。 □セイセキ【６５テン】■? □セイセキ【６５テン】■!
６	[語句､記号]】[助詞]	[語句､記号]】■[助詞]	オイル【油】をさす。 助詞	オイル【アブラ】■ヲ□サス。 助詞
	[語句､記号]】[助動詞]	[語句､記号]】■[助動詞]	オイル【油】です。 助動詞	オイル【アブラ】■デス。 助動詞
	[語句､記号]】[自立語]	[語句､記号]】□[自立語]	オイル【油】ベンゼン 名詞 【自立語の１種】	オイル【アブラ】□ベンゼン 名詞
７	[語句]【　[語句]	[語句]■【　[語句]	液体【水など】が有る	エキタイ■【ミズナド】ガ□アル
	[文]。【[語句]	[文]。□□【　[語句]	彼は泳いだ。【１着】 文（述語が有る）	カレワ□オヨイダ。□□【１チャク】
	[語句]。【[語句]	[語句]。□【[語句]	３４条。【目的】 語句	３４ジョー。□【モクテキ】
	[行変え]【[語句、文]	[行変え]【[語句､文]	[行変え]【油】を差した。	[行変え]【アブラ】ヲ□サシタ。
８	[語句､記号]】【[語句]	[語句､記号]】□【[語句]	引数【変数】【定数】	ヒキスー【ヘンスー】□【テイスー】
９	[外引閉]【 [外引閉]】 外国語引用符閉じ	[外引閉]□【 [外引閉]□】	ｈａｒｄ　ｄｉｓｋ【ハード　ディスク】 説明。うしろの　”	ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ□【ハード□ディスク】　または ”ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ”□【ハード□ディスク】

			は、ＷｉｎＢＥＳによって[外引閉]に点訳。	説明。ＷｉｎＢＥＳはどちらでも良い。相川点訳は第１訳だけ。
１０	[語句] 、【 ～ 】	[語句] □【 ～ 】	反転 、【リバース 】	ハンテン □【 リバース 】

４ー３。　２重カッコ　の点訳例。

墨字の例文。　天気（晴れかと確率（雨の）など）を聞いた。

点訳。　テンキ（ハレカト□カクリツ【アメノ】■ナド）ヲ□キイタ。

ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。　テンキ（ハレカト□カクリツ（（ アメノ ））■ナド）ヲ□キイタ。

相川点訳の墨字入力。　テンキ（ハレカト□カクリツ｛ アメノ｝■ナド）ヲ□キイタ。

代用墨字入力(項目７)。　テンキ（ハレカト□カクリツ（ アメノ ）■ナド）ヲ□キイタ。

４ー４。　第２カッコ　の点訳規則。

『２。カッコのマスあけ規則』に　おいて、[カッコ開く・閉じる]を[第２カッコ開く・閉じる]に置き換えた規則。	例	「カッコ」の点訳規則。　（ ■ [語句] ～ [語句] ■ ） 「第２カッコ」の点訳規則。　《 ■ [語句] ～ [語句] ■ 》
		「カッコ」の点訳規則。　(～ [語句]) ■ [助詞] 「第２カッコ」の点訳規則。　《 ～ [語句] 》■ [助詞]

６。　３種類のカッコ類を含む文の点訳の手順。　（相川流）

手順１。文字はカッコ類でも、働きが「カギ類」の時は、「カギ類」に置き換える。

手順１。	手順１の作業例。
１。カッコ類かを判別。 ２。墨字ではカッコ類の記号でも、「働き」が「語句や文の範囲を区切る」ならば、カギ類に置き換えてから ３。点訳する。	墨字の例文。　ここで［開く］をクリックする。 １。判別。　［ ］　はカッコ類（大カッコ）だが、『［開く］』は直前の言葉『ここで』を説明は、しない。［ ］ は、語句『開く』を区切るからカギ類の働きをする。 ２。置き換え。　ここで「開く」をクリックする。 ３。点訳。　ココデ□「ヒラク」ヲ□クリックスル。

手順２。 墨字文の各カッコが３種類のカッコ類の、どれであるかを判定する。

「カッコ類の開く・閉じる」の間に「カッコ類の開く・閉じる」が有る時は、
もっとも外側の「カッコ類の開く・閉じる」の働きの記号は、　「カッコの開く・閉じる」　（ ）　に置き換える。
その内側の「カッコ類の開く・閉じる」の働きの記号は、「２重カッコの開く・閉じる」　【 】　に置き換える。
さらに内側の「カッコ類の開く・閉じる」の働きの記号は、「第２カッコの開く・閉じる」　《 》　に置き換える。

墨字の例文。　生活必需品（食料（主食（米やパン）と副食（野菜と肉と魚））とガス（都市ガスやプロパン）と電気など）を判定する。

```
                    |__内内側__|      |__ 内内側__|
                |_____________ 内側 _____________|      |____ 内側 _____|
        |_____________________ 外側 ____________________________________|
```

説明。『（米やパン）』は『主食』の説明。『（野菜と肉と魚）』は『副食』の説明。『（主食～（野菜と肉と魚））』は『食料』の説明。『（都市ガスやプロパン）』は『ガス』の説明。『（食料～と電気など）』は『生活必需品』の説明。

どの　(～)　も、すぐ左の語句の説明です。どれも『カッコ類の働き』だから、『カッコ類』の点字に点訳する。

カッコ類を、外側と内側と内内側の区別によって、　（ 【〈 〉】）　に置き換える。

生活必需品（ 食料【 主食〈 米やパン 〉と副食〈 野菜と肉と魚 〉】とガス【 都市ガスやプロパン 】と電気など ）

手順３。 点訳する。
手順３の１。隣り合う２個のカギ類やカッコ類の間をマスあけする。

墨字の例文の点訳。　セイカツ□ヒツジュヒン（ ショクリョー【 シュショク《 コメヤ□パン 》ト□フクショク《 ヤサイト□ニクト□サカナ 》□ 】ト□ガス【トシ□ガスヤ□プロパン 】ト□デンキナド ）

注意。　サカナ 》□ 】　の□は、２個のカッコ類　》　】　が隣り合うためのマス空けです。理由は項目５規則３。

規則３の理由。　２個のカギ類やカッコ類の点字を隣り合わせて書くと、別の記号と読み誤れることが有るため。墨字入力文では区別できるが。

手順４。　Ｗｉｎ－ＢＥＳの点訳の墨字入力。

次のように入力すると、ＷｉｎＢＥＳがカッコ類を、上の「墨字の例文の点訳」に対応する点字に点訳する。

セイカツ□ヒツジュヒン（ ショクリョー（（ シュショク（ __ コメヤ□パン __ ）ト□フクショク（ __ ヤサイト□ニクト□サカナ __ ）□ ））ト□ガス（ （トシ□ガスヤ□プロパン ））ト□デンキナド ）

７。代用の墨字入力。　「２重カッコ」や「第２カッコ」を代用する墨字入力。（相川流）

点訳プログラム「ＷｉｎＢＥＳ」には、「２重カッコ開く・閉じる」に対応する墨字入力が備わっているが、計算機点字（パソコンのプログラム・リストの点訳用の点字表記）の点訳はできない。

プログラム・リストを含む参考書の点訳には、「２重カッコ開く・閉じる」に対応する墨字入力が備わっていないが、計算機点字の墨字入力が備わっている点訳プログラムを使って、

次の例のように、「２重カッコ開く・閉じる」を「カッコ開く・閉じる」に置き換えて入力すると、規則３に助けられて、今のカッコは何レベル内側かを意識しながら、盲人が頭の中で「カッコ開く・閉じる」の点字を、

「３の１。３種類のカッコ類の判定方法。」によって３種類のカッコの、どれかに置き換えて理解することができる。

墨字文。　天気（晴れかと確率（雨の））を聞いた。

代用の墨字入力。　点訳。　テンキ（ ハレカト□カクリツ（ アメノ ）□ ）ヲ□キイタ。

置き換え。　テンキ（ ハレカト□カクリツ【 アメノ 】□ ）ヲ□キイタ。

　ＷｉｎＢＥＳの墨字入力。　テンキ（ ハレカト□カクリツ（（ アメノ ））□ ）ヲ□キイタ。
盲学校で「２重カッコ」や「第２カッコ」を教わらなかった高令の盲人も読める。
２重カギや第２カギについても、同じことが言える。

４節。　点訳者注記符。

１。働き。　同音異義語を区別するためや、略語の説明などを書く。

２。例。　２－１。同音異義語の例。　「私立高校に通う」と「市立高校に通う」は、どちらも、点訳すると「シリツ　コーコー」に成るが、区別するために、「ワタクシリツ」や「イチリツ」を、両端に〔点訳註開く〕の点字　　と〔点訳註閉じる〕の点字　　によって挟んで、「シリツ」のすぐあとに挿入する。〔点訳註開く〕と〔点訳註閉じる〕は、どちらも「点２、３、５、６から成る点字」２個１組です。

点訳。　シリツ〔点訳註開く〕ワタクシリツ〔点訳註閉じる〕□コーコーニ□カヨウ。

点字入力なら　シリツ　ワタクシリツ　□コーコーニ□カヨウ。

ＷｉｎＢＥＳと相川点訳の墨字入力なら。　シリツ（ ）ワタクシリツ（ ）□コーコーニ□カヨウ。

と入力する。「開く」と「閉じる」が、同じ点字です。

２－２。略語の例。　「東証に上場した」を、点訳註を挿入して、次のように点訳する。

トーショー（ ）トーキョー□ショーケン□トリヒキショ（ ）ニ□ジョージョーシタ。

３。ＷｉｎＢＥＳ入力の注意。

結論。　この　（ ）　の代わりに、①（（　②　））③　）（　　（２文字１組の３組）を、どれも使えない。

理由。ＷｉｎＢＥＳは、①を「２重カッコ開く」点字、②「２重カッコ閉じる」点字、③を「カッコ閉じる」□「カッコ開く」の点訳と同じ点字列、に変換するので使えない。

例。　（コメ）（ムギ）　をＷｉｎＢＥＳは自動的にマスあけを入れて、　（コメ）□（ムギ）　と同じ点字に変換する。

しかし　（コメ）□（ムギ）　を使う。理由。他の点訳プログラムと共通に使えるために。

４。「カッコ」と違う点。　「カッコ」で囲んだ部分は、墨字の文章に、もともと有る説明語句。「点訳註」で囲んだ部分は、墨字の文章に、無い説明語句。

５。マスあけ規則。　３節の項目２の「カッコ開く」「カッコ閉じる」を「点訳註開く」「点訳註閉じる」に置き換えるだけ。

６。やりすぎ。「岡山市立商業高校」や「倉敷市立工業高校」の場合は、文脈から「イチリツ」とわかるから、点訳註は不要。

４－１節。指示符類。

１。使い方。墨字文に、「アンダーライン付き文字列」や「傍線つき文字列」や「傍点を付けた文字列」や「斜体(イタリック)文字列」や「太字文字列」が有る時に、アンダーラインや傍点などの代わりに、その文字列の両端を、指示符で囲んで点訳する。

２。３種類の使い分け。第１指示符は、傍点、第２指示符は下線付き、第３指示符は、２重下線付き、のように使い分ける。どの墨字記号（傍点、下線付き、２重下線付き、など）を、どの点字記号（第１指示符、第２指示符、第３指示符）に点訳するかは、点訳する文章に現れる墨字記号の種類を考えて、点訳者が決める。

２－１。点訳する文章に、指示符に点訳すべき墨字記号（傍点、下線付き、２重下線付き、太字　など）が１種類しか無い場合は、第１指示符に点訳する。　理由。第１指示符の「開く」と「閉じ」は２マス点字だが、第２と第３は３マス点字だから。

３。マスあけ規則。　カギと同じ。（２－１節）

４。不要な場合。　前後をカナ語句によって囲まれたカナ語句に傍点をつけて有る時は、カナ語句の境を強調するための傍点だから、指示符を使う必要は無い。　点字はマスあけするので、語句の境がわかるため。（次の表の５行目を参照）

	墨字	点訳（ＷｉｎＢＥＳ）	墨字例文	墨字例文の点訳（ＷｉｎＢＥＳ）
第１指示符	例。　傍点付き[語句や文]	[[語句や文]]	ここで結論と理由を考える	ココデ□［ケツロント□リユー］ヲ□カンガエル。
第２指示符	例。　下線付き[語句や文]	[[[語句や文]]]	ここで結論と理由を考える	ココデ□［［ケツロント□リユー］］ヲ□カンガエル。
第３指示符	例。　２重下線付き[語句や文]	[__ [語句や文]__]	ここで結論と理由を考える	ココデ□［ __ケツロント□リユー__ ］ヲ□カンガエル。
指示符の不要な例	[かな語句] [傍点付きかな語句] [かな語句]	[かな語句] □ [かな語句] □ [かな語句]	このけじめがわからない。 （説明。かな文章の中に、「けじめ」が隠れているのを、傍点で明示するだけ）	コノ□ケジメガ □ ワカラナイ。 （説明。「けじめが」の前後に、マスあけが有るために、「けじめが」が明示されるので、指示符の点字は不要）

４ー２節。　カギ類、カッコ類、指示符類、点訳者注の、２個の記号の間のマスあけ。

カギ類（カギ。２重カギ。第２カギ）、
カッコ類（カッコ。２重カッコ。第２カッコ）、
指示符類（第１、第２、第３指示符）、
点訳者註　　の　「開く」「閉じる」（全部で２０種類）の内の、
２個が隣り合うときは、　間をマスあけする。

例。　２節規則８、３節規則８、２－２節項目５規則３、３－２節項目５規則３　の例を参照。

墨字の例文１。　彼は「『変数』は大文字です」と言った。
点訳。　カレワ　「□『ヘンスー』ワ□オオモジデス」ト□イッタ。
説明。　「□『　の　□　が、隣り合うことによる　□　です。
ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。　カレワ□「□「「ヘンスー」」ワ□オオモジデス」ト□イッタ。
相川点訳の墨字入力。　カレワ□「□［ヘンスー］ワ□オオモジデス」ト□イッタ。
代用の墨字入力（項目７）。カレワ□「□「ヘンスー」ワ□オオモジデス」ト□イッタ。

墨字の例文２。　天気（ 晴れかと確率【 雨の 】）を聞いた。
点訳。　テンキ（ハレカト□カクリツ【アメノ】□ ）ヲ□キイタ。
説明。　】□ ）　の　□　が、隣り合うことによる　□　です。
ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。　テンキ（ハレカト□カクリツ（（ アメノ））□）ヲ□キイタ。
相川点訳の墨字入力。　テンキ（ハレカト□カクリツ｛ アメノ｝□ ）ヲ□キイタ。
代用の墨字入力（項目７）。テンキ（ハレカト□カクリツ（ アメノ）□ ）ヲ□キイタ。

４ー３節。　矢印類（左矢印。右矢印。両矢印）。

２。点訳規則。

規則	墨字	マスあけ	墨字原文	墨字入力
１	[語句] [矢印] [語句]	[語句] □ [矢印点字] □ [語句]		
← → ⇔	[語句] ← [語句] [語句] → [語句] [語句] ⇔ [語句]	[語句] □ コーー □ [語句] [語句] □ ーータ □ [語句] [語句] □ コーータ □ [語句]	結果 ← 原因 原因 → 結果 男 ⇔ 女	ケッカ □ コーー □ ゲンイン ゲンイン □ ーータ □ ケッカ オトコ □ コーータ □ オンナ
２	[行頭] [矢印] [語句]	[行頭] [矢印点字] □ [語句]	原因 [行変え] → 結果	ゲンイン ーータ □ ケッカ
３	[語句] [矢印] [行末]	[語句] □ [矢印点字] [行末]	原因 → [行変え] 結果	ゲンイン □ ーータ ケッカ

規則１～３の説明。　ーー　は［長音］２個を表わす。
規則２の説明。　[矢印]　は　←　→　⇔　　の、３個の、どれかを表わす。
[矢印点字]　は、　コーー　　ーータ　　コーータ　　の、３組の、どれかを表わす。

５節。 アルファーベット。

１。アルファーベットの点字。　注意。「外国語引用符開く・閉じ」を、相川点訳では使えない。

記号(下の表で)	名前	点字	墨字文	墨字入力	点字入力。ＷｉｎＢＥＳ。相川点訳の点訳結果。
外	外字符	点５６。	ｔｅｘｔ	ｔｅｘｔ	外ｔｅｘｔ
大	大文字符	点６。	Ｔｅｘｔ ＴＥＸＴ Ｉ　ｒｕｎ．	Ｔｅｘｔ ＴＥＸＴ Ｉ　ｒｕｎ．	外大ｔｅｘｔ 外大大ｔｅｘｔ 外大ｉ　外ｒｕｎ．
[外引開]	外国語引用符開く	点２３６。	Ｉ　ｒｕｎ．	”Ｉ　ｒｕｎ．”	[外引開]大ｉ　ｒｕｎ．[外引閉]
[外引閉]	外国語引用符閉じ	点３５６。			

２。アルファーベットの点訳規則。　「墨字入力」欄の、「＊」は使わない（ＷｉｎＢＥＳ以外は使えないので）。
「英字」＝「アルファーベット」の略。　「点訳結果」欄で。　「外」＝「外字符」点字。「大」＝「大文字符」点字。

墨字文 墨字例文	マスあけ（墨字入力） 墨字例文の墨字入力。(他の点訳プログラムにも使える)	 点字入力。ＷｉｎＢＥＳの点訳結果。相川点訳の点訳結果。（　特に書いていないのは、３種類に共通）
[英字語句]	[英字語句]　（そのまま）	
ＮＨＫ	ＮＨＫ ｎｈｋ	外大大ｎｈｋ　６マス 外ｎｈｋ　４マス
Ｌｏｎｄｏｎ	Ｌｏｎｄｏｎ	外大ｌｏｎｄｏｎ
ｔｅｘｔ３．ｔｘｔ	ｔｅｘｔ３．ｔｘｔ	外ｔｅｘｔ３．外ｔｘｔ　（点字入力） 外ｔｅｘｔ３．□外ｔｘｔ（ＷｉｎＢＥＳの点訳結果） 外ｔｅｘｔ３．外ｔｘｔ　（相川点訳の点訳結果）
ｔｅｓｔ．ｔｘｔ	ｔｅｓｔ．ｔｘｔ	外ｔｅｘｔ．外ｔｘｔ　（点字入力） 外ｔｅｓｔ．□外ｔｘｔ　（ＷｉｎＢＥＳの点訳結果） 外ｔｅｘｔ．外ｔｘｔ　（相川点訳の点訳結果）
[英字][かな]	[英字]□[かな]	
Ｘ線 ＴＶ番組 Ｓ欄	Ｘ□セン ＴＶ□バングミ Ｓ□ラン	外大ｘ□セン 外大大ｔｖ□バングミ 外大ｓ□ラン
[英字語句][助詞]	[英字語句]□[助詞]	
Ｌｏｎｄｏｎに行った。	Ｌｏｎｄｏｎ□ニ□イッタ。	外大ｌｏｎｄｏｎ□ニ□イッタ。
[英字語句][助動詞]	[英字語句]□[助動詞]	
ここはＬｏｎｄｏｎです	ココワ□Ｌｏｎｄｏｎ□デス	ココワ□外大ｌｏｎｄｏｎ□デス
[カナ語句] [英字語句]	[カナ語句] □ [英字語句]	
ここはＬｏｎｄｏｎです	ココワ□Ｌｏｎｄｏｎ□デス	ココワ□外大ｌｏｎｄｏｎ□デス
[かな][英字]	[かな]□[英字]	
阿Ｑ正伝	アＱ□セイデン	ア外大ｑ□セイデン
[頭文字の略のピリオド]	(ピリオドを書かない)	
Ｕ．Ｓ．Ａ． Ｇ．Ｗ．ワシントン	ＵＳＡ Ｇ□Ｗ□ワシントン	外大大ｕｓａ 外大ｇ□外大ｗ□ワシントン
[カギ類・カッコ類・指示符類・点訳註の開く][英字]	[カギ類・カッコ類・指示符類・点訳註の開く]□[英字]	
「ｔｅｘｔ」と書く。 テキスト（ｔｅｘｔ）を	「□ｔｅｘｔ□」ト□カク。 テキスト（□ｔｅｘｔ□）ヲ	「□外ｔｅｘｔ□」ト□カク。 テキスト（□外ｔｅｘｔ□）ヲ
[英字][カギ類・カッコ類・指示符類・の閉じ]	[英字]□[カギ類・カッコ類・指示符類・点訳註の閉じ]	
「ｔｅｘｔ」と書く。 テキスト（ｔｅｘｔ）を	「□ｔｅｘｔ□」ト□カク。 テキスト（ □ｔｅｘｔ□ ）ヲ	「□ｔｅｘｔ□」ト□カク。 テキスト（ □外ｔｅｘｔ□ ）ヲ
[外引閉]（	[外引閉] □（	
ｈａｒｄ　ｄｉｓｋ（ハードディスク）	”ｈａｒｄ　ｄｉｓｋ”□（ハード　ディスク）	[外引開]ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ[外引閉]□（ハード□ディスク）
	ｈａｒｄ□ｄｉｓｋ□（ハード□ディスク）	外ｈａｒｄ□外ｄｉｓｋ□（ハード□ディスク）
[外引閉]）	[外引閉] □）	

注意。　Ｘセン　ＴＶバングミ　アＱセイデン　でも、ＷｉｎＢＥＳは上の点訳をするが、使わない。他の点訳プログラムに使えないので。　相川点訳は、　外ｔｅｘｔ３．外ｔｘｔ　外ｔｅｓｔ．外ｔｘｔ　に点訳する。

６節。ピリオド「．」。コンマ「，」。そのほかの記号文字の点訳と、ＷｉｎＢＥＳ用の墨字入力。

表　カナ文章記号の点字表　カギやカッコの「記号」欄は、このテキストが定めた記号を書いている。

	記号の名前	記号の凸点字	前後の墨字。（上段） 墨字例文（下段）	前後の墨字の点訳。（上段） 置き換え（中段が有る時だけ） ＷｉｎＢＥＳ墨字入力（下段） （右下スミの　？　はＷｉｎＢＥＳに使えることを表わす）	備考
？	、 読点	□ □	[カナ語句]、[カナ語句] 定数、変数	[カナ語句]□[カナ語句] テイスー□ヘンスー	「１マスあけ」または「２マスあけ」に置き換える（標準）
		□ ５６。□	[カナ語句]、[カナ語句] 定数、変数	[カナ語句]、□[カナ語句] テイスー、□ヘンスー　？	なるべく使わない)。
？	・ 中点	□ □	[カナ語句]・[カナ語句] 定数・変数	[カナ語句]□[カナ語句] テイスー□ヘンスー　？	「１マスあけ」に置き換える(標準)
		□ ５。□	[カナ語句] [カナ語句] 定数・変数	[カナ語句]・□[カナ語句] テイスー・□ヘンスー	なるべく使わない。
	ピリオド	２５６。	[数字][ピリオド][数字] ３．４５７	[数字][ピリオド][数字] ３．４５７	[ピリオド]が小数点の点字に点訳される。
			[カナ][ピリオド] ３．手順．キーを押す.	[カナ][句点] [置き換え]３。手順。キーを押す。 [入力] ３。□テジュン。□キーヲ□オス。	３個の「.」は「。」と同じ働きだから、 「.」を「。」に置き換えてから、点訳する。
			[数字][ピリオド][カナ] ３．手順．キーを押す.	[数字][句点][カナ] [置き換え]３。手順。キーを押す。 [入力] ３。□テジュン。□キーヲ□オス。	同上。
	コンマ		[カナ][コンマ][カナ] 定数，変数	[カナ]□[カナ] [置き換え]　定数、変数 [入力]テイスー□ヘンスー	この「コンマ」は読点と同じ働きだから、読点に置き換えてから,点訳する。

７節。 数学記号。　× ／ ＋ － ＾ ＝ ＞ ＜ ． ' ,

墨字記号	記号点字(凸点字)	墨字の形	墨字例文	ＷｉｎＢＥＳ相川点訳両用の墨字入力	相川点訳だけで使える墨字入力	備考。ＷｉｎＢＥＳは
× 掛け算	点１６。	[式]×[式]	１３×５	１３カ５	１３＊５	「＊」を点３点５点字２個に変換
／ 分数	点３４。	[式]／[式]	１３分の５	５／１３	５／１３	
÷ 割り算	点３４。点３４	[式]÷[式]	５÷１３	５／／１３	５／／１３	
＋ 加算(かさん)	点２６。	[式]＋[式]	５＋１３	５＋１３	５＋１３	
＋ プラス		＋[式]	＋５３	＋５３	＋１３	
－ 減算(げんさん)	点３５。	[式]―[式]	１３－５	１３ヲ５	１３－５	「－」（マイナス）を点３点６点字に変換。
－ マイナス		―[式]	－３５	ヲ３５	－３５	
＾ 冪乗(べきじょう)	点４５。	[式]の[式]乗	１３の５乗の記号	１３＾５	１３＾５	
＝ 等号(イコール)	点２５。点２５	[式]ー ー[式]	３＋５＝８	３＋５ーー８(長音２個)	３＋５＝８	
			１８－３＝１５	１８ヲ３＝１５	１８－３＝１５	
			元金×利率＝利息	(ガンキン)カ(リリツ)ーー(リソク)	(ガンキン)＊(リリツ)＝(リソク)	
＞ 大なり	点２６。点２６	[式]＞[式]	３５＞２４	３５＋＋２４	３５＞２４	＞ を別の点字に変換。
＜ 小なり	点３５。点３５	[式]＜[式]	１５＜２４	１５ヲヲ２４	１５＜２４	＞ を別の点字に変換。
＜ ＞			＜『カナ語句』＞ ＜式＞を定義する	墨字文。 ＜式＞を定義する 置き換え。 「 式 」を定義する 点訳(両用)。「シキ」ヲ□テイギスル		「 」に置き換えて点訳。
〈 〉 山カッコ開く・閉じる			〈[カナ語句]〉 〈式〉を定義する	墨字文。 〈式〉を定義する 置き換え。 「 式 」を定義する 点訳(両用)。「シキ」ヲ□テイギスル		「 」 に置き換えてから点訳。

[数][ピリオド][数]	[数][小数点の点字][数]	「ピリオド」が小数点の働き [小数点]＝ 点２点字。 [句点]＝ 点２５６点字。	
墨字入力	ＷｉｎＢＥＳの点訳結果	相川点訳の点訳結果	
３．５７ ３４． ．５７	３[小数点]５７ ３４[句点] [句点]□５７	３[小数点]５７ ３４[小数点] [小数点]５７	

注意。計算式の要素が「元金」のように言葉のときは、言葉をカッコで囲む。
（ と ） は点２３５６点字に変換される。

「小点」 は、 「[小数点点字]＝点２点字 の略。 「ピ点」 は、 ピリオド点字＝点２５６点字 の略。
[句点]＝点２５６点字。

	墨字文。 墨字文の例。	墨字入力。 墨字文の例の入力。	点訳結果	
小数点点字 点2。	[数][ピリオド][数] ３．５７	[数][ピリオド][数] ３．５７	[数][小数点点字][数] 数3[小数点点字]５７	
ピリオド点字 点２５６点字。	[英数字][ピリオド][英字] [英語文章] Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． または ”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．”	[英数字][ピリオド][英字] Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．	[英数字][ピリオド点字] [英字] Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ[ピリオド点字] [ピリオド点字]＝点２５６点字。	「ピリオド」が英文のピリオドの働き。
	[ファイル名] ｔｅｓｔ３．ｔｘｔ	ｔｅｓｔ３．ｔｘｔ ｔｅｓｔ３．ｔｘｔ	ｔｅｓｔ３．□ｔｘｔ （ＷｉｎＢＥＳ） ｔｅｓｔ３．ｔｘｔ （相川点訳）	
	[電子メールアドレス] @ｉｂｍ．ｃｏ．ｊｐ	@ｉｂｍ．ｃｏ．ｊｐ ＿[@ｉｂｍ．ｃｏ．ｊｐ＿]	@ｉｂｍ．ｃｏ．ｊｐ （ＷｉｎＢＥＳ） @ｉｂｍ．ｃｏ．ｊｐ （相川点訳） （計算機点字）	
句点 点字 点２５６点字	[数][ピリオド][カナ] ３．手順 ．キーを押す．	[数] [句点][カナ語句] [置き換え] ３。手順 。キーを押す。 [墨字入力] ３。□テジュン。□キーヲ□オス。	[数] [句点点字][カナ語句] ３。□テジュン。□キーヲ□オス。 [句点点字]＝点２５６点字。	「ピリオド」が句点の働き。
句点 点字 点２５６点字。	[カナ語句][ピリオド] ３．手順 ．キーを押す．	[カナ語句] [句点] [置き換え] ３。手順 。キーを押す。 [墨字入力] ３。□テジュン。□キーヲ□オス。	[カナ語句] [句点 点字] ３。□テジュン 。□キーヲ□オス 。	「ピリオド」が句点の働き。

’ アポストロフィ 点３点字。		’[数] ’８７	’[数] ’８７	[数符] [アポ] [数] [数符] [アポ] ８７	西暦１９８７年の略の点字。 「 ’」＝「7」＋Ｓｈｉｆｔ
， コンマ	点３点字	[数] [コンマ] [数] ２３，４５６，７８９ 3,4356,8914	[数] [コンマ] [数] ２３，４５６，７８９ ３，４３５６，８９１４	[数符][数][コンマ][数] [数符] ２３[コンマ]４５６[コンマ]７８９ [数符]3[コンマ]４３５６[コンマ]８９１４	３桁ごとの位取りの「，」 ４桁ごとの位取りの「，」
	□ □	[数] [コンマ] [数] ２３，４５６，３９	[数] □ [数] [置き換え）２３、４５６、３９ [点訳] ２３□４５６□３９		最後（３９）が２桁だから、位取りでない。 数の列記の区切り。 「，」が読点の働き。
	□ □	[カナ語句] [コンマ] [カナ語句] 定数 ，変数	[カナ語句] [読点] [カナ語句] [置き換え）定数 、変数 [点訳] テイスー□ヘンスー		「，」の働きが読点と同じだから 、読点に置き換えてから点訳する。

注意。計算式の要素が「元金」のように言葉のときは、言葉をカッコで囲む。
（ と ） は点２３５６点字に変換される。

８節。 英数記号。 ＃＄％＆＠￥｜＿ ～ ’；： ”” ＜ ＞ 〈 〉

記号	記号の名前。（上段） 記号をＷｉｎＢＥＳが点訳した点字（下段）	墨字の例文	墨字入力 (行末に(ＢＥＳ)。 ＷｉｎＢＥＳ用) (行末に(相川)。 相川点訳用) (行末に、無し。 両用)	墨字例文の条件。
＃	ナンバー。シャープ。 点５６。点１４６。	＃５３を取った。 車体＃を見た。	ナンバー□５３ヲ トッタ シャタイ□ナンバーヲ ミタ。	「＃」＋「数」 の時。 「＃」 が単独の時。
		＃は半音上げる。 ＃１個はト長調。	シャープワ□ハンオン□アゲル。 「シャープ」ワ□ハンオン□アゲル。 (どちらか) シャープ□１コワ□トチョーチョー。	「＃」が音楽記号「シャープ」の時。
＄	ドル。 ５６。１４５６。	１０＄を払った。 ＄１０を払った。	１０ドルヲ□ハラッタ。 １０ドルヲ□ハラッタ。	「ドル１０」とはしない。
％	パーセント。 点５６。１２３４。	２５％です。	２５パーセントデス。	
＆	アンド印。 （アンパサンド）。 点５６。点１２３４６。	魚＆肉。	サカナ□アンド□ニク サカナト□ニク （どちらか）	[カナ]＆[カナ]
		ＡＴ＆Ｔ	ＡＴ□アンド□Ｔ ＡＴ＆Ｔ （ＷｉｎＢＥＳ）	[英字]＆[英字]
＠	アット・マーク。単価。 点５６。点２４６。	鉛筆＠３７円	エンピツ□タンカ□３７エン	＠[値段] の時。
		＠ｉｂｍ.ｃｏ.ｊｐ	＠ｉｂｍ.ｃｏ.ｊｐ (＠ｉｂｍ. □ｃｏ. □ｊｐ と同じ点訳に成る。読むのに困らない程度の点訳) （ＢＥＳ）	電子メール・アドレスの時。 （注意。”＠ｉｂｍ.ｃｏ.ｊｐ”と入力するとＷｉｎＢＥＳは＠を外字符に点訳)
			＿[＠ｉｂｍ.ｃｏ.ｊｐ＿] (相川)	（注意。＿[＿] の間を計算機点字表記で点訳)
￥	エン・マーク 点５６。１２４６。	￥３７６を払った 鉛筆＠￥３７	３７６エンヲ□ハラッタ エンピツ□タンカ□３７エン	
｜	縦線 点４６。	定数｜変数｜配列	ヘンスー□テイスー□ハイレツ	「｜」の働き＝「、」。
＿	下線。アンダーライン。 アンダースコア 点４６。(下の註０)	＠ｉｂｍ＿ｊｐ	＠ｉｂｍ□シタセン□ｊｐ	(ＷｉｎＢＥＳ)
			＿[＠ｉｂｍ＿ｊｐ＿]	(相川点訳。＿[＿] の間を計算機点字表記で点訳)
～	波線（なみせん)。 (チルダ) 点６。点３。 (下の註０)	２７～３４ 岡山～名古屋	２７「」３４ オカヤマ「」ナゴヤ	「」 をＷｉｎＢＥＳは波線の２マス点字 ３６。３６。 に点訳する。
		２７～３４ 岡山～名古屋	２７～３４ (相川) オカヤマ～ナゴヤ (相川)	
		＠ｉｂｍ／～ｕｓｅ	＠ｉｂｍ／□チルダ□ｕｓｅ （ＢＥＳ）	電子メール・アドレスの中(使い道の例)
			＠ｉｂｍ／～ｕｓｅ （ＢＥＳ）	
			＿[＠ｉｂｍ／～ｕｓｅ＿]	(相川)
’	アポストロフィ 点３。	’９８	’９８	１９９８ の略記。 「’」=「7」＋Ｓｈｉｆｔ
；	セミコロン 点２３。(下の註０)	魚；肉；大豆	サカナ□ニク□ダイズ	「；」の働き＝「、」。
		働き；保存。	ハタラキ。□ホゾン。	「；」の働き＝「。」。
：	コロン 点５。点２。(下の註０)	３７：４５ 巨人：阪神	３７□タイ□４５ キョジン□タイ□ハンシン	「：」の働き＝「対」。 「：」の働き＝「対」。
		働き：保存。 巨人：５勝３敗。	ハタラキ。□ホゾン。 キョジン。□５ショー□３パイ。	「：」の働き＝「。」。
” ”	” ” 引用符 点２３６。。点３５６。(外国語引用符)	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ	”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ” (ＢＥＳ) Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ （ＢＥＳ，相川)	[英字２単語以上] の時。 （外国語引用符）に点訳 （ ” ”を）。
		ｙｏｕｔｈ または ”ｙｏｕｔｈ”	”ｙｏｕｔｈ” (ＢＥＳ)または ｙｏｕｔｈ （ＢＥＳ，相川）	”[英字１単語]” [英字１単語] の時。
		”関数”を定めた	「カンスー」ヲ サダメタ	”[カナ語句]” の時。

　註０。　この点字は読み誤れやすいので使わない。
　説明１。『＃』＋『数』　の場合。　この形のときは、＃を「ナンバー」に置き換えてから点訳する。
墨字例文。　彼はイギリス政府の＃３です。　車体＃を見た。
置き換え。　彼はイギリス政府のナンバー３です。　車体ナンバーを見た。
点訳。　カレワ　イギリス　セイフノ　ナンバー　３です。　シャタイ　ナンバーヲ　ミタ。
　説明２。『数』＋『＄』　の場合。　この形のときは、＄を「ドル」に置き換えてから点訳する。
墨字例文。　１０＄を払った。　手順１。「＄」を「ドル」に置き換える。
置換え。　１０ドルを払った。　手順２。マスあけ判定。「１０」＋「ドル」＝「数」＋「数量単位」　だから間を続ける。
点訳。　１０ドルヲ□ハラッタ。　手順３。「ドル」＋「を」＝「名詞」＋「助詞」　だから、間を続ける。
　説明３。　『数』＋『%』　の場合。
墨字例文。　国産は２５%です。　手順１。「%」を「パーセント」に置き換える。
置換え。　国産は２５パーセントです。　手順２。マスあけ。「２５」+「パーセント」=「数」+「数量単位」だから、間を続ける。
点訳。　コクサンワ　２５パーセントデス。　手順３。「パーセント」+「です」＝「名詞」+「助動詞」だから、間を続ける。
　パーセントが沢山有る時は、次の方法もある。
墨字例文。　賛成３５%、反対２６%、棄権１８%、保留７%、欠席１４%
点訳。　サンセイ□３５ｐ□ハンタイ□２６ｐ□キケン□１８ｐ□ホリュウ□７ｐ□ケッセキ１４ｐ
注意。　この２マス点字　５６。１２３４。　は　ｐ　の点訳と同じ。
　説明３４。　引用符。
　注意。“〔カナ〕”　。　次の墨字文は、　“～”　の中がカナだから、“　”をカナ記号　「 」　に置き換えて、点訳する。
墨字。　そこが“問題”です。
置き換え。　そこが「問題」です。
点訳。　ソコガ　「モンダイ」デス。
ソコガ　”アイウエオ”デス。　を、ＷｉｎＢＥＳは
ソコガ　〔外国語引用符開く〕ａｂｃｆｉ〔第２カギ閉じる〕デス。　に点訳する。
　説明５。　@　アット・マーク。
　１。単価。　鉛筆@３７円　を　「鉛筆」+「単価」＋「３７円」＝「名詞」+「名詞」+「名詞」　と考えて、マスあけする。
　２。電子メールとホームページのアドレス。　外国語引用符を使わないでそのまま書く。または、英数記号だけをカナで置き換える。
例１。　@ａｉｋａｗａ．ｏｋａｙａｍａ－ｕ．ａｃ．ｊｐ／～ｉｎｄｅｘ．ｈｔｍ　（ＷｉｎＢＥＳ）
＿[@ａｉｋａｗａ．ｏｋａｙａｍａ－ｕ．ａｃ．ｊｐ／～ｉｎｄｅｘ．ｈｔｍ＿]　（相川点訳）
例２。アットマーク　ａｉｋａｗａ．ｏｋａｙａｍａ　ハイフン　ｕ．ａｃ．ｊｐ　スラッシュ　チルダ　ｉｎｄｅｘ．ｈｔｍ
英数記号の呼び名は、ラジオで読み上げるやり方に合わせる。「．」（ピリオド）は「ドット」だが、そのままでも読み誤ることは無い。ＷｉｎＢＥＳは「英字」.「英字」　を「ピリオド」の次に「スペース」１個を挟んで、例２の入力を、次と同じに点訳する。
@ａｉｋａｗａ．□ｏｋａｙａｍａ－ｕ．□ａｃ．□ｊｐ／～ｉｎｄｅｘ．□ｈｔｍ
悪い例（ＷｉｎＢＥＳ）。　電子メールのアドレス全体を　”～”の形にして外国語引用符で囲むやり方はしない。@が削られて点訳されるため。
囲まない場合は、@を、点 56。点 246。の２マス点字に変換する。
　説明６。　￥　円・マーク。　「￥３７６を払った」は、「３７６円を払った」に置き換えてから、点訳する。「￥３７６」を、そのままの順序で「円３７６」と置き換えたのでは、この場合は困るので、順序を変える。
「@￥３７６」は「@３７６円」と「単価３７６円」に順に置き換えてから、「タンカ□３７エン」と点訳する。
「鉛筆@￥３７」は、「鉛筆@３７円」に置き換えてから「エンピツ□タンカ□３７エン」と点訳する。
　説明９。　～　波線。　～　をＷｉｎＢＥＳは、「２７～３４」「岡山～名古屋」の「～」の点訳の点字とは、別の点字に変換するので、ＷｉｎＢＥＳでは、「２７～３４」「オカヤマ～ナゴヤ」と入力しては、いけない。

９節。行頭禁止と行末禁止。

次の記号を、紙の左端から右端までに書いた、点字の１個の行の、左端（行頭）や右端(行末)に書いては、いけない。
行頭禁止。　」　）　『カギ類の閉じ』『カッコ類の閉じ』『指示符類の閉じ』『点訳註閉じ』　。　？　！
行末禁止。　「　（　『カギ類の開く』『カッコ類の開く』『指示符類の開く』「点訳註開く」
　点字入力でも墨字入力でも、点訳プログラムは、行頭禁止や行末禁止が起きないように点訳する。基本的には。

７節。 英語文章の点訳。

１。日本語文章の途中にちょっとアルファーベットや英語単語が表れる文章の点訳は、５節で間に合う。

２。この節では、英語の教科書や参考書のような、英語の文章がたくさん現れる文章の点訳の規則を述べる。

３。英語を点訳する方法は、主に次の２種類が有る。

３の１。方法１。「ベタ書き」。墨字のアルファーベットの１文字ずつを、点字に変換しながら点訳する点訳する方法です。日本語では「通信」という言葉は漢字では２文字で、点訳するとカナで[通信]の４マスで済む。ところが、「通信」の意味の英語「ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ」は、英字１個を点字１個に変換する点訳方法では、１３個の点字に点訳される。紙の１行の点字個数は最大３２個だから、１３個の点字は１行の半分近くを使うことに成る。

点字１個は「点の有る・無しの６個の組」だから、２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２＝６４種類ある。日本語はカナ５０音の４７個出６４種類の大部分が使われるが、英語はアルファーベット２６文字に別々の点字を使っても、残りの点字が沢山有るので、

３の２。方法２。「２級英語点字」。別名「２級点字」。基本的には、「べた書き」だが、頻繁に現れる「ｔｉｏｎ」などの英字列を、アルファーベットに使わない点字１個に変換する点訳方法です。

日本語では「通信」という言葉は漢字では２文字で、点訳するとカナで[通信]の４マスで済む。ところが、「通信」の意味の英語「ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ」は、英字１個を点字１個に変換する点訳方法では、１３個の点字に点訳される。紙の１行の点字個数は最大３２個だから、１３個の点字は１行の半分近くを使うことに成る。

点字１個は「点の有る・無しの６個の組」だから、２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２＝６４種類ある。日本語はカナ５０音の４７個で６４種類の大部分が使われるが、英語はアルファーベット２６文字に別々の点字を使っても、残りの点字が沢山有るので、頻繁に現れる「ｔｉｏｎ」などの英字列を、アルファーベットに使わない点字１個に変換する点訳方法です。

[外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[外引閉]

にＷｉｎＢＥＳは点訳する。

単語の個数の多い英字列は、少ないマス数の点字に変換する。

４。ＷｉｎＢＥＳによる英語文の点訳方法。

英語文。Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．

略記１。 「点訳結果」欄で、 外 ＝ [外字符]点字。 ａ ～ ｚ は外字符も大文字も無しのアルファーベットの点字を表わす。

説明２。 外字符オフ。「外字符オフ」とＷｉｎＢＥＳ画面の最下段に書いてある時は、英語点訳機能が、「アルファーベットを外字符点字を付けないで点訳する状態である」ことを表わす。書いてない時は「付ける状態」を表わす。

Ｃｔｒｌ＋Ｓｈｉｆｔ＋Ｆ１１ キーを押すたびに、オン。オフにかわるがわる成る。

説明３。 ２級オン。 「二級オン」とＷｉｎＢＥＳ画面の最下段に書いてある時は、英語点訳機能が、「英語文章を、縮字や略字の有る英字列を、入力の最後に（「Ｅｎｔｅｒ」キーの変わりに）「変換」キーを押して入力すると、縮字や略字を使う点訳をする状態である」ことを表わす。書いてない時は「使わない状態」を表わす。

方法１。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。 ”～” 無し。メニュー「設定」「入力設定」を「墨字」。

墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． 点訳結果。 外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ．

方法２。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。 ”～” 有り。メニュー「設定」「入力設定」を「墨字」。

墨字入力。 ”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．” 点訳。 [外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[外引閉]

方法３。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。 外字符オフ （Ｃｔｒｌ＋Ｓｈｉｆｔ＋Ｆ１１ キーを押すたびに、オン。オフにかわるがわる成る）

墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． 点訳。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．

方法４。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。 ２級オン （Ｃｔｒｌ＋Ｓｈｉｆｔ＋Ｆ１２ キーを押すたびに、オン。オフにかわるがわる成る）

墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． 点訳。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．

ｎｏｔａｔｉｏｎ［Ｅｎｔｅｒ］ ｎｏｔａｔｉｏｎ

ｎｏｔａｔｉｏｎ［変換］ ｎｏｔ（ａｔｉｏｎ） （ａｔｉｏｎ） は 英字5個「ａｔｉｏｎ」を縮めて表わす１個の点字（縮字）を、表わす。

方法５。 ”～” 無し。メモ帳のファイルを入力（ＷｉｎＢＥＳで開く）。「日本語に点訳」を選ぶ。 （方法１と同じ）

墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． 点訳。 外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ．

方法６。 ”～” 無し。メモ帳のファイルを入力（ＷｉｎＢＥＳで開く）。「英語に点訳」を選ぶ。 （方法３と同じ）

墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． 点訳。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．

ｎｏｔａｔｉｏｎ ｎｏｔａｔｉｏｎ

方法	ＷｉｎＢＥＳの編集画面に	メニュー「設定」「入力設定」	「外字符」オン・オフ	「２級点字」オン・オフ	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．の点訳結果	”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．”の点訳結果
１	キー入力	「墨字」	オン	オフ	外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ．	
２	キー入力	「墨字」	オン	オフ		[外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[外引閉]
３	キー入力	「墨字」	オフ	オフ	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．	

					キー入力の点訳結果	キー入力
４	キー入力	「墨字」		オン	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． ｎｏｔａｔｉｏｎ ｎｏｔ（ａｔｉｏｎ） （３行目は２級点字）	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[Ｅｎｔｅｒ] ｎｏｔａｔｉｏｎ[Ｅｎｔｅｒ] ｎｏｔａｔｉｏｎ[変換] （ａｔｉｏｎ） は縮字点字

方法	ＷｉｎＢＥＳの編集画面に	ファイルの種類	点訳途中の言語指定	ｎｏｔａｔｉｏｎ Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ． の点訳結果	ｎｏｔａｔｉｏｎ ”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．” の点訳結果
５	ファイル入力	テキストファイル	「日本語に点訳」	外ｎｏｔａｔｉｏｎ 外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ．	外ｎｏｔａｔｉｏｎ [外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[外引閉]
６	ファイル入力	テキストファイル	「英語に点訳」	ｎｏｔａｔｉｏｎ Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．	ｎｏｔａｔｉｏｎ [外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ．[外引閉]

６章。　行下げ。行移し。目次。扉（標題紙）。奥付け。

１節。本文の行下げ。

１。基本。　本文の大きい区切りほど、２マスずつ多く行頭から下げて書き始める。

２。例。本文の文章が、「段落」「項目番号」「節」「章」の順に大きい場合は、
「段落」の書き始めは、３マス目から。　「項目」の書き始めは、５マス目から。　「節」の書き始めは、７マス目から。
「章」の書き始めは、９マス目から。

理由。紙の上端の１～２マス目に指を当ててまっすぐ下向きに指を下げていって、次の「段落」の始めを探し当てる（３～４マス目なら「項目」の初め、５～６マス目なら「節」の初め、７～８マス目なら「章」の始め）ことが出来るから。
墨字では、１行の空白行を入れて文章の区切りを見やすくする働きが有るが、点字では無い。

３。例文。　□

説明。次の例文の中で、「章」は１～１２行目と１３～１４行目の、２個です。それらの初めの行（１行目「２章。～」と１３行目「３章。～」）は、９マス目から書き始める。
「節」は２～８行目と１４～１７行目と１９行目の３個です。それらの初めの行（２行目「１節。～」と１４行目「１節。～」と１９行目「１節。行頭～」）は、７マス目から書き始める。
「項目」は、３～６行目と、７～８行目と、１０～１１行目と、１２行目の４個です。それらの初めの行（３行目「１。数字と単位～」と７行目「２。数の書き方。」と１０行目「１。自立語～」と１２行目「２。付属語～」）は５マス目から書き始める。
「段落」は、３～６行目と７～８行目と１０～１１行目と１２行目の４個です。それらの初めの行（３、７、１０、１２行目）は、３マス目から書き始める。

２章。マスあけ規則。	章
１節。単語の中の書き方。	節　｜
１。数字と単位の書き方。	項目　｜　｜
数と単位の間は、続ける。「３５円」は「３５エン」と～	段落　｜　｜　｜
年月日の「～年」「～月」「～日」の間は、空ける。～	｜　｜　｜　｜
年号と「～年」の間は、空ける。～	」　」　｜　｜
２。数の書き方。	項目　｜　｜
１と１０と１００の位が０の数は「５３０００」はカナで「５マン　３ゼン」と書く。	段落　」　」　｜
２節。単語の間のマスあけ。	節　｜
１。自立語のすぐ左は、マス明けする。例えば～	項目　｜　｜
名詞のすぐ左は、マス明けする。　～	段落　」　｜　｜
２。付属語のすぐ左は、前の単語に続ける。	項目　」　」
３章。文の間のマスあけ。	章
１節。行頭禁止記号。	節　」

４。点訳。

```
□□□□□□□□２ショー。□マスアケ□キソク。
□□□□□□１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。
□□□□１。□スージト□タンイノ□カキカタ。
□□カズト□タンイノ□アイダワ□ツヅケル。□□「３５エン」ワ□「３５エン」ト。
ネンガッピノ□「～ネン」□「～ガツ」□「～ニチ」ノ□アイダワ□アケル。□□～
ネンゴート□「～ネン」ノ□アイダワ□アケル。□□～
□□□□２。□カズノ□カキカタ。
□□１ト□１０ト□１００ノ□クライガ□０ノ□カズワ□「５３０００」ワ□カナデ□「５マン□３ゼン」ト□カク。
□□□□□□２セツ。□タンゴノ□アイダノ□マスアケ。
□□□□１。□ジリツゴノ□スグ□ヒダリワ□マスアケスル。□□タトエバ□～
メイシノ□スグ□ヒダリワ□マスアケスル。□□～
□□□□２。□フゾクゴノ□スグ□ヒダリワ□マエノ□タンゴニ□ツヅケル。
□□□□□□□□３ショー。□ブンノ□アイダノ□マスアケ。
□□□□□□１セツ。□ギョートー□キンシ□キゴー。
```

２節。行移し（ぎょううつし）。

１。行移し。　紙に書く点字は、普通は、１行が３２マスに成っている。文章を点訳していくと、例えば「マエノ　タンゴニツヅケル。」ノ「マエノ」の「ノ」で紙の点字の３０マス目に成った時は、そのあとに「□タンゴニ」を続けて書くと３２マスを越えるので、「タンゴニ」からを、次の行の初めからに書いていく。この「次の行の初めからに書いていく」ことを「行移し」と呼ぶ。
「マエノ□タンゴニ」の「ノ」で３２マスに成った時はその行の右端に「マエノ□」を書いたつもりで、「タンゴニ」からを次の行の初めから書いていく。　「デス。□□シカシ□」の「。」で３２マス目や３１マス目に成った時は、その行の右端に「デス。□□」を書いたつもりで、次の行の１マス目から「シカシ」を書いていく。

２。点字器と点字タイプの行移し。　点字器と点字タイプの場合は、紙の行の右端の余白が少なくなってきたら、「残り余白は、何マスか」と「次に書く１区切りは点字何マスか」を自分の頭で計算しながら、点字を書いていく。

３。パソコン点訳の行移し。　日本ＩＢＭ社の「Ｗｉｎ－ＢＥＳ」や相川製作の点訳プログラムは、行移しを文章のどこですれば良いかを計算しながら点訳していくので、人間は行移しの心配をする必要が無い。

３節。目次。

１。目次は、大きい区切りほど、２マスずつ多く行頭から下げて書き始める。理由は１節と同じ。

３。目次の墨字例文。

```
　２章。マスあけ規則。
　１節。単語の中の書き方。
１。数字と単位の書き方。
２。数の書き方。
　２節。単語の間のマスあけ。
１。自立語のすぐ左は、マス明けする。
２。付属語のすぐ左は、前の単語に続ける。
　３章。文の間のマスあけ。
　１節。行頭禁止記号。
　２節。カッコと２重カッコと第２カッコの使い分け。
```

４。目次の点訳（見出しだけ）。

```
□□□□２ショー。□マスアケ□キソク。
□□１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。
１。□スージト□タンイノ□カキカタ。
２。□カズノ□カキカタ。
□□２セツ。□タンゴノ□アイダノ□マスアケ。
１。□ジリツゴノ□スグ□ヒダリワ□マスアケスル。
２。□フゾクゴノ□スグ□ヒダリワ□マエノ□タンゴニ□ツヅケル。
□□□□３ショー。□ブンノ□アイダノ□マスアケ。
□□１セツ。□ギョートー□キンシ□キゴー。
□□２セツ。□カッコト□２ジュー□カッコト□ダイ２□カッコノ□ツカイワケ。
```

５。目次の点訳（ページ番号の書き足し）。

５の１。ページ番号。そのあとで、その章や節の書き始めのページを、３２マスの右端に書く。

最大ページ番号が３桁の場合は、数符点字も入れて最長４マスだから、紙の行の右端から４マスに左詰（ひだりづめ）で書く（例えばページ番号が「１８」の時は、紙の１行が３２マスの時は、２９～３１マス目に「数符点字、１、８」の３個の点字を書く)。

最大ページ番号が４桁の場合は、数符点字も入れて最長５マスだから、２８～３２マス目に書く（ＷｉｎＢＥＳは最長５マスに固定されている。変更できない）。

理由。１節項目２の「理由」と同じ。

５の２。点線。　さらに、章や節の見出しの右端の点字と、ページの左端の点字の間が３マス以上あいていたら、空いている範囲の両端に１マスずつあけて、間のすべてのマス目に、墨字入力では「小文字ツ」（点字入力では、点２だけからなる点字）を書く。

理由。　次の枠の中の例文では、見出し「１セツ。　タンゴノ　ナカノ　カキカタ。」を指で触って読んでから、指を右へ少しづつ移していき、途中ですぐ上やすぐ下の行にずれないで、そのページ「１８」に指が確実にたどり着けるようにするため。

５の３。見出しの文字が「行の右端の、ページ番号（最大４桁）を書く４マス+１マスの２８～３２マス目」にかかる時は、そのすぐ左の「マスあけして良い位置から」を、次の行に移す。

例。次の枠の中の１１行目の「ツカイワケ。」を１０行目の右端に書くとページ番号範囲にかかるので、次の１１行目に行移しした。

５の４。１個の見出しが紙の２行以上になる場合。その見出しの１行目よりも２マス下げて、２行目以下を書く。

例。項目５の３の書き始めは、その見出しの書き始め（３マス目）よりも２マス下げて、５マス目から書く。

１個の見出しが紙の４行にわたる時は、その２～４行目を、１行目よりも２マス下げて、書く。

「－－－－－－－－見出し－－－－－－－　　「－－－点線－－－－－　「（ページ番号）

```
□□□□２ショー。□マスアケ□キソク。□ッッッッッッッッッッ□５
□□１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。□ッッッッッッッッッ□１８
１。□スージト□タンイノ□カキカタ。□ッッッッッッッッッッ□２３
２。□カズノ□カキカタ。□ッッッッッッッッッッッッッッ□２７
□□２セツ。□タンゴノ□アイダノ□マスアケ。□ッッッッッッッッ□３４
１。□ジリツゴノ□スグ□ヒダリワ□マスアケスル。□ッッッッッッ□３６
２。□フゾクゴノ□スグ□ヒダリワ□マエノ□タンゴニ□ツヅケル。□□４１
□□□□３ショー。□ブンノ□アイダノ□マスアケ。□ッッッッッッ□１０３
□□１セツ。□ギョートー□キンシ□キゴー。□ッッッッッッッッ□１０７
□□２セツ。□カッコト□２ジュー□カッコト□ダイ２□カッコノ
□□□□ツカイワケ。□ッッッッッッッッッッッッッッッッ□１２４
```

５の５。右端近くのページの「数符」点字が縦に並ぶようにしてあるのは、盲人が「数符」を、ページの上端から下端までタテに触っていって、例えば「３５ページが何章の何節の中か」を探せるようにするため。

３－１節。　本文ページのページ番号表示。

１。片面点字印刷の場合は、紙の最上行の右端に、そのページ番号を点字で書く。

２。両面点字印刷の場合は、紙の表（奇数ページ）にだけ、ページ番号を書く。紙の表に１８行、裏に１７行を点字印刷できる場合は、表の１行目の右端にページ番号を書く。裏には書かない。表も裏も本文は正味１７行ずつ書ける。

ただし、点字プリンターによっては、表も裏も１８行書けるので、表も裏もページ番号を書くやり方もある。

３－２節。　目次を書くページの、ページ番号の付け方。

例。本文が１８０ページで、目次が６ページの場合。

方法１。共通表示。　目次６ページには、１～６のページ番号を割り当てて、奇数ページの最上行の右端に、「１」「３「５」と書く。本文１８０ページには、目次の最後のページ番号の続きの、７～１８６ページを割り当てて、奇数ページの最上行の右端に、「７」「９」「１１」．．．「１８３」「１８５」と書く。

方法２。別表示。　目次１～６ページには、奇数ページの最上行の右端に、「モク１」「モク３」「モク５」、または、「モクジ１」「モクジ３」「モクジ５」と書く。本文１８０ページには、奇数ページの最上行の右端に、「１」「３」「５」．．．「１７７」「１７９」と書く。

３－３節。　ＷｉｎＢＥＳによる、目次の作り方。

１。「ＷｉｎＢＥＳ」プログラムは、目次を簡単に作れる働きが備わっている。目次の右端のページ表示部は墨字４桁（点字では、そのすぐ左に「数符」点字が付くので５マス）に固定されている。３－２節の方法２に成る。

２。入力。　「メモ帳」プログラムによって、マスあけと漢字フリガナをした文章を、入力して校正をして保存する。

３。点訳。　「ＷｉｎＢＥＳ」点訳プログラムを起動する。

３－１。メニューバーの「ファイル」「開く」をクリック。

「ファイルの場所」「ファイル名」欄は、項目２のファイル名とフォルダを指定する。「ファイルの種類」欄は、「ＴＸＴファイル(＊．ＴＸＴ)」を選ぶ。「開く」をクリックすると項目２の墨字ファイルを読み出すことと、点訳することをして、点字文章を編集画面に表示する。

２。　目次作成手順。本文を入力した墨字ファイルを、ＷｉｎＢＥＳで点訳した後の作業。

手順１。　本文ページ番号付加。　メニューバーの「ページ」「ページ番号付加」を順にクリックする。本文の初めのページ番号を入力してから、Ｅｎｔｅｒキーを押す。

手順２。　目次の見出しを指定。　本文のすべての「見出しとしたい点字行」について、手順２Ａ～２Ｂをする。

手順２Ａ。　本文の中の、見出しとしたい「３節。編集」「４章。ワープロ」「表～。～」などの点訳行にカーソルを移す。

注意。墨字行にはカーソルを移せない。

手順２Ｂ。　Ｓｈｉｆｔ＋Ｃｔｒｌ＋Ｆ７　を押す。その行が色付き表示に成る。

複数行。　１個の見出しが２個以上の行にまたがる時は、その２個以上の行について手順２Ａ～２Ｂをする。

解除。　　手順２Ａ～２Ｂによって見出しに指定した行を、指定解除するには、

その点字行のどこかにカーソルを移してから、Ｓｈｉｆｔ＋Ｃｔｒｌ＋Ｆ８　を押す。

手順３。　目次挿入ページを指定。　本文の中の、目次を挿入したいページの、どこかの位置に、カーソルを移す。

手順４。　目次作成。　メニューバーの「ページ」「目次作成」を順にクリックする。

結果。　手順３のページの１行目以後に、手順２の見出しの列を挿入する。「見出し」「点線」「その見出しの書き始めのページ番号」の順の書式で。

目次の１ページ目の１行目(ページ番号表示行)は空白行、２行目には、「モクジ」が書かれて、３行目は空白行に自動的に成り、見出しは４行目以後に書かれる。

目次範囲が全部で６ページの８行目までの時は、その最後でページ換えして、本文のページは全体の７ページの１行目からに移る。

本文のページ番号は変わらない。

目次範囲の、どのページにも、最上行にはページ番号は無い。

目次範囲にページ番号付加。

両面点字印刷の場合。ページ番号を書きたい場合は、目次範囲の、それぞれの奇数ページの最上行の右端に「モク１」「モク３」「モク５」と順にキーを押して編集画面に書き足していく。

片面点字印刷の場合は、すべてのページについて「モク１」「モク２」「モク３」と書き足す。

作業手順は

手順４－１。準備。まずＦ４キーを押すことによって、点字と墨字が両方表示される状態にする。

手順４－２。点字マス数の計算。　目次範囲が１３ページの時は、「モク」２マスと「数符」１マスと「ページ番号本体」２マスの合計５マスが必要です。

手順４－３。ページの入力。　『目次の１ページの最上行の右端２個の「Ｘ」印のうちの、左の「Ｘ」をクリックする。そこにカーソルが移る。墨字で「モク１」とキー入力すると、その点字と墨字が表示される。点字を読めない人は、墨字だけを読んで目的どおりの入力かを知る。誤入力の時は、Ｄｅｌキーを押して誤入力全体を消してから、再入力する。』

『 ～ 』を、目次範囲の、すべての奇数ページについて繰り返す。「１」を、３、５、７、と置き換えて。

手順５。　目次を修正。　３節の目次点訳規則（項目５－１～５－４）に違反する点が有れば修正する。

例えば見出しが行末の５マスにかかる時は、その直前のマスあけ位置のあとに「スペース」を何マスか挿入する。またはＥｎｔｅｒキーを押すことによって行変えする。

注意１。　手順５の操作をしている途中で、プログラムにエラーが起きてＷｉｎＢＥＳが勝手に強制終了に成ることが有る。その時はメモリーの点訳文章はすべて消える。対策。もう１度同じことをして、エラーが起きる直前の修正までで、やめる。目次のあちこちに点訳規則違反が出来ても、どうにか読めるので。

墨字キー入力の時は、その時に備えて、手順５の操作の前に、点字文章を保存しておく。
墨字ファイル入力の時は、「メモ帳」で保存した墨字ファイルが「ＷｉｎＢＥＳ保存ファイル」とは別に有って、「ＷｉｎＢＥＳ」がエラーを起こしても、墨字ファイルは残ったままだから、安心です。
注意２。目次作成は、校正や手順２（見出し指定）が完全に終わった時にする。　理由。手順４の目次範囲のページ番号書き足しや、手順５の修正をしてから、手順４をもう１度すると、修正はすべて取り消される。

４節。扉（とびら。別名「標題紙」）。

「扉」とは、墨字の本の最初の「書名、著者名、発行書名」だけを書いてあるページを言う。相川流と点字図書館流を説明する。

１。扉の書き方（相川流）。　点字本１冊の１枚目の点字の紙の表（と裏）１行目の１マス目から書く。次の「扉の点訳例（相川流）」のやり方で。

扉の中の欄の名前。	扉の例（墨字。相川流）	扉の点訳例（相川流）。
書名。	書名。パソコン　ベーシック　プログラム集。	□□ショメイ。□パソコン□ベーシック□プログラムシュー。
副書名（墨字本の叢書名や巻番号）。	副書名。パソコン　シリーズ　第７巻。	□□フクショメイ。□パソコン□シリーズ□ダイ７カン。
著訳者名	著者。　相川　哲弥。	□□チョシャ。□アイカワ□テツヤ。
第～巻（点訳書の何巻目か）	第２巻。	□□ダイ２カン。
全～巻（点訳書の全体が何巻か）	全５巻。	□□ゼン□５カン。
点訳者名	点訳者。　佐藤　八郎。	□□テンヤクシャ。□サトー□ハチロー。
校正者。	校正者。　小川　秀和。	□□コーセイシャ。□オガワ□ヒデカズ。
製作館（点訳者団体）名	点訳団体。　岡山点訳会。	□□テンヤク□ダンタイ。□オカヤマ□テンヤクカイ。
点訳年月日。	点訳年月日。１９９８年６月１８日。	□□テンヤク□ネンガッピ。□１９９８ネン□６ガツ□１８ニチ。
原本発行所と住所。	原本発行所。　常盤書店。	□□ゲンポン□ハッコーショ。□トキワ□ショテン。
原本の発行年月日	東京都新宿区高田馬場４の３の１７。	□□トーキョート□シンジュクク□タカダノババ□４ノ□３ノ□１７。
原本のＩＳＢＮ４～(雑誌はＩＳＳＮ～)	原本の発行年月日。１９９５年４月２０日。	□□ゲンポンノ□ハッコー□ネンガッピ。□１９９５ネン□４ガツ□２０ニチ。
	ＩＳＢＮ４　０４４７　８０５３	□□ＩＳＢＮ４□０４４７□８０５３

英語の本の訳本の場合は、「英語原本著者。　ウイリアム　ジェームズ。」「訳者。　堀辰雄。」のように書く。辞典は、「監修者。　金田一京助。」のように書く。ＩＳＢＮ　は、Ｉｎｔｅｒｎａｔｉｏｎａｌ　Ｓｔａｎｄａｒｄ　Ｂｏｏｋ　Ｎｕｍｂｅｒ（国際標準図書番号）の略。本の裏表紙などに書いてある。

扉の中の欄の名前。	扉の例（墨字。相川流）	扉の点訳例（相川流）。
書名。	書名。　読むクスリ。第２９巻。	□□ショメイ。□ヨム□クスリ。□ダイ２９カン。↓
著訳者名	著者。　上前淳一郎。	□□チョシャ。□ウエマエ□ジュンイチロー。↓
第～巻（点訳書の何巻目か）	点字第１巻。	□□テンジ□ダイ１カン。↓
	点字全３巻。	□□テンジ□ゼン□３カン。↓
全～巻（点訳書の全体が何巻か）	点訳者。　別府　松子。	□□テンヤクシャ。□ベップ□マツコ。↓
	校正者。　相川　哲弥。	□□コーセイシャ。□アイカワ□テツヤ。↓
点訳者名	点訳団体。　岡山点訳会。	□□テンヤク□ダンタイ。□オカヤマ□テンヤクカイ。↓
校正者。	点訳年月日。２００５年９月１４日。	□□テンヤク□ネンガッピ。□２００５ネン□９ガツ□１４ニチ。↓
製作館（点訳者団体）名	原本発行所。　文芸春秋。	□□ゲンポン□ハッコーショ。□ブンゲイ□シュンジュー。↓
点訳年月日。	東京都千代田区紀尾井町３の２７。	□□トーキョート□チヨダク□キオイチョー□３ノ□２７。↓
原本発行所と住所。	原本の発行年月日。２００１年３月１０日。	□□ゲンポンノ□ハッコー□ネンガッピ。□２００１ネン□３ガツ□１０ニチ。↓
原本の発行年月日	ＩＳＢＮ４－１６－７２４８３７　９	□□ＩＳＢＮ４□１６ノ□７２４８３７ノ９↓
原本のＩＳＢＮ４～(雑誌はＩＳＳＮ～)	所蔵図書館。倉敷市立中央図書館。	□□ショゾー□トショカン。□クラシキ□シリツ□チューオー□トショカン↓
所蔵図書館。		

２。扉の書き方（点字図書館　流）。

扉の記入項目は、同じだが紙の１行の左右の中央に来るように「テンヤクシャ。　サトー　ハチロー。」などの記入項目を書く。「書名。」などの記入項目名を書かない。１行の最後に句点を書かない。

３。墨字の扉。　「扉の例（墨字。相川流）」のように、（点字の扉の前の紙に)に墨字の扉を書く。点字を読めない公立図書館職員などが、盲人からの問い合わせなどの対応に便利なように。次の「クッション・ページ」の前に入れる。

４。クッション・ページ。

１冊に綴じた点字の本の中で、「 最初の点字ページのすぐ前 」と、「 最後の点字ページのすぐ後 」に、クッション・ページを入れる。クッション・ページとは、１個の行の３２マスに、「タコ」の点字（点１３５点字と点２４６点字）を１６組（３２マス）書くことを紙の片面の全部の行に書いた紙を言う。本の最初と最後のページの点字の凸点をつぶれにくくする。１０枚くらいの点字印刷冊子を郵便で送るときも同じやり方をすると良い。「メ」の点字(点１２３４５６点字)は不適当。「メ」の点字をたくさん隣り合わせて打つと、点字プリンターの点字を打つ部分に無理な力がかかって故障しやすくする恐れがある。点字製版印刷の場合は、紙にシワが寄る。片面印刷専用プリンターの場合は、片面印刷でも良い。

５。相川流の扉の書き方の特徴。

紙に書いた点字を読み取る能力の低い中途失明者も読めるようにするため。

中途失明者の都合は、点訳講習会講師や点訳者に伝わりにくいかも知れない。

５の０。紙の最初の行から、最初の項目を書く。

５の１。紙の行の１マス目から書く。　理由。紙の行の途中から書くと、書き始めを探すのに余分な苦労が必要。例えば著者名が紙の行の中央に来るように、途中から書くのは、目の見える人の感覚です。

５の２。行のはじめに「著者」「点訳者」などの項目の名前を書く。　理由。長い書名は、どこで書名の欄が終わるかわかりにくい。著者名だけを書いてあると、人名であることがわかってから著者名であることがわかる。珍しい著者名や点訳者名は、人名かが、わかりにくい。類推に頼るよりも、「書名」や「著者」の言葉を入れたほうが、早い。

５の３。項目名の最後と行の最後に句点を書く。　理由。項目名と項目内容の最後をわかりやすくするため。

５の４。普通は奥付に書くことも、扉に書く。　理由。扉だけを読むと、すべてがわかるようにするため。

５の５。点字の模様を入れない。　扉の紙の中央に書名と著者名と出版社名だけを入れて、残りを点字の模様で埋め尽くしたり、点２個の幅で上と下と右と左の端に枠を書くやり方が多い。それらの模様を簡単に書くプログラムも普及している。しかしそれは、すでに点訳された本のやり方を真似しただけであり、中途失明者も読みやすいやり方ではない。模様の海から点字を探す手間が必要。

５の６。途中に空白行を入れない。　理由。墨字の本では、「章」や「節」など、文章の大きな区切りのすぐ前に空白行を入れることも多い。区切りをわかりやすくするために。しかし点字ではその働きは無い。空白行の下には点字が書いていないと誤解される恐れもある。

６。扉の書き方（普通の点訳講習会）。　項目１～６番目を左右の中央と上下の中央に、目の見える人が見やすい配置で書く。

７。タイトル。　夏目漱石著「吾輩は猫である」でさえも点字の全３巻に成る。そこで、点訳本の冊数と区別するために、墨字の本１冊を「１タイトル」と呼ぶ。、墨字の本が「上・中・下」の３巻１組の場合は、３巻１組が１タイトルです。

８。１冊の点字本の構成。

扉（墨字）。クッション・ページ。扉（点字）。目次（点字）。本文（点字）。クッション・ページ。

８章。練習問題。
問題番号の付け方。　「問題３－２－５」は、「３章２節　項目５の問題」
「問題４－５」は「４章　規則５の問題」

１節。　３章の問題。
問題３－１－１。発音通り。次の下線部分を点訳用にカナでかけ。
１。彼は。２「岡山へ行った」３「横浜へ」４「山は高い」５「私は眠い」６「名古屋へ行く」７「富士山は高い」８「海は深い」。
問題３－１－２。長音。　点訳用にカナでかけ。
１「大型」２「大阪」３「灯台」４「憲法」５「法律」６「京都」７「表通り」８「精進料理」９「統計」１０「商業」１１「昭和」１２「大正」１３「お母さん」１４「おばあさん」１５「お父さん」１６「おじいさん」１７「大文字」１８「応用」１８「小学校」１９「普通」２０「空気」２１「通風」２２「気風」２３「偶然」２４「数字」２５「数学」２６「示威」２７「性格」２８「定数」２９「喰う」３０「命令」３１「成功」３２「形式」３３「欧米」３４「衛星」３５「訂正」３６「明示」３７「名目」３８「映画」３９「生命」４０「性質」４１「平成」４２「明治」４３「お教え」４４「縫う」４５「結う」４６「食う」４７「喰う」４８「救う」４９「掬う」５０「吸う」５１「道具」５２「舞う」５３「お送りする」５４「生命」
問題３－１－５。外来語。　点訳用にカナでかけ。
シカゴ。ウィーン。ローマ。ニューヨーク。ファイル。ディスク。ナトリウム。ヴィオラ。ババロヮ。ナトリウム。セイブ。セーブ。フォルダ。グヮテマラ。クヮトル。フロッピーディスク。ハードディスク。ディスクファイル。シリアルポート。プログラムファイル。セクシャルハラスメント。コミュニケーションエイド。バリアフリー。コンピュータウィルス。テクニカルレポート。
問題３－１－６。擬態語。　１「ぬうっと」２「じとじと」３「ワンワン」４「シクシク」５「すうっと」。
問題３－１－８。「ヂ」と「ジ」、「ヅ」と「ズ」。　１「馬鹿力」２「地震」３「自身」４「頭髪」５「図形」６「神無月」７「重畳」８「続ける」９「縮める」１０「舌鼓」１１「近付く」１２「綴り方」１３「縁付く」１４「人事課付きに異動」１５「日本中で有名」１６「続き」１７「三日月」１８「神無月」１９「月末」２０「大地」２１「自身」２２「大地震」２３「手続き」２４「峰続き」２５「鼓」２６「我慢強い」２７「地図」２８「手作りのカレー」２９「心尽くしの料理」３０「下手の横好き」３１「九十九折の道」３２「鯛尽くしの料理」３３「沼津」３４「言い辛い話」３５「若作りの化粧」３６「年中無休」３７「今日中に出来ます」３８「手近な」３９「縁遠い」４０「離れ島」４１「無理強い」４２「頬杖」４３「気疲れ」
問題３－２－１。数字と単位。　１「４５本」２「六本」３「9時４７分」４「午前七時三十八分」５「５番目」６「三十匹」７「弐拾参人」８「3時半」９「4時２５分」１０「ナポレオン3世」１１「5分の4」１２「3対5」１３「6台」１４「5人」１５「３６度」１６「４3回」１７「２７cm」１８「6冊」１９「8部」２０「7両目」２１「１０時２５分３７秒」２２「6時２８分」２３「１５年5月２５日」２４「西暦１９８７年6月１３日」２５「昭和２０年」２６「１５円２７銭」２７「1割5分3厘7毛」２８「東経１３５度２７分」２９「7時半」３０「午前3時半」３１「五分の二」。
問題３－２－２。１「一人」２「二人」３「3人」４「1つ」５「2つ」６「三つ」７「一太郎」８「２４日」。
問題３－２－３。１「1着」２「1 本」３「1回」４「一般的」５「一方的」６「画一的」７「一切」８「官民一体になって」９「一流のデザイナー」１０「杯を一杯にする」１１「一杯ずつ配る」１２「一切」１３「一番目」１４「世界一」。
問題３－２－５。１「４０００年」２「３００００円」３「３５４００円」４「３４３２０７８９０本」５「２０００年」６「５６７０００キロ」７「３４５０キロ」８「３０５０メートル」９「６５０００００００円」１０「五千四百円」１１「壱千弐百参拾円」１２「壱萬弐千参百四拾円」１３「壱億四千参百弐拾萬壱千円」１４「一二三四五六七八九〇」
問題３－２－６。１「2、3回」２「4、５００キロ」３「三千七、八百メートル」４「五・一五事件」。
５「　２０００年」６「５６７０００キロ」７「３４５０キロ」８「３０５０メートル」９「６５０００００００円」。

２節。　４章の問題。
問題４－３－１。名詞の見分け方。手順１。下線のことばは名詞か？　１「英語」２「デパート」３「問題」４「この際」５「５人以上」６「満月」７「住み込みで働く」８「３キロ余りを歩いた」９「人の出入り」１０「領収書」１１「このあたり」１２「浮き沈みが激しい」１３「こういう人だ」１４「そのため断念した」１５「駅の近くに行った」１６「飲み食いした」１７「数学」１８「このたびは残念でした」１９「２０歳未満はお断り」２０「貯金の出し入れ」２１「使い走りをした」２２「すれ違いに成った」
問題４の３－２。連体詞の見分け方。手順２。
１「私の本」２「どんな人も」３「そのようなことは」４「あんな人が」５「あらゆる目的に使える」６「あんな物でも」７「ある所にお爺さんと」８「ある所にはある」１１「この小説を読んだ」１２「あの人は急いだ」１３「その本を図書館に返した」１４「どの本も移した」１５「私はどの本も読んだ」１６「こう言う事はやめる事にする」１７「そういう返事だった」１８「どういう対策があるか」１９「そんなことは期待を持てない」２０「その店でこの菓子を買った」２１「こういうことが出来るか」２２「あんなものは食べない」２３「そんな人とは遊ばない」２４「どんな対応策が有るか」２５「その話は聞いたことが有る」
問題４の３－３。助詞の見分け方。手順３。
１「京都から奈良へ行った」２「天気が雨から雪に変わった」３「私は店で紙と鉛筆を買った」４「試験の準備を始めた」５「東京から大阪までは８００キロある」６「岡山から倉敷までの距離は１６キロある」７「今日も天気は雨だった」８「カレーよりもウドンが好きだ」９「あちらからもこちらからも人が集まった」１０「彼は名古屋に7時半に着いた」１１「昼に赤飯とてんぷらを食べた」１２「公園のベンチに座った」１３「雪が降ればスキーをする」１４「雪が降ったけれども山に登った」１５「負けてもくじけない」１６「雨が降るから傘を持っていく」１７「食べながら歩いた」１８「夏が過ぎて秋に成った」１９「彼は頼んだところで断る」２０「今日こそ完成するぞ」２１「今食べたばかりです」２１「噂は本当か」２２「この敷地に入るな」２３「図書館から市役所まで２キロくらいです」２４「その警察官のくらいは警部補です」２５「風も強いし雨も激しかった」２６「今日

は料理もし洗濯もした」２７「行ってみるとも」２８「消費税とも５１５０円です」２９「父母ともに病弱です」３０「この敷地に入るな」３１「天気なので洗濯物を干した」３２「買い物なり魚釣りなり好きにするが良い」３３「二人のランナーが先になりあとになり走った」３４「食べるのをあとにして飲んだ」３５「行くのか行かないのか早く決めてくれ」３６「法律により義務付けられている」３７「憲法第２９条により国会を解散する」３８「ソバよりウドンが好きだ」

問題４の３－４。動詞の見分け方。例文１参照。手順４。

１「私は本を読んだ」２「彼は駅に行った」３「彼女は公園を歩いた」５「太陽は東から昇る」６「私はソースを野菜にかけた」７「祝日に玄関に旗を掲げた」８「がんばれば成功する」９「地球は太陽の周りを回転する」１０「元気を出して歩こう」１１「犬が走って来た」１２「君はがんばれば試験に合格する」１３「今日も元気だタバコがうまい」１４「犬も歩けば棒に当たる」２０「食べる物が無い」２１「彼は歩く辞書です」

問題４の３－６。形容詞の見分け方。　手順６。

１。「富士山は高い」２「海は広かった」３「この道は狭い」４「彼は暗算が早い」５「彼は数字に明るい」６「彼は足が速い」７「部屋の中は暗かった」８「会合の料理はうまかった」９「彼は計算の説明がうまい」１０「道路には車が多かった」１１「早ければ良い」１２「高い圧力を加えた」１３「難しい仕事をした」１４「大きいことは良いことだ」１５「桜の花は早く散る」１６「外の空気が冷たかった」１７「山椒は小さくても辛い」１８「値段が高ければ買わない」１９「眠ければ寝ろ」２０「寒くて目が覚めた」２１「眠ることは健康に良い」２２「よく晴れた朝」２３「私は早く出発した」

問題４の３－７。形容動詞の見分け方。　手順７。

１「海が静かだ」２「彼は元気だ」３「外は暖かだった」４「彼の物腰は柔らかだった」５「手続きが簡単だった」６「暖かな布団」７「きれいな部屋」８「仕事は面倒だった」９「湖はおだやかだった」１０「きれいな花が咲いた」１１「神輿が賑やかに通る」１２「彼の当選は確かだ」１３「運転には免許証が必要だ」１４「必要な処置をしろ」１５「彼は確かに金を受け取った」１６「確かならば商品を渡せ」１７「彼は確かにここに来た」１８「これは有名な話だ」１９「彼は有名に成った」２０「有名ならば私が知っている」２１「返済が確かなら貸しても良い」２２「彼の勤め先の会社は有名だ」

問題４の３－８。副詞の見分け方。　規則８。手順８。

１「少し寒い」２「外は非常にうるさい」３「彼はこそこそと歩いた」４「もっと走れ」５「やがて日が昇った」６「おそらく彼はそこへ行く」７「もしも失敗しても続けろ」８「イキナリ雨が降った」９「今日はたくさん本を読んだ」１０「あの人はたいそう元気だ」１１「どうして山に登るか」１２「彼はまだ続ける」１３「是非来て欲しい」１４「まるで富士山とそっくりな山」１５「彼はもうやめた」

問題４の３－９。接続詞の見分け方。　規則９。手順９。

（注意。「文(述語の有る語句の組)」「句点(。)」「語句」　の、句点のあとは、２マス開ける。５章１の１節項目１を参照）

１「乗車券および特急券を入れる」２「乗車券と特急券を入れる」３「乗車券および指定券を買った」４「乗車券と指定券を買った」５「今日は給料日だ。だから豪華な夕食を食べた」６「朝は晴れた。しかし昼は雨が降った」７「風邪を引いた。それで会社を休んだ」８「ラーメンを食べた。さらにカレーを食べた」９「飲みかつ食べた」１０「先に食事をするか。それとも風呂にするか」１１「葬式に友人ならびに親族が参列した」１２「今日は晴れた。ただし昼に少し雪が降った」１３「飲んだ。さらに歌った」１４「きのうは晴れた。しかし今日は雨が降った」１５「雨が降った。さらに風が強い」１６「あしたのラジオ及びあさっての新聞に発表する予定です」１７「現場に行った。けれども間に合わなかった」１８「現場に行ったけれども間に合わなかった」１９「朝は晴れたが昼は雨が降った」２０「その角を曲がったところで彼女を見かけた」２１「ところで旅行に行くのか」２２「今から始めたところで間に合わない」２３「昨日は雨だった。ところが今日は晴れた」２４「この道を突き当たったところが本屋です」２５「機能は晴れると思っていたところが雨だった」２６「何回も読んでもわからない」２７「何回も読んだ。でもわからない」

問題４の３－１０。感動詞の見分け方。　規則１０。手順１０。

１「「もしもし、どなたですか」２「さあ始めるぞ」３「ほら隣のうちの人です」４「どれ勉強を始めるか」５「いいえこれは石けんです」６「ハイ支払いは現金です」７「いいえ昨日は雪が降った」８「アラ雨が降っている」９「オヤお出かけですか」

問題４の３－１１。助動詞の見分け方。手順５。

１「本を書かせる」２「いすを壊された」３「風に吹かれて風船が飛ばされた」４「借金を頼まれた」５「猫に魚を食べられた」６「始末書を書かされた」７「雨で出かけられない」８「配達に行かされた」９「電車が動かない」１０「新幹線が動かなかった」１１「今日は雪が降るまい」１２「遊園地に行きたい」１３「赤飯を食べたかった」１４「カレーを食べたくて店に入った」１５「ビフテキを食べたくなる」１６「行きたければ歩け」１７「手紙を書きます」１８「手紙を昨日書きました」１９「明日手紙を出しましょう」２０「私は行きません」２１「みんなで遊びに行きましょう」２２「お金をくださいませ」２３「家に帰った」２４「雨が降りそうだ」２５「雨が降るそうだ」２６「雨が降りそうな空だ」２７「今日は雪が降りそうだった」２８「水に流されそうに成る」２９「台風が来るようだ」３０「彼は事情を知らないようだ」３１「父は鯛を食べなかったようだ」３２「彼は知らないような顔をしている」３３「雪のように白い」３４「彼のように熱心な会員が多い」３５「彼は帰ったらしい」３６「東京は雨が降るらしい」３７「これは鉛筆だ」３８「彼は会社員だった」３９「あの人が社長だろう」４０「吾輩は猫である」４１「彼が社長ならばすぐに解決した」４２「彼が市長なので速やかに実行した」４３「あの人が課長です」４４「彼は公務員でした」４５「あしたは晴れでしょう」４６「会議中ですのでお断り」４７「彼なら出来る」４８「日曜日なので外で食事した」４９「それは私なのだ」５０「金が少ししか無いのに買い物をした」５１「そうならば早く言えば良いのに」

問題４―１２。助詞が２個以上、続く。

１「バス停まで１キロぐらいを歩いた」２「財布に５００円くらいしかお金が無かった」３「１万円さえも持っていない」４「大学にさえ入学出来たら良い」５「５人で菓子を２個ずつも食べた」６「顔すらも覚えていない」７「見るだけでも面白い」８「昨日とは違う」９「うどんやそばなどを食べた」１０「うどんなどに胡椒をかけた」１１「大豆なども買った」１２「新聞は駅などで売っている」１３「図書館などにも行った」１４「近所の子供などと遊んだ」１５「山になり海になり行くが良い」１６「公園でなり校庭でなり遊ぶと良い」１７「歩きながらも考えた」１８「名古屋にも行った」１９「奈良にさえも行った」２０「東京でさえも売っている」２１「彼の手帳にも書いた」２２「生徒などの手に渡した」２３「東京では天気が良い」２４「今日までは通

った」２５「５００円ばかりさえも持っていない」２６「大阪へも行く」２７「わざわざ行くほどのことも無い」２８「学校に８時までに行く」２９「会社には８時までには着いた」３０「君までも疑うか」３１「今日中にも払う」３１「この本はあの本よりも面白い」３２「ここは駅の中ですよね」３３「蕎麦よりはうどんが好きだ」３４「魚などを食べる」３４「その喫茶店は５時からはスナックに成る」３５「カレーよりもうどんが好きだ」３６「駅からは遠い」３６「そこまでの途中にも店がある」３７「そんなことは小学生でさえも知っている」３８「その建物はここからも見える」３９「彼女は自転車にさえも乗れない」４０「その店には駅からさえも歩いて行ける」４１「彼は隣の電停までさえも歩いて行く」４２「スピードのオーバーが１０キロくらいまでは大目に見る」

問題４―１３。助詞や助動詞が２個以上、続く。

１「熊のようにも見える」２「犬のようにさえ見えた」３「狐のようになら見える」４「行きたかったがやめた」５「行きたくても金が無い」６「行きたくもある」７「そのようでは困る」８「あのようには作れる」９「動かせるらしい」１０「動かせるらしい」１１「彼を行かせるそうだ」１２「彼女を行かせるようだ」１３「車を動かせるまで待つ」１４「音楽会は５時までらしい」１５「５時までには行けそうにも無い」１６「仕事が７時までには終わりそうです」１７「彼は眠そうには見えた」１８「この店の営業は６時までらしい」１９「そのデパートの営業は９時からららしい」２０「あの本屋の営業は１０時からだそうだ」２１「カレーを食べたかったがあきらめた」

問題４―４。例外。「動詞の連用形」＋「動詞」。など。

１「彼が歩き始めた」２「彼女が本を読み終わった」３「私は軍歌を歌いだした」４「課長の話を聞き流した」５「その番組を聞き逃した」６「誤りを見逃した」７「私はサラダから食べ始めた」８「雨が降り出した」９「雪が降り始めた」１０「文章を読み上げた」１１「太陽が昇りだした」１２「２種類のサラダを食べ比べた」１３「私は店に行き話した」１４「彼は居酒屋の行き飲んだ」１５「その酒を彼女は酒屋に行き買った」１６「あの本を私は古本屋に行き売った」１７「私は寝室に行き眠った」１８「彼は居酒屋を何軒も飲み歩いた」１９「この職場は働きやすい」２０「彼の声は聞き取りにくい」２１「彼女の文字は読みにくい」２２「ここは静か過ぎる」２３「来るのが早過ぎる」２４「本心を言いよどんだ」２５「２つの演奏を聞き比べた」２６「この問題は難しすぎる」２７「彼は救いがたい」２８「この餅は柔らか過ぎる」２９「この服の袖は長すぎる」３０「説明が細かすぎる」３１「部屋が暖かすぎた」３２「母は元気すぎる」３３「その問題を市役所に行き話した」３４「天気が荒れ始めた」３５「サービスが行き届いている」

問題４―５。「ない」の練習問題。

１「車が動かない」２「まだ月が出ない」３「もう彼の姿が見えなかった」４「この表現は適切でない」５「彼は犯人でない」６「映画が面白くなかった」７「この小説は面白くない」８「貯金残高が少ない」９「あの芝居は面白くなくなった」１０「彼女の顔は朗らかでなくなった」１１「電子回路には集積回路が無くてはならない」１２「彼の功績が少なくない」１３「さりげない風を装った」１４「だまされないように気をつける」１５「さりげなくたずねてみた」１６「読みたくならない」１７「つまらない意見を述べる」１８「母は野菜を食べさせたがらない」１９「甘い菓子を食べさせたくない」２０「男らしくない態度をする」２１「外国へ行ったようでない」２２「この問題は今日中に解けそうに無い」２３「今日は雨が降りそうな気がしない」２４「昼までは雨が降りそうにない」２５「心無いことをする人だ」２６「遊びに行きたくなくなった」２７「自転車が故障して乗られない」２８「彼女ははしたないことをする」２９「歯の治療に行きたがらない」３０「すぐに汽車は動きそうに無い」３１「彼はだらしない」３２「彼の顔色は変わらなかった」３３「少しも嬉しくない」３４「この問題は解けそうで解けない」３５「話に乗せられないように気をつけた」３６「つまらないものですが」３７「この箱にはミカンが３０個はつまらない」３８「あの人は頼りない」３９「もったいないことをする」４０「雨が降らなければ外出する」

４１「暇が無いから書物が読めそうに無いという人が居るが、この言い方は必ずしも正しくない。
ありていを言えば、多くは読む暇を作らないのである。それほどには読みたくないのである。
つまりは、読めないのではない、読まないのである。先の言い方は、つまらない弁解である。」

問題４－６。「名詞」＋「する」、など。

１「文章を要約する」２「文章の要約をする」３「住宅を設計する」４「住宅の建築をする」５「魚を煮炊きする」６「車を運転する」７「車の運転をする」８「肉と野菜を料理した」９「肉と野菜の料理をした」１０「１年すると彼もあきらめた」１１「この靴は１万円した」１２「ペンキを塗って塀を白くした」１３「モーターの回転を早くした」１３「棒を切って短くした」１４「おとなしくしないと、打つぞ」１５「彼を東京に出張させた」１７「あの会社に工事させよう」１８「その店に工事をさせた」１９「不良品を交換させた」２０「近親者が亡くなった」２１「財布がなくなった」２２「提案権がなくなった」２３「賢明なる国民の皆さん！」２４「彼は車を運転できる」２５「私は目標を達成できた」

問題４ー７。「熟語」＋「熟語」、など。

１「岡山大学理学部数学科」２「総務部経理課出納係」３「川端康成先生」４「領収書」５「診療報酬明細書」６「有限会社」７「物置小屋」８「岡山駅」９「松本清張様」１０「かえすがえすも残念だ」１１「加藤課長」１２「行きたいのはやまやまだが時間が無い」１３「斉藤家」１４「説明書」１５「約２倍」１６「殊勲賞」１７「足摺岬」１８「アレキサンダー大王」１９「京都駅」２０「千曲川」２１「人事課宛」２２「講談社刊」２３「堀内訳」２４「夏目漱石著」２５「経理課長談」２６「樋口一葉」２７「ジェームズ・ボンド」２８「川上君」２９「瀬川氏」３０「静岡県浜松市富士見町４丁目５番２３号」３１「本町１４の１３」３２「伯備線備中高梁駅」３３「上越新幹線越後湯沢駅」３４「岩手県立大学」３５「福岡ドーム」３６「お待ちください」３７「お送り致します」３８「君んちへ遊びに行くよ」３９「いろいろ心配をかけた」４０「コワゴワ外をのぞいた」

問題４ー８。接頭語と接尾語。　１「再実行」２「第７巻」３「全４巻」４「総監督」５「毎週」６「非人間的」７「反社会的」８「前議員」９「現知事」１０「毎出勤日」１１「各郵便局」１２「満２５歳」１３「５キロずつ」１４「学生達」１５「消費税共の料金」１６「毎食後３０分に飲む」１７「発射５分前」１８「客観的」１９「川端康成様方」２０「３０分おきに」２１「日本電気株式会社御中」２２「岡山市長殿」２３「佐藤春夫様」２４「元市長」２５「仕事中です」２６「送料とも５００円です」２７「１日中働いた」２８「母子ともに元気です」

３節。　５章の問題。

問題５－１－１。句点。　１。　桜が咲いた。菜の花も咲く。　２。　雨が降った。風も強い。　３。　６。注意。使い方に

よっては故障する。説明書を良く読め。 ４。 ２３。機能。ディスクを初期化する。 ５。 「いらっしゃい。」と言った。 ６。 ４．理由 ．数が大き過ぎる． ７。 ア。記録。イ。保存。ウ。開く。エ。印刷。 ８。 プリント（点字印刷。墨字印刷。）をする。 ９。 「必要は発明の母」。１０。「短気は損。」 １１。 ア．記録．イ．保存．ウ．開く．エ．印刷．オ。ヘルプ． １２。 雨が降る．風も強い． １３。 走る。泳ぐ。どれも得意です。 １４。 質問。原因は。回答。モーターの過熱です。 １５。 記録 ．保存 ．開く ．印刷 ．１６。 問題は「努力」です。 １７。 「原因」を調べた。

問題５ー１ー２。疑問符。感嘆符。 １。 本当？合格だ！ ２。 問題の解決策は？ ３。 おめでとう！ ４。今買って夏のボーナス一括払い！ ５。 やった！金メダルだ！ ６。 犯人は？！？！ ７。 やった！合格だ！ ８。 はてな？ さては？ わかった！ あいつが犯人だ！ ９。 彼は「本当？」と言った。 １０。 「万歳！」と叫んだ。

問題５ー１ー５。読点。 １。 新聞を読んで、事件を知った。 ２。 良くも、悪くも極端だ。 ３。 走ろう、ゴールまで。 ４。 社長、人事課長、監査役が出席した。 ５。 走れ！メロス！ ６６。 たかし君、遊びに行こう！ ７。 実数型変数、整数型変数、定数を使い分けた。 ８。 課長，次長，総務係長が協議した。 ９。 トライアスロンは、泳いで、走って、自転車に乗る。１０。 東京 、名古屋 、大阪は大都市です。 １１。 川端康成 、松本清張 、有吉佐和子が出席した。

問題５ー１ー６。中点。１。 メニューはファイル・編集・表示です。 ２。 昭和２０・８・１５ ３。 ５・１５事件 ５。 ジョン・ケネディ ６。 ジョン・Ｆ・ケネディ ７。 Ｇ・Ｗ・ワシントン ８。 フロッピー・ディスケット ９。 ファイル・アロケーション・テーブル １０。 東京・新宿・明治町 １１。 ディスク・ファイル

問題５ー１ー７。棒線。点線。波線。 １。朝――まだ早い。 ２。 オヤ――君か？ ３。 結果はいかに―― 。 ４。 東京～岡山の郵便到着日数は、２～３日です。 ５。 勤務先のお盆休みは８月１１～１５日です。 ６。 はてな ．．．と考えた。 ７。 大阪～名古屋の乗車券は４６００円です。 ８。 ５月３～７日に工事をします。 ９。 「被告人は ．．．」と裁判長は判決を言い始めた。 １０。 ５の平方根を「富士山麓オウム鳴く．．．」と覚えた。 １１。 「ところが ．．．間に合わなかったの」と彼女は言いかけた。 １２。 「そんな古臭い名前にしなくても ．．．．．」という意見が出た 。 １３。 「せっかく作ったのに ．．．ガッカリ」と花子は言った。 １４。 花が咲いた ．．．。しかしすぐにしおれた。 １５。 １．開く ．２ ．実行する ．３ ．終わる ． １６。 イ．地震 ．ロ ．噴火 ．ハ ．津波 ． １７。「 ――」 １８。「 オヤ――？」

問題５－２。カギ類。 １。 彼は「初めが肝心」と言う。 ２。 彼は「初対面が大切です。」と言った。 ３。 根本的には「やる気。」です。 ４。 私は「けれども、」と言った。 ５。 「点検せよ。」安全のために。 ６。 メニューは「保存」「開く」「印刷」です。 ７。 「図形」「文字」「記号」から選べ。 ８。 世界経済は「低成長」だ。 ９。 設定値は「1」「3」「7」です。 １０。 ここで［印刷］ボタンをクリックする。 １１。 ［ファイル］［書式］［編集］のどれかを選ぶ １１。 私は映画「コロンボ刑事」を見た。 １２。 私は「ことづけをしてくれ」と言った。 １３。 「根気」の要る仕事だ １４。 彼は「やる気」が有る。 １５。 「変数」に値を入れる。 １６。 それは「予想できること」ではない。 １７。 問題は「意思」です。 １８。 中国では白は「葬式の色」です。

問題５－２－１。２重カギと第２カギ（代用の墨字入力（項目７）も）。 １。 彼は「ここで［保存］をクリックする」と言った ２。 私は「林君に「遊びに来い」と伝えてくれ」と佐々木さんに言った ３。 彼は「［印刷］を実行しなさい」と言った ４。 「映画『君に名は』を見たか？」と質問した ５。 「名前は『つまらないものですが』と決めていた」と彼は言った。と彼は言った。 ６。「ドアに『面会謝絶』の紙を張りなさい」と主治医が言った。 ７。 「もう「フランダースの犬」の銅像を見ましたか？」とたずねられた。 ７。 「「入力」「保存」「開く」「印刷」が出来ればワープロは十分です。」と先生は言った。 ８。 彼は「「印刷」の使い方がわからない」と言った。 ９。 ナポレオンは「私の辞書には『不可能』と言う言葉は載っていない」と言った。 １０。 彼は、「そこで［保存］ボタンをクリックしなさい」と言った。 １１。「 ”変数”は実数型に限る」と書いてあった。 １２。 「そこで‘配列’を宣言する」と書いた。 １３。 彼女は”意志”が固い。 １４。彼は「「変数」には「配列要素」も含む」という。 １５。『「傾向と対策」を読んだ』といった。

問題５－３。カッコ類。 １。 主食（米や小麦）は豊作だ ２。 毎週水曜日（３月１５日以外）に集まる。 ３。 海草（わかめやひじきなど）を食べると良い。 ４。 東南アジア（中国以外）では米が主食です。 ５。 鉛筆（シャープペンシルを除く）を使っても良い。 ６。 昭和二十三（１９４８）年の夏のことだった。 ７。 彼は中風（脳溢血）で死んだ。 ８。 明治二十七年（１９８４年）に日清戦争が始まった。 ９。 宮沢賢治（１８９６～１９３３）は「アメニモマケズ」を書いた。 １０。 榊原武（名古屋市）【会社役員】《テニスと野球》。 １２。「佐藤八郎（京都市）【高血圧と結核】」と記録された。 １３。 警察は山田一郎（２３歳。会社員）を逮捕した。 １４。 ［終了］ボタンをクリックした。 １５。 神戸港はハブ港（物流の拠点港）です。 １６。 指紋はＣＰＵ（中央処理装置）に登録される。 １７。 マジック・テープは硬い面（オス面）の糸の先が柔らかい面（メス面）のループに引っかかって接着する。 １８。 エジソンは蓄音機（レコードプレーヤー）を発明した。 １９。 土地は２エーカー（約２千４百坪）も有る。 ２０。 地主はコングロマリット（複合企業）です。

問題５－３－１。２重カッコと第２カッコ（代用の墨字入力（項目７）も）。 １。 主食（米や麦（大麦を除く）など）は豊作だ ２。 主食（米や麦（大麦を除く））は豊作だ ３。 イモ類（サツマイモ（焼酎製造用も）やジャガイモなど）が不作だ ４。 食事（主食（米など）と副食（肉や魚など））のバランスが大切だ。

問題５－４。点訳註。 １。 市立高校に通う。 ２。 同社の業績は良い。 ３。 同市の景気は悪くない。 ４。 市制４０周年記念事業 ５。 佐藤孝雄市議 ６。 貴国と貿易したい。 ７。 帰社命令が出た。 ８。 貴社の記者が行った。 ９。 貴市と交流したい。 １０。 市税納付 １１。 弊社店員が行きます。 １２。 降車ください。 １３。 上下両院 １４。 衆参両院 １５。 衆参同日選挙を考えた。 １６。 主客転倒している。 １７。 和戦両様の構えです。 １８。 千変万化 １９。 主従の絆 ２０。 同業他社に負けた。 ２１。 単精度実数型変数 ２２。 倍精度実数型定数 ２３。 渡米した。 ２４。 私立大学に入学した。 ２５。 東証２部上場。 ２６。 高知県漁連。 ２７。 社協。 ２８。 異業種参入 ２９。 片山弘市議が行った。 ３０。 それは岡田武県議の意見です。 ３１。 そこで山本府議が発言した。 ３２。 高野連

７章。英語文章の点訳。

１節。　英語文章の点訳。

１。日本語文章の途中に、ちょっとアルファーベットや英語単語が表れる文章の点訳は、５節で間に合う。

２。この章では、英語の教科書や参考書のような、英語の文章がたくさん現れる文章の点訳の規則を述べる。

２節。英語点訳方法の種類。

１。英語文章範囲を指定する方法。

１の１。方法１。英語単語のすべてに、１個ずつ「外字符」点字を前置する方法。

１の２。方法２。英語文章の、初めに「外国語引用符」の「開く」点字を書き、終わりの直後に「外国語引用符」の「閉じ」点字を書く方法。

１の３。比較。１００個の単語から成る英語から成る英語文章を点訳すると、方法１では、１００個の「外字符」点字を余分に書く。方法２では、「開く」と「閉じ」の２個の点字を余分に書く。方法１が９８個多い。

２。英語を点訳する方法は、主に次の２種類が有る。

２の１。方法１。「ベタ書き」。墨字のアルファーベットの１文字ずつを、点字に変換しながら点訳する点訳する方法です。

２の２。方法２。「２級英語点字」。別名「２級点字」。基本的には、「べた書き」だが、頻繁に現れる「ｔｉｏｎ」などの英字列を、アルファーベットに使わない点字１個に変換する点訳方法です。

日本語では「通信」という言葉は漢字では２文字で、点訳するとカナで[通信]の４マスで済む。ところが、「通信」の意味の英語「ｃｏｍｍｕｎｉｃａｔｉｏｎ」は、英字１個を点字１個に変換する点訳方法では、１３個の点字に点訳される。紙の１行の点字個数は最大３２個だから、１３個の点字は１行の半分近くを使うことに成る。

点字１個は「点の有る・無しの６個の組」だから、２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２ｘ２＝６４種類ある。日本語はカナ５０音の４７個で６４種類の大部分が使われるが、英語はアルファーベット２６文字に別々の点字を使っても、残りの点字が沢山有るので、頻繁に現れる「ａｔｉｏｎ」などの英字列を、アルファーベットに使わない点字１個に変換する点訳方法です。

３節。英語の点訳規則。

[外引開]Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．[外引閉]
にＷｉｎＢＥＳは点訳する。
単語の個数の多い英字列は、少ないマス数の点字に変換する。

４。ＷｉｎＢＥＳによる英語文の点訳方法。
英語文。Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．
略記１。　「点訳結果」欄で、　外　＝　[外字符]点字。　ａ　～　ｚ　は外字符も大文字も無しのアルファーベットの点字を表わす。
説明２。　外字符オフ。「外字符オフ」とＷｉｎＢＥＳ画面の最下段に書いてある時は、英語点訳機能が、「アルファーベットを外字符点字を付けないで点訳する状態である」ことを表わす。書いてない時は「付ける状態」を表わす。
Ｃｔｒｌ＋Ｓｈｉｆｔ＋Ｆ１１　キーを押すたびに、オン。オフにかわるがわる成る。
説明３。　２級オン。　「二級オン」とＷｉｎＢＥＳ画面の最下段に書いてある時は、英語点訳機能が、「英語文章を、縮字や略字の有る英字列を、入力の最後に（「Ｅｎｔｅｒ」キーの変わりに）「変換」キーを押して入力すると、縮字や略字を使う点訳をする状態である」ことを表わす。書いてない時は「使わない状態」を表わす。

方法１～４は、メニューバー「設定」「入力設定」を「墨字」。
方法１。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。　”～”　無し。
墨字入力。　Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．　　点訳結果。　外Ｉ　外ａｍ　外ａ　外ｂｏｙ．
方法２。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。　”～”　有り。
墨字入力。　”Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．”　　点訳。　[外引開]Ｉ　外ａｍ　外ａ　外ｂｏｙ．[外引閉]
注意。”　のあとで、［スペース］キーを押すたびに［カナ点字状態］に変わるので、外字符を付ける。不適当。
方法３（ベタ書き英語点字に点訳）。
。ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。　外字符オフ。　２級オフ。
墨字入力。　Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．　　点訳。　Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．
方法４。（２級英語点字に点訳）。
ＷｉｎＢＥＳの編集画面にキー入力。　２級オン。

（墨字入力）	（点訳結果）
Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．[Ｅｎｔｅｒ]	Ｉ　ａｍ　ａ　ｂｏｙ．
ｎｏｔａｔｉｏｎ[Ｅｎｔｅｒ]	ｎｏｔａｔｉｏｎ
ｎｏｔａｔｉｏｎ[変換]	ｎｏｔ（ａｔｉｏｎ）

注意。　（ａｔｉｏｎ）　は　英字５個「ａｔｉｏｎ」を縮めて表わす１個の点字（縮字）を、表わす。

方法５。 ”～” 無し。メモ帳のファイルを入力（ＷｉｎＢＥＳで開く）。「日本語に点訳」を選ぶ。（方法１と同じ）
墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.　　点訳。 外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ.
方法６。（ベタ書き英語点字に点訳）。
”～” 無し。メモ帳のファイルを入力（ＷｉｎＢＥＳで開く）。「英語に点訳」を選ぶ。 （方法３と同じ）
墨字入力。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.　　点訳。 Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.
ｎｏｔａｔｉｏｎ　　ｎｏｔａｔｉｏｎ

注意。結論。墨字ファイル入力によっては、２級英語点字に点訳できない。
理由。［ファイルを開く］時に、［外字符オン］［２級オフ］に自動的に設定されて、「英語に点訳」を選んでも、［外字符オフ］に成るだけだから。

方法	ＷｉｎＢＥＳの編集画面に	メニュー「設定」「入力設定」	「外字符」オン・オフ	「２級点字」オン・オフ	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ. の点訳結果	”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.” の点訳結果
１	キー入力	「墨字」	オン	オフ	外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ.	[外引開]Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ.[外引閉]
２	キー入力	「墨字」	オフ	オフ		[外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.[外引閉]
３	キー入力	「墨字」	オフ	オフ	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.	

					キー入力の点訳結果	キー入力
４	キー入力	「墨字」		オン	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ. ｎｏｔａｔｉｏｎ ｎｏｔ（ａｔｉｏｎ） （３行目は２級点字）	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.[Ｅｎｔｅｒ] ｎｏｔａｔｉｏｎ[Ｅｎｔｅｒ] ｎｏｔａｔｉｏｎ[変換] （ａｔｉｏｎ） は縮字点字

方法	ＷｉｎＢＥＳの編集画面に	ファイルの種類	点訳途中の言語指定	Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ. ｎｏｔａｔｉｏｎ の点訳結果	”Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.” ｎｏｔａｔｉｏｎ の点訳結果
５	ファイル入力	テキストファイル	「日本語に点訳」	外ｎｏｔａｔｉｏｎ 外Ｉ 外ａｍ 外ａ 外ｂｏｙ.	外ｎｏｔａｔｉｏｎ [外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.[外引閉]
６	ファイル入力	テキストファイル	「英語に点訳」	ｎｏｔａｔｉｏｎ Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.	ｎｏｔａｔｉｏｎ [外引開]Ｉ ａｍ ａ ｂｏｙ.[外引閉]

６章。　パソコンの扱い方。

１節。パソコンと手。

１。手。　パソコンやフロッピー・ディスケットやＣＤ－ＲＯＭやＭＯ（光磁気）ディスケットに触る前は、手に化粧品や整髪量や食べ物の汚れや油などが付いている時は、手を洗う。

パソコンを扱っている途中で、ほこりが付いているものに触ったり、コーヒーの駅が手に付いたりした時は、少しぬれたハンカチなどで手を拭く。

２。パソコン。　パソコンのすぐそばで、コーヒーや食べ物などを飲食しない。パソコンを置いてある台とは別のテーブルなどの飲み物や食べ物を置いてそのそばで、飲食する（飲食したい時は）。

２節。フロッピー・ディスケットの入れ物。

１。ふだんの入れ物。　パソコンのそばに置いておく時の入れ物（１０枚用や２０枚用など）は、入れ物のフタをしている時に、入れ物にスキマが無いカラクリの、入れ物が良い。

２。持ち運ぶ時や、郵送する時の入れ物。

悪い例。　厚紙を２つ折りした間に挟んで、厚紙の端をセロテープで止めるのは、不適当。両側から強い力で押されると、フロッピーが故障して、フロッピーの読み書きが出来なくなることがあるため。

良い例。　市販のプラスティック製の入れ物（１～３枚用などのケース）に入れる。あ

	記号の名前	記号　（上段） 点字　（中段） 点字の点構成（下段）	墨字の形 墨字の例	ＷｉｎＢＥＳ 「墨字の形」の墨字入力 「墨字の例」の墨字入力	相川点訳 「墨字の形」の墨字入力 「墨字の例」の墨字入力
	カギ	「　～　」 ～ ３６。～　３６。	「[語句や文]」 「対策」	「[語句や文]」 「タイサク」	[語句や文] 「タイサク」
?	２重カギ	『　～　』 ～ ５６。３６。～　３６。２３。	『[語句や文]』 『対策』	「「[語句や文]」」 「「タイサク」」	[語句や文] [タイサク]
?	第２カギ	〔　～　〕 ～ ５６。３。～　６。２３。	〔[語句や文]〕 〔対策〕	「＿[語句や文]＿」 「＿タイサク＿」	（無し）
	カッコ	（　～　） ～ ２３５６。～　２３５６。	（[語句や文]） （対策）	（[語句や文]） （タイサク）	[語句や文] （タイサク）
?	２重カッコ	《　～　》 ～ ５６。２３５６。～ ２３５６。２３。	《[語句や文]》 《対策》	（（[語句や文]）） （（タイサク））	[語句や文] {タイサク}
?	第２カッコ	【　～　】 ～ ２３５６。２。～ ５。２３５６。	【[語句や文]】 【対策】	（＿[語句や文]＿） （＿タイサク＿）	（無し）
	第１指示符	例。斜体文字の[語句や文] ～ ５。３６。～　３６。２。	[語句や文] *対策*	[[語句や文]] [タイサク]	（無し）
?	第２指示符	例。　下線付き[語句や文] ～ ５。３６。３６。～ ３６。３６。２。	例。下線付き[語句や文] 対策	例。[＿[語句や文]＿] [＿タイサク＿]	（無し）
?	第３指示符	例。　２重下線付き[語句や文] ～ ５６。３６。３６。～ ３６。３６。２３	例。　２重下線付き[語句や文] 対策	[[[語句や文]]] [[タイサク]]	（無し）
	点訳註	（）　～　（） ２３５６。２３５６。～２３５６。２３５６。	（([語句や文]）） 市立 置き換え。市立（（イチリツ））	（）[語句や文]（） シリツ（）イチリツ（）	（）[語句や文]（） シリツ（）イチリツ（）

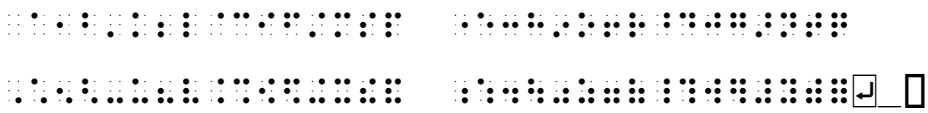
カギ類の説明（相川流）。

　１。内外のレベルだけに注目して、　「～『～〔～〕～』～」　のように使う。（～は、語句）。
墨字が、　『～「～“　～　”～」～』　　でも、　『～“　～「～」～　”～』　　でも。
　２。第２カギと２重カギを、なるべく使わない。
　３。次の１行目の３種類のカギ類は、内外のレベルが同じだから２行目に置き換えてから点訳する。
墨字文。　　「変数」と“配列”は、‘データ’です。
置き換え。　「変数」と「配列」は「データ」です。

　　カッコ類の説明（相川流）。
　１。内外のレベルだけに注目して、
（～《～【～】～》～）　のように使う。（～は、語句）。
墨字が、
《～（～【～】～）～》　でも、
【～《～（～）～》～】　でも。
　２。第２カッコと２重カッコを、なるべく使わない。
　３。次の１行目の３種類のカッコ類は、内外のレベルが同じだから２行目に置き換えてから点訳する。
墨字文。　　佐々木（会社員）【岡山県】《糖尿病》。
置き換え。　佐々木（会社員）（岡山県）（糖尿病）。

　　指示符類の説明（相川流）。
　１。「アンダーラインを引いた文字列」や「傍点を付けた文字列」や「斜体文字列」や「太字文字列」の両端に、
アンダーラインや傍点などの代わりに書く。
　２。第１は、直線下線、第２は波線下線、第３は傍点、のように使い分ける。
　３。例。次の１行目の墨字のＷｉｎＢＥＳ墨字入力は２行目です。
墨字文。　　<u>根気</u>が重要です。
置き換え。　［コンキ］ガ□ジューヨーデス。

　　点訳者註記符の注意。
「「　」」　」「　は使えない。（ＷｉｎＢＥＳ。「２重カッコ開く・閉じる」などに点訳するため。）



３ー４節。相川点訳による、目次の作り方。

目次や扉を作る働きの無い点訳プログラムに共通。

方法２。別々なページ番号。

１。前提。

手順Ａ１。　「メモ帳」によって入力した本文の点訳用の墨字文を、ファイルに保存する。ファイル名は、例えば「ｔｅｓｔ．ｔｘｔ」と付ける。

手順Ａ２。　そのファイルの初めに、扉と目次を付け足す。扉は多分２ページ以内に収まるのでその最後の行の右端に「改ページ」記号を書き足す。

手順Ａ２。　そのファイルを相川点訳によって点訳する。

２。目次作成手順。

手順１。　「メモ帳」画面を２個、テレビ画面に開いて（表示して）、１個はテレビ画面の上半分に、他の１個は下半分に表示する。

手順２。　上の画面には「ｔｅｓｔ．ｔｘｔ」を開く（読み込む）。

手順３。　上の画面の、目次に入れたい「～章 。～」「～節 。～」「表～。～」などの見出しの文字列を、下の画面にコピーする。本文の順番に並べる。

手順４。　上の画面に、「ｔｅｓｔ．スミシ」を開く（読み込む）

手順５。　見出しのページ番号の挿入。　上画面の、「１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。」の見出しが有るページの直前に「＃３７」の行があれば、下画面の「１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。」の見出しが、本文点訳文章の３７ページに有ることがわかる。

下画面の「１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。」の最後に、「スペース」１個と、「その行のページ番号」を書き足す。

この作業をすべての見出しについて行う。見本は下図。

手順６。見出しファイルの保存。この文章を保存する。ファイル名を、例えば、ｔｅｓｔｍ．ｔｘｔと付ける。

手順７。見出しファイルの点訳。相川点訳によってｔｅｓｔｍ．ｔｘｔを点訳する。途中の「ページ欄の前書き」の質問には、「モク」または「モクジ」と入力する。ファイル名を、例えば、ｔｅｓｔｍ．ｔｘｔと付ける。

手順９。扉の文章の点訳用墨字入力をする。ファイル名を、例えば、ｔｅｓｔｈ．ｔｘｔと付ける。相川点訳によって点訳する。

手順５。　相川点訳によって点訳する。途中の「ページ欄の前書き」の質問には、「モク」または「モクジ」と入力する。

手順４。　見出し全部をコピーしたら、それら全体を上半分の本文と扉文章の間に挿入する。

手順５。「扉と目次の境」と「目次と本文の境」には「改ページ」＝「＿～」を挿入する。

相川製作の点訳プログラムは、項目４の目次の墨字の入力を自分でして、点訳すると左端に、その点訳行が点字何マスか表示されるので、項目５の形に成るように自分の頭で計算して、「スペース」と「小文字ツ」を挿入してから、もう一度点訳する。

「ーーーーーーー見出しーーーーーー　　「ーーー点線ーーーーー　「（ページ番号）

□□□□２ショー。□マスアケ□キソク。□５
□□１セツ。□タンゴノ□ナカノ□カキカタ。□１８
１。□スージト□タンイノ□カキカタ。□２３
２。□カズノ□カキカタ。□２７
□□２セツ。□タンゴノ□アイダノ□マスアケ。□３４
１。□ジリツゴノ□スグ□ヒダリワ□マスアケスル。□３６
２。□フゾクゴノ□スグ□ヒダリワ□マエノ□タンゴニ□ツヅケル。□４１
□□□□３ショー。□ブンノ□アイダノ□マスアケ。□１０３
□□１セツ。□ギョートー□キンシ□キゴー。□１０７
□□２セツ。□カッコト□２ジュー□カッコト□ダイ２□カッコノ□ツカイワケ。□１２４

	規則	例。「カギ」の規則を、置き換えた規則。
1	『２ー１節２。カギのマスあけ規則』において、 「カギ開く・閉じる」を 「２重カギ開く・閉じる」に 置き換えた規則。	「カギ」の点訳規則。　「 ■ [語句] ～ [語句] ■ 」 「２重カギ」の点訳規則。　『 ■ [語句] ～ [語句] ■ 』 墨字の例文。　彼は「それは『変数』です」と言った。 点訳。　カレワ□「ソレワ□『 ■ヘンスー■ 』デス」ト□イッタ。 ＷｉｎＢＥＳ入力墨字。カレワ□「ソレワ□「「■ヘンスー■ 」」デス」ト□イッタ。 相川点訳の入力墨字。　カレワ□「ソレワ□［ ■ヘンスー■ ］デス 」ト□イッタ。 代用の墨字入力（項目７)。カレワ□「ソレワ□「 ■ヘンスー■ 」デス」ト□イッタ。 「カギ」の点訳規則。　「 ～ [語句] 」■ [助動詞] 「２重カギ」の点訳規則。　『 ～ [語句] 』■ [助動詞] 墨字の例文。　彼は「それは『変数』です」と言った。 点訳。　カレワ□「ソレワ□『ヘンスー』■デス」ト□イッタ。 ＷｉｎＢＥＳ入力墨字。　カレワ□「ソレワ□「「ヘンスー」」■デス」ト□イッタ。 相川点訳の入力墨字。　カレワ□「ソレワ□［ヘンスー］■デス」ト□イッタ。 代用の墨字入力（項目７）。　カレワ□「ソレワ□「ヘンスー」■デス」ト□イッタ。
2	『3。「カギ」のマスあけ規則』において、 「カギ開く・閉じる」を 「第２カギ開く・閉じる」に 置き換えた規則。	「カギ」の点訳規則。　「 ■ [語句] ～ [語句] ■ 」 「第２カギ」の点訳規則。　〈 ■ [語句] ～ [語句] ■ 〉 「カギ」の点訳規則。　「 ～ [語句] 」■ [助動詞] 「第２カギ」の点訳規則。　〈 ～ [語句] 〉■ [助動詞]
3	「カギ開く・閉じる」 「２重カギ開く・閉じる」 「第２カギ開く・閉じる」 の、６個の中の、 ２個が隣り合う時は 間をマスあけする。	墨字の例文。　彼は「『変数』は大文字です」と言った。 点訳。　カレワ　「 □『ヘンスー』ワ　オオモジデス」ト□イッタ。 説明。　「 □『 の□が、隣り合うことによる □ です。 ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。カレワ□「 □「「ヘンスー」」ワ□オオモジデス」ト□イッタ。 相川点訳の墨字入力。　カレワ□「 □［ヘンスー］ワ□オオモジデス」ト□イッタ。 代用の墨字入力（項目７）。カレワ□「 □「ヘンスー」ワ□オオモジデス」ト□イッタ。

	規則	例。「カッコ」の規則を、置き換えたあとの規則の例
1	『２。カッコのマスあけ規則』 において、 [カッコ開く・閉じる]を [２重カッコ開く・閉じる]に 置き換えた規則。	「カッコ」の点訳規則。　（ ～ [語句] ）■ [助詞] 「２重カッコ」の点訳規則。　【 ～ [語句] 】■ [助詞] 墨字の例文。　天気（晴れかと確率（雨の）など）を聞いた。 点訳。　テンキ（ハレカト□カクリツ【アメノ】■ナド）ヲ□キイタ。 ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。テンキ（ハレカト□カクリツ（（ アメノ ））■ナド）ヲ□キイタ。 相川点訳の墨字入力。テンキ（ハレカト□カクリツ｛ アメノ｝■ナド）ヲ□キイタ。 代用墨字入力(項目７)。　テンキ（ハレカト□カクリツ（ アメノ ）■ナド）ヲ□キイタ。
2	『２。カッコのマスあけ規則』 に　おいて、 [カッコ開く・閉じる]を [第２カッコ開く・閉じる]に 置き換えた規則。	「カッコ」の点訳規則。　（ ■ [語句] ～ [語句] ■ ） 「第２カッコ」の点訳規則。　《 ■ [語句] ～ [語句] ■ 》 「カッコ」の点訳規則。　（ ～ [語句] ）■ [助詞] 「第２カッコ」の点訳規則。　《 ～ [語句] 》■ [助詞]
3	「カッコ開く・閉じる」 [２重カッコ開く・閉じる」 「第２カッコ開く・閉じる」 の、６個の中の ２個が隣り合う時は、 間をマスあけする。	墨字の例文。　天気（ 晴れかと確率【 雨の 】）を聞いた。 点訳。　テンキ（ハレカト□カクリツ【アメノ】□ ）ヲ□キイタ。 説明。　】□ ）　の□が、隣り合うことによる □ です。 ＷｉｎＢＥＳ墨字入力。 テンキ（ハレカト□カクリツ（（ アメノ））□）ヲ□キイタ。 相川点訳の墨字入力。　テンキ（ハレカト□カクリツ｛ アメノ｝□ ）ヲ□キイタ。 代用の墨字入力（項目７）。テンキ（ハレカト□カクリツ（ アメノ）□）ヲ□キイタ。

１０節。表の書き方。

１。表の点訳の参考書。日本点字図書館発行「表点訳の基礎」昭和６１年発行。

２。行頭が紙の１マスから書いてある表。

例。ワープロ・プログラムの「開く」「保存」などの画面のファイル名・リスト表示画面を点訳。

墨字。

```
　プログラム「メモ帳」の「開く」画面。
マイドキュメント
マイピクチャ
ローカルドライブ（Ｃ：）
ｔｅｓｔ５．ｔｘｔ
ｔｅｘｔ３．ｄｏｃ
```

点訳用の墨字入力。（８行目の行末は「ろ」のカタカナ）

```
　プログラム□「メモチョー」ノ□「ヒラク」□ガメン。
！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー。
マイドキュメント
マイピクチャ
ローカルドライブ（□Ｃ　コロン）
ｔｅｓｔ５．ｔｘｔ
ｔｅｘｔ３．ｄｏｃ
リーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーロ
```

点訳結果。（表の初めと終わりの枠線の点訳結果）

```
　プログラム□「メモチョー」ノ□「ヒラク」□ガメン。
⣒⣒⣒
```

```
  マイピクチャ
  マイコンピュータ
     －　３．５インチＦＤ（Ａ　コロン）
     ＋　ローカルドライブ（Ｃ　コロン）
        －　ＰｒｏｇｒａｍＦｉｌｅ
  マイネットワーク
```

```
    プログラム□「メモチョー」ノ□「ヒラク」□ガメン。
！ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー。
マイドキュメント
マイピクチャ
ローカルドライブ（□Ｃ　コロン）
ｔｅｓｔ５．ｔｘｔ
ｔｅｘｔ３．ｄｏｃ
リーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーロ
```